



プラスG エントランス アシンメトリーイフ

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

製品を安全に正しく施工していただき、施工様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

▲ 警告

- ・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲ 注意

- ・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

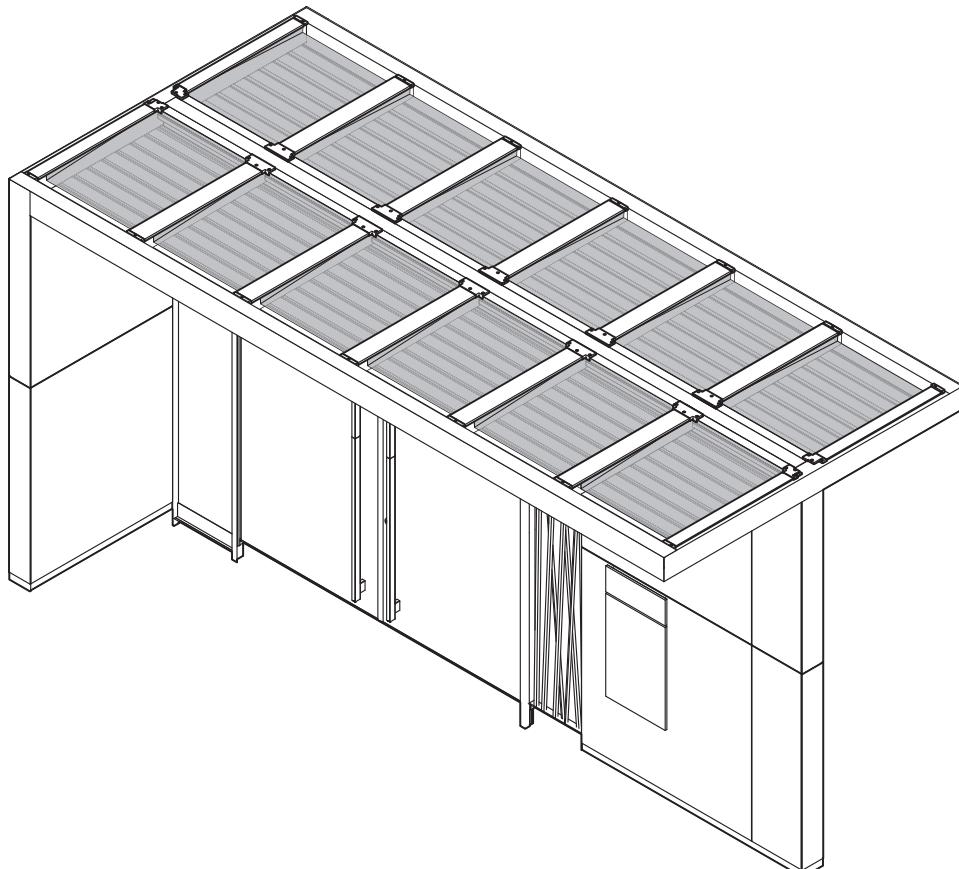
- 施工上のお願い**
- ・取扱手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

- ・守っていただきないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示します。(例: 1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**■梱包明細表**」を参照してください。



目次

施工上のご注意	3
施工の前に	3
施工上のご注意	3
基礎工事について	4
電気配線工事について	4
施工の後に	4
 チェックリスト	4
1 施工前の重要確認事項	5
1-1 アシンメトリーの商品構成	5
1-2 アシンメトリーの商品の組み合わせ	6
1-3 取付け制限	7
2 各部名称と基本寸法	8
2-1 各部名称	8
2-2 基本寸法	10
3 基礎と配線工事	13
3-1 基礎工事	13
3-2 配線工事	14
4 施工の流れ	15
5 柱、フレームの取付けと基礎工事	18
5-1 柱とフレームの取付け	18
5-2 ふかし材の取付け	25
5-3 門扉枠の取付け	25
5-4 デザイン格子の取付け	26
6 門袖の取付け	31
6-1 ガラスパネルの取付け	31
6-2 KNパネルの取付け	31
6-3 錫物パネルの取付け	31
7 基礎の打設	32
7-1 基礎の打設	32
8 エントランスルーフの取付け	33
8-1 エントランスルーフの取付け	33
9 天井材の取付け	34
9-1 化粧樋の取付け準備	34
9-2 部材の加工	37
9-3 天井横枠の取付け	38
9-4 天井縦枠の取付け	39
9-5 ダウンライト用配線穴加工	42
9-6 天井材の取付け	43
10 化粧樋の取付け	46
10-1 化粧樋の取付け	46
11 フレームサイドカバーの取付け	49
11-1 フレームサイドカバーの取付け	49
12 フレームカバーの取付け	50
12-1 フレームカバーの取付け	50
13 水抜き穴の加工	51
13-1 水抜き穴の加工	51
14 Gウォールの取付け	52
14-1 Gウォール各部納まりの確認	52
14-2 Gウォール下地部材の取付け	53
15 門扉の取付け	58
15-1 電気錠の登録および設定	59
15-2 門扉のブザー音と表示について	64
15-3 コントローラユニットのブザー音とLED表示について	65
15-4 リモコンキーのランプ表示について	65
梱包明細表	66

□ 施工の前に

▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損することがあります。
- 本製品は必ず2人以上で施工を行ってください。
- 埋設管には、PF管を使用してください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んでください。
- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

施工上のお願い

- 本説明書に記載のない商品の内容については、各商品の取付説明書を参照してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 両面テープを貼付する際は、下記の点に留意して施工を行ってください。
 - ・貼付面に水濡れのない事を確認し、汚れ・油分を取除きローラーや指等（5kg/cm²）で押し付けて十分に圧着してください。
十分に圧着されていない場合、接着力が低下し剥がれるおそれがあります。
 - ・気温が5℃以上の環境で施工を行うか、あらかじめ両面テープおよび貼付する部材を温めてから施工を行ってください。
気温が5℃未満の低温下では両面テープの初期接着力が低下するおそれがあります。
 - ・両面テープの貼付後は十分な養生期間を確保してください。
両面テープの接着強度は、圧着直後で最終強度の1/3、1時間経過で2/3まで向上、72時間経過で最終強度となります。
- 配線および埋設管は、現場で手配してください。
- 掛け扉の袖に門袖を設置する場合、結束バンドを現場で手配してください。
- シーカレットキーを設置する場合、Φ4×20ナベ1種ねじを現場で手配してください。

□ 施工の前に（つづき）

施工上のお願い

- 使用するシーリング材は、以下のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モンティップ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

□ 施工上のご注意

▲ 注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- ボルト、ねじ、ナットは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
強度低下などの原因になります。
〈推奨トルク〉
※Φ4ねじ、ナット：2.5N·m±0.5N·m
(25±5kgf·cm)
※Φ5ねじ：3.0N·m±0.5N·m
(30±5kgf·cm)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ねじなどにゆるみがないか確認してください。

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

□ 基礎工事について

▲ 注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

施工上のお願い

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

□ 電気配線工事について

▲ 警告

- 電気配線工事について下記の項目を守ってください。守られない場合、漏電や感電につながるおそれがあります。

▲ 注意

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
- AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 配管距離が長い場合、また曲がりが2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
- 付属のコネクターの固定（電線の接続）は、必ず専用の工具でカシメてください。
- 屋内からの配線はAWG16の配線を使用してください。
- DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルを別途手配してください。
- LED照明(ダウンライト・表札灯)はDC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。

□ 施工の後に

施工上のお願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 門扉の鍵は施主様にお渡しください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●施工/取付

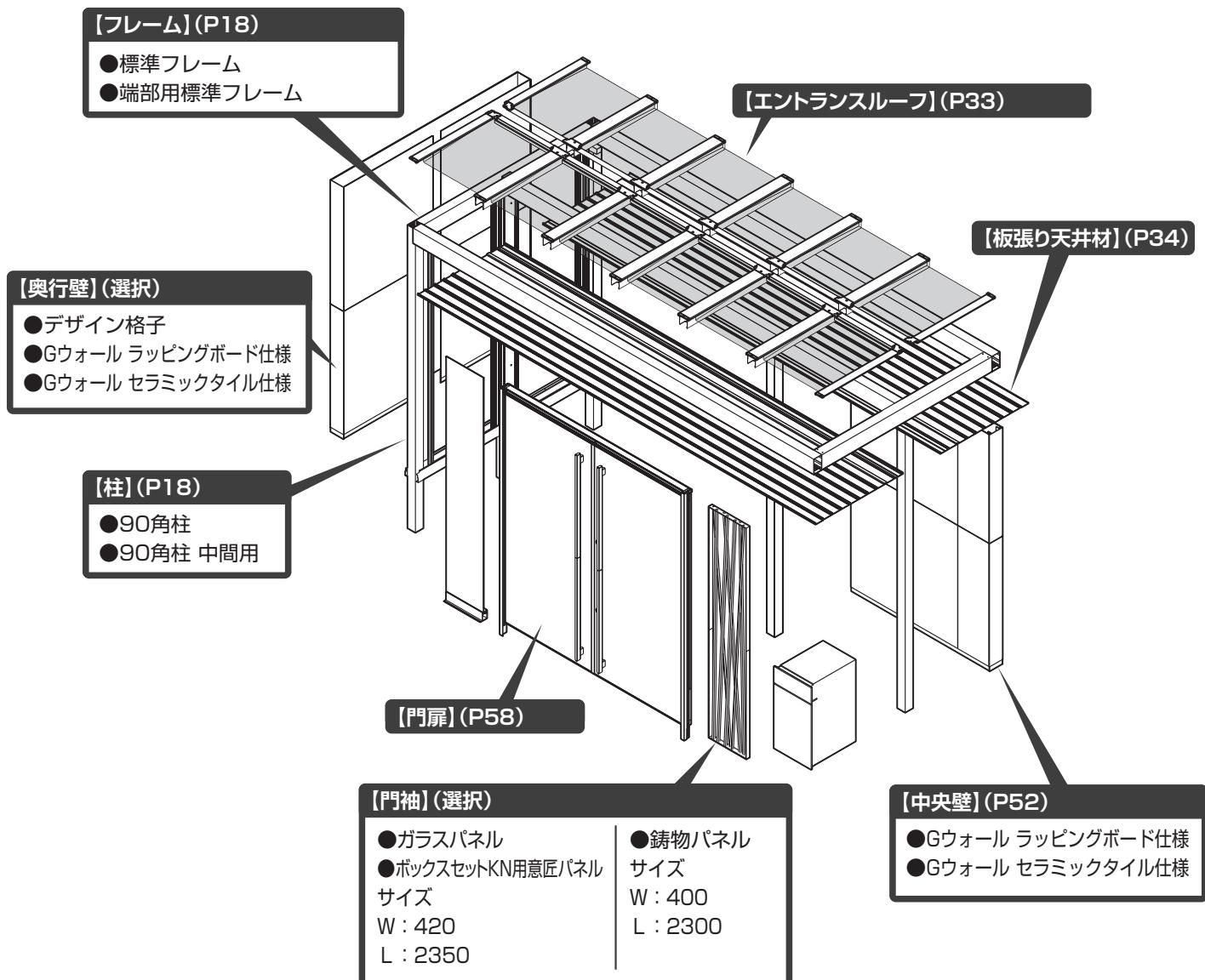
No.	ページ	チェック内容	
1	10~58	正しいねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	10~58	寸法指示に従って施工取付しましたか。	<input type="checkbox"/>

●電気錠の動作

No.	ページ	チェック内容	
1	59~63	電源は入っていますか？（電源線、ブレーカーなど確認）	<input type="checkbox"/>
2	64~65	エラー音は鳴っていませんか？（エラー音にしたがって対処）	<input type="checkbox"/>

1 施工前の重要確認事項

1-1 アシンメトリーの商品構成



施工上のお願い

- 上記から商品を選択し、アシンメトリーの構成を決定してください。

1 施工前の重要確認事項

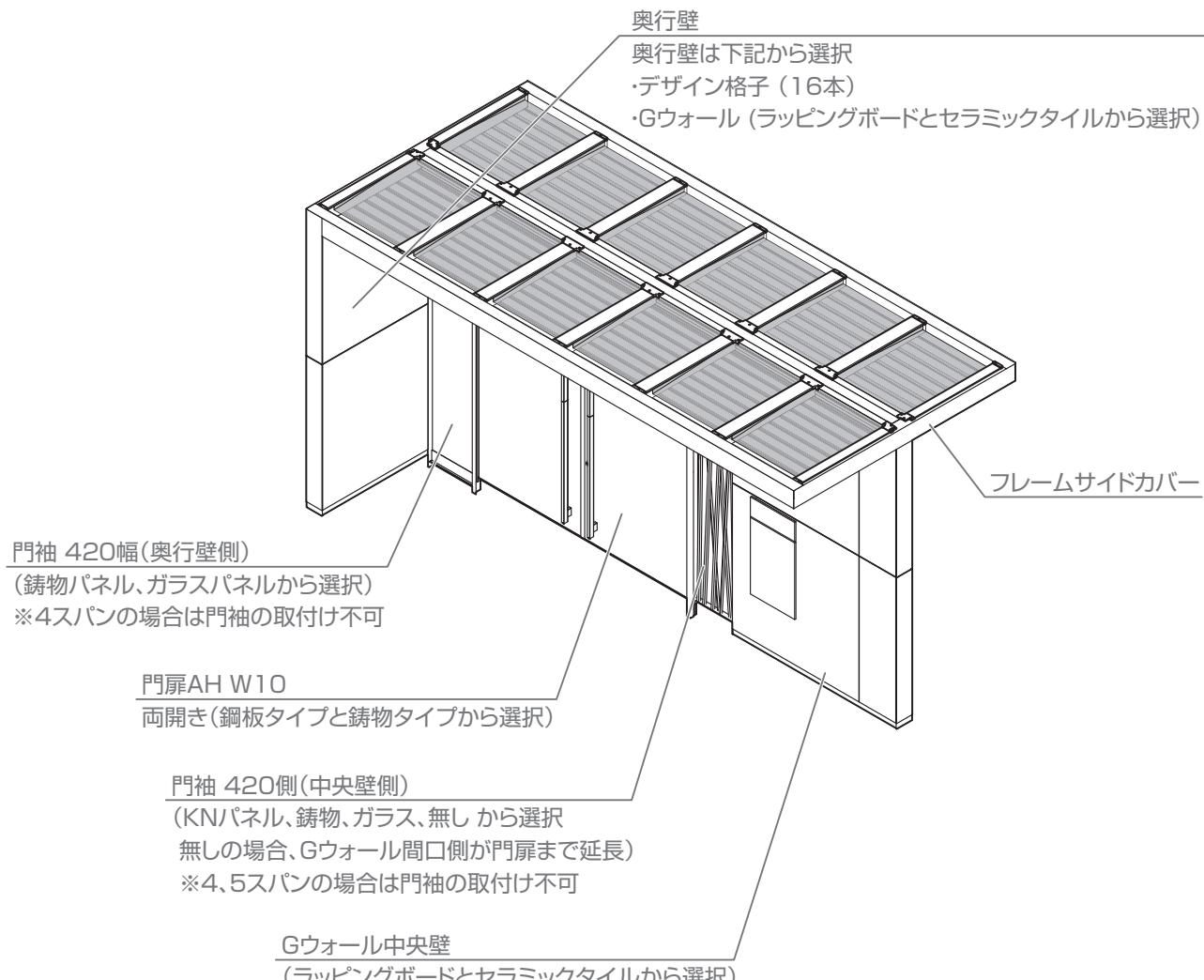
1-1 アシンメトリーの商品構成（つづき）

取付説明書区分

商品	使用する取付説明書	取説コード
90角柱・標準フレーム		
デザイン格子	シンメトリー・タイプ	EXM219
エントランスルーフ	アシンメトリー・タイプ	EXM223
板張り天井材		
門扉AH		
オートクローザー	オートクローザー戸厚50mm用	EXM182 EXM219
Gフレーム サイドカバー	Gフレーム サイドカバー	E293
Gウォール ラッピングボード仕様	Gウォール シンメトリー・タイプ	EXM017 EXM219
Gウォール セラミックタイル仕様	アシンメトリー・タイプ	EXM223
袖パネル	Gスクリーン 袖パネル	EXM049
ガラスパネル	Gスクリーン ガラスパネル	EXM216
鋳物パネル	Gスクリーン 鋳物デザインパネル	EXM151

1-2 アシンメトリーの商品の組み合わせ

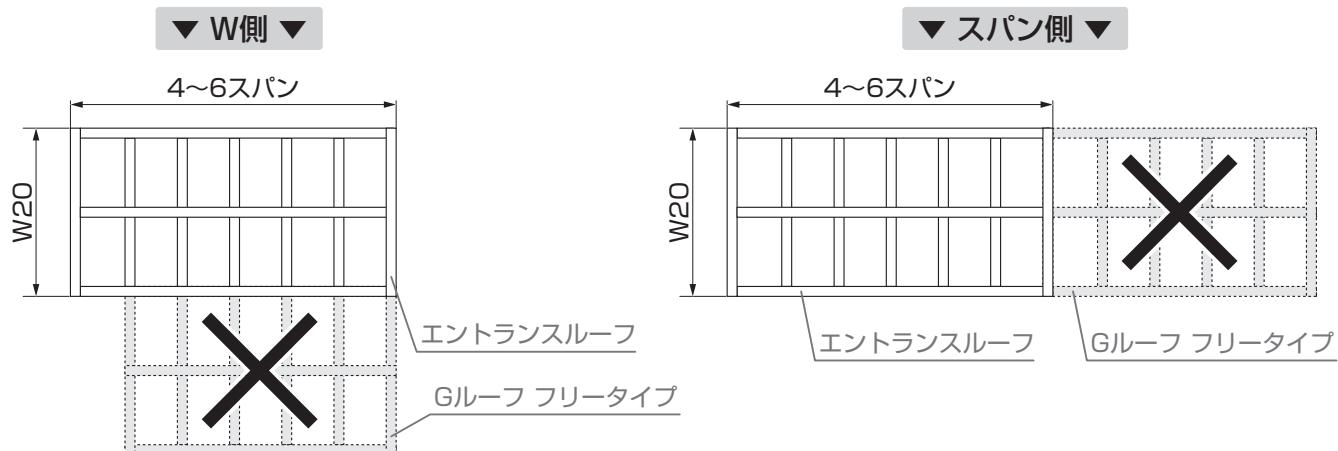
※下記以外の部材を取付けることはできません。



1 施工前の重要確認事項

1-3 取付け制限

エントランスルーフの接続



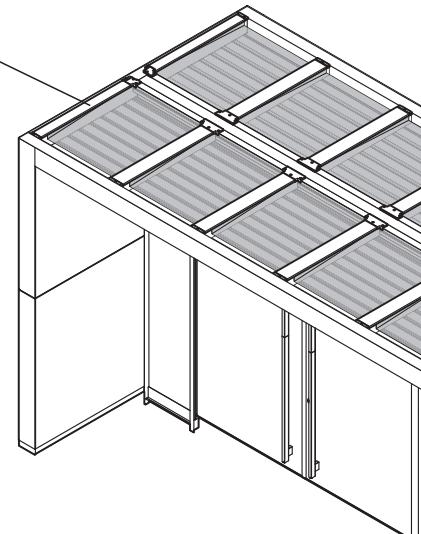
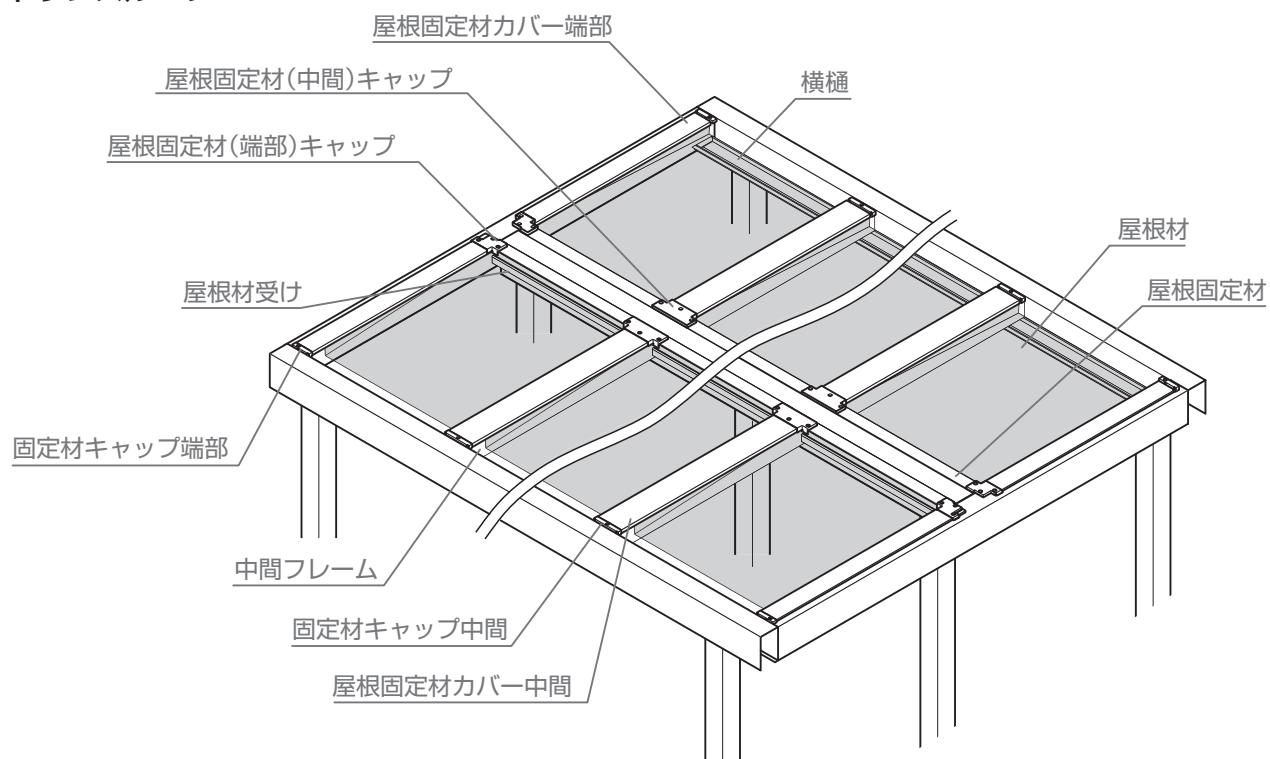
施工上のお願い

- エントランスルーフにプラスGの他の屋根商品を接続することはできません。プラスGエントランスは独立で施工してください。
- エントランスの横にGウォール、Gスクリーンを設置する場合は、施工スペースを確保してGフレームを設置する必要があります。

2 各部名称と基本寸法

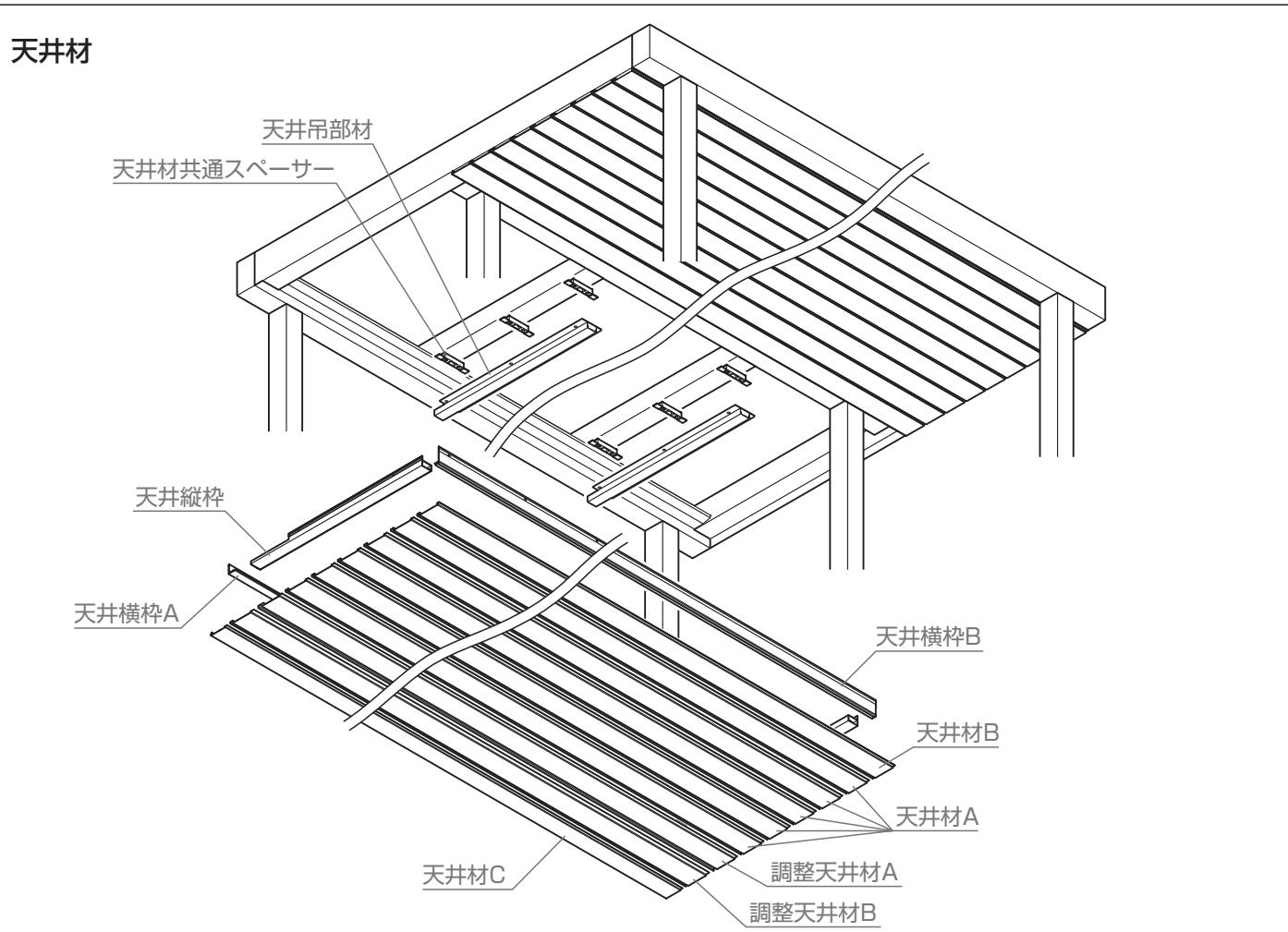
2-1 各部名称

エントランスルーフ



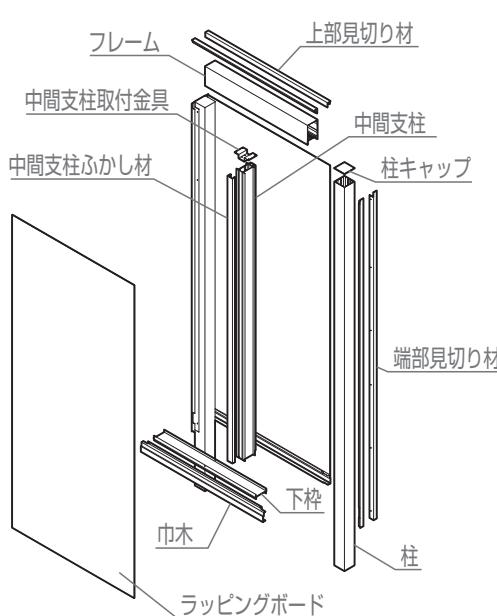
2 各部名称と基本寸法

2-1 各部名称（つづき）

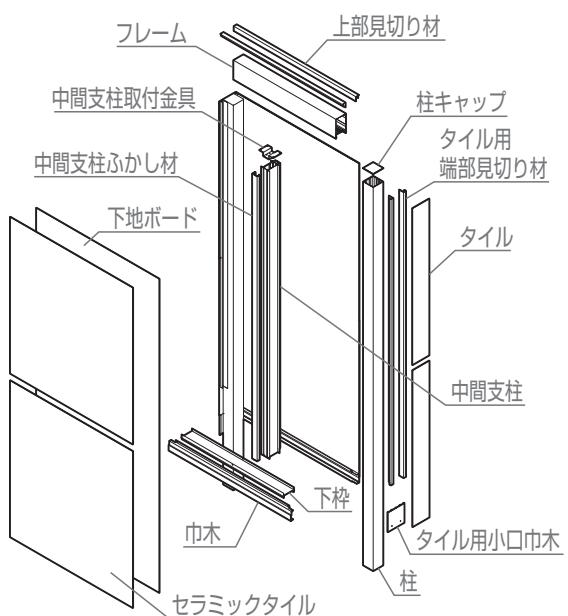


Gウォール

【ラッピングボード仕様】



【セラミックタイル仕様】



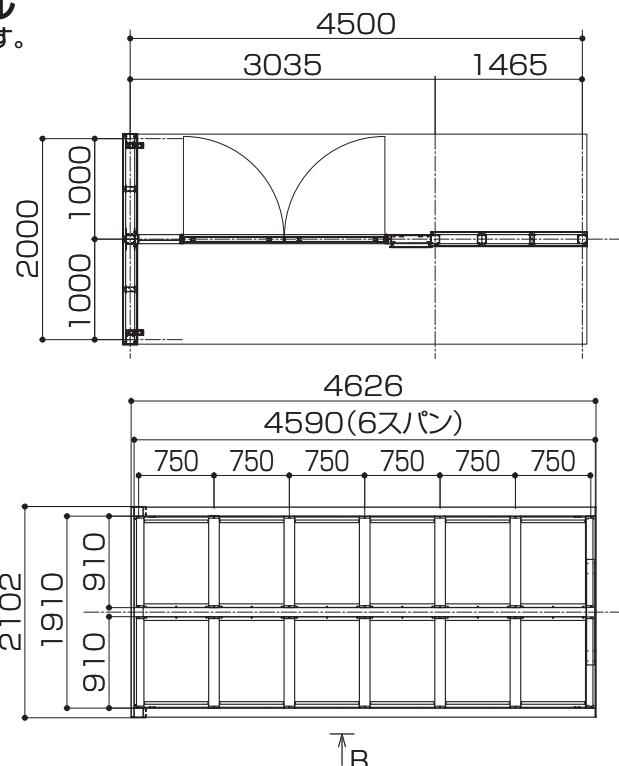
2 各部名称と基本寸法

2-2 基本寸法

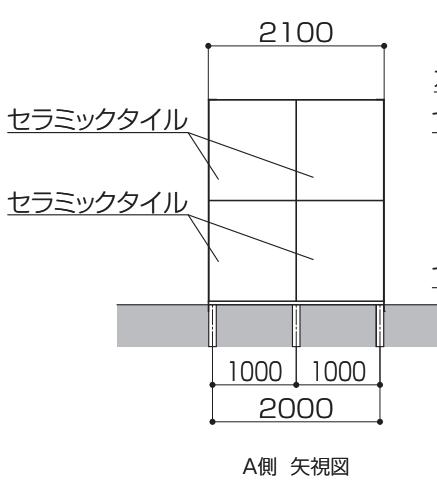
■アシンメトリータイプ W20-6スパン

●袖+門扉+袖+Gウォール

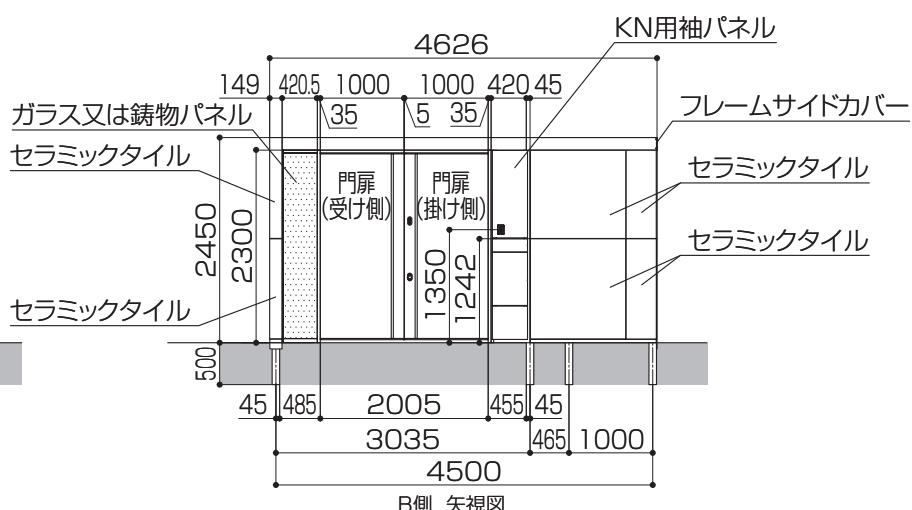
※本図は、右勝手・内開き・左壁です。



● セラミックタイル仕上げ

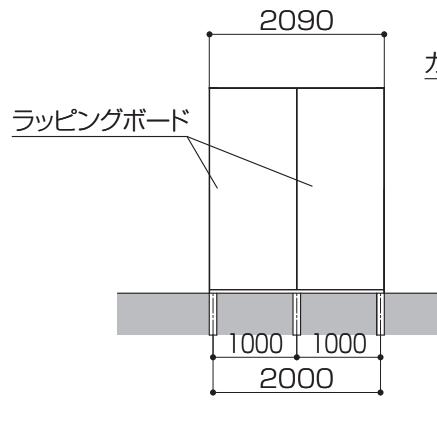


A側 矢視図

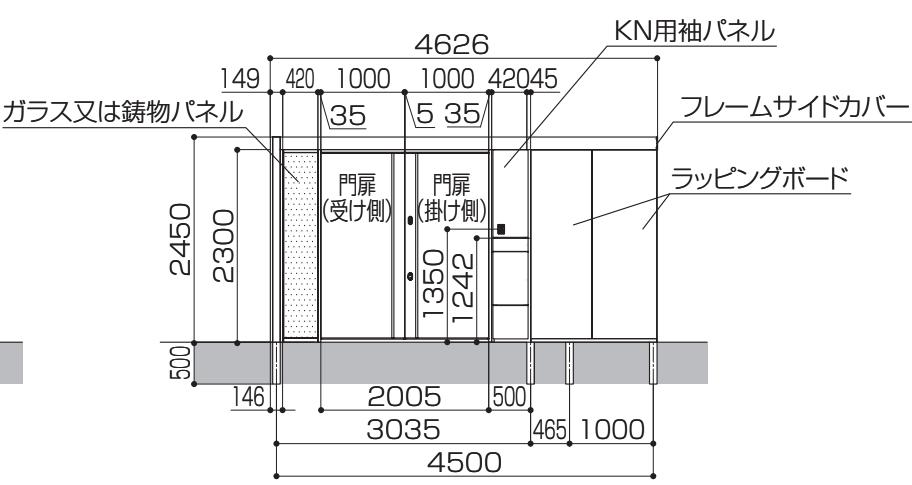


B側 矢視図

● ラッピングボード仕上げ



A側 矢視図



B側 矢視図

2 各部名称と基本寸法

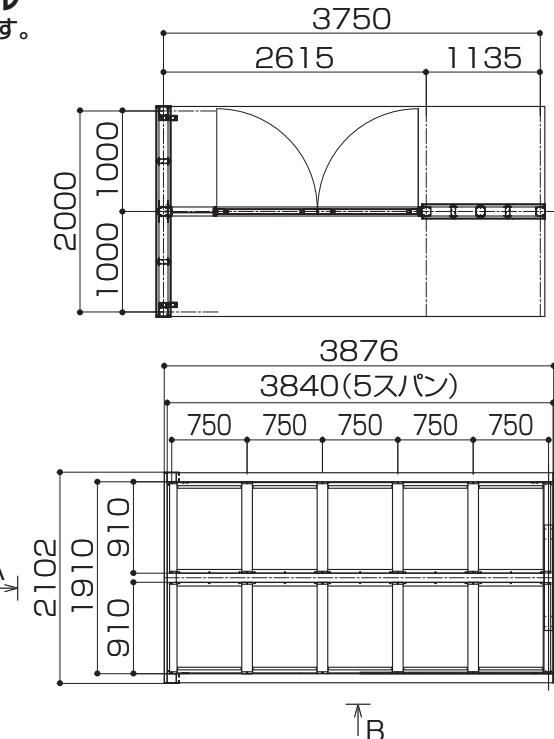
2-2 基本寸法

■アシンメトリータイプ W20-5スパン

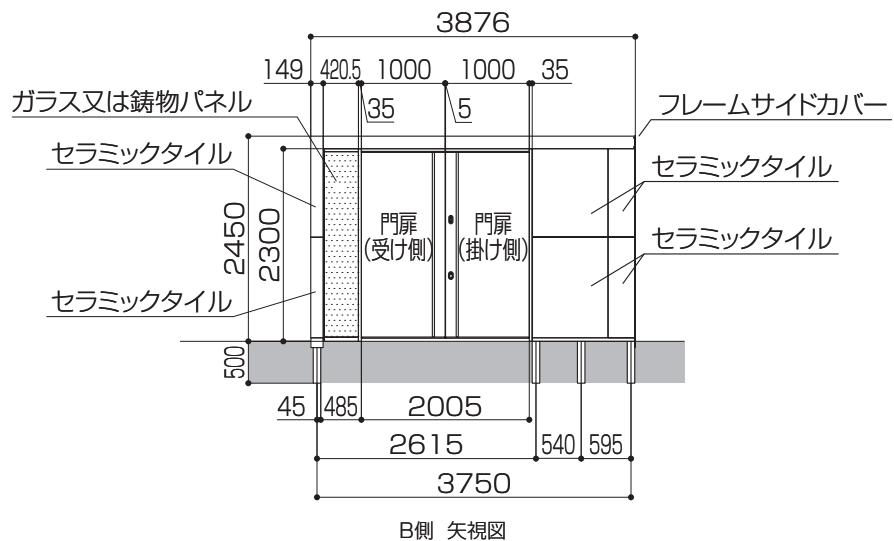
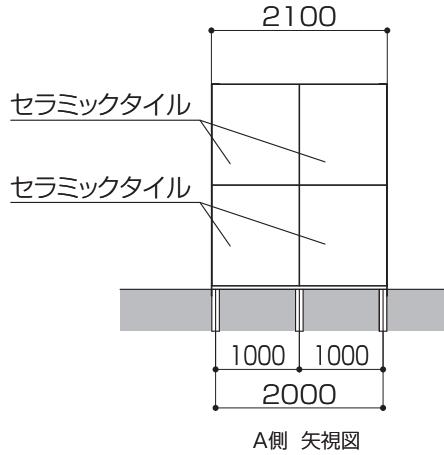
●袖+門扉+袖+Gウォール

※本図は、右勝手・内開き・左壁です。

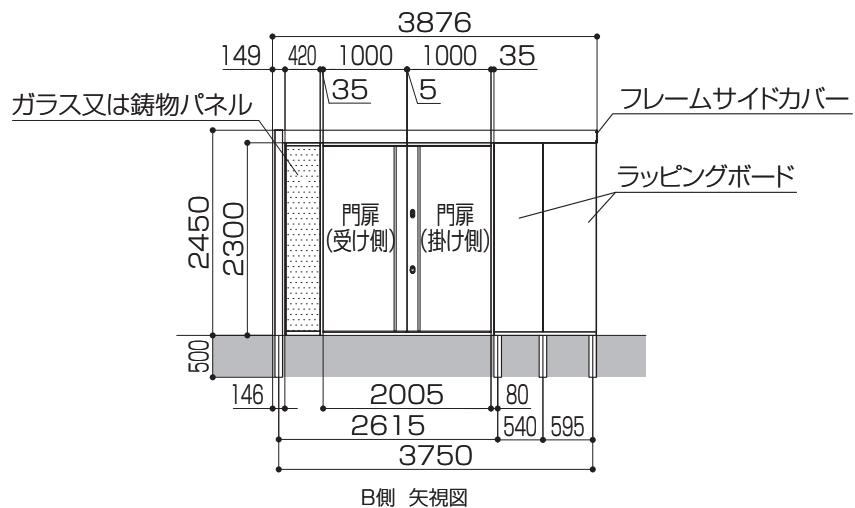
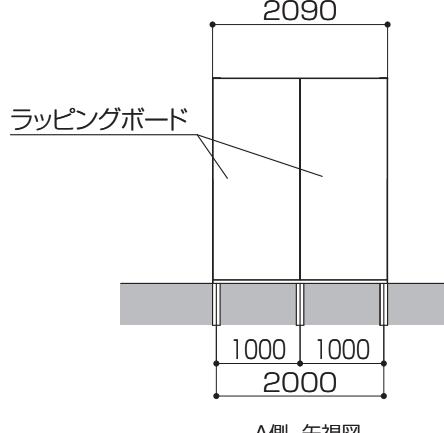
※本サイズの門袖は奥行方向の
壁側のみに取付きます。



● セラミックタイル仕上げ



● ラッピングボード仕上げ



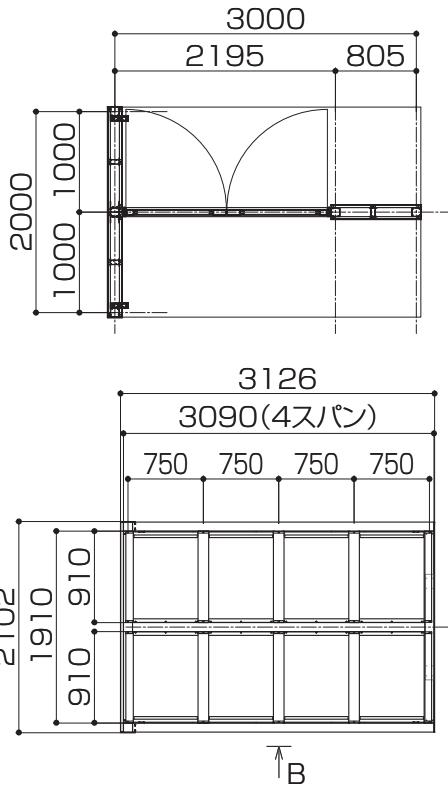
2 各部名称と基本寸法

2-2 基本寸法

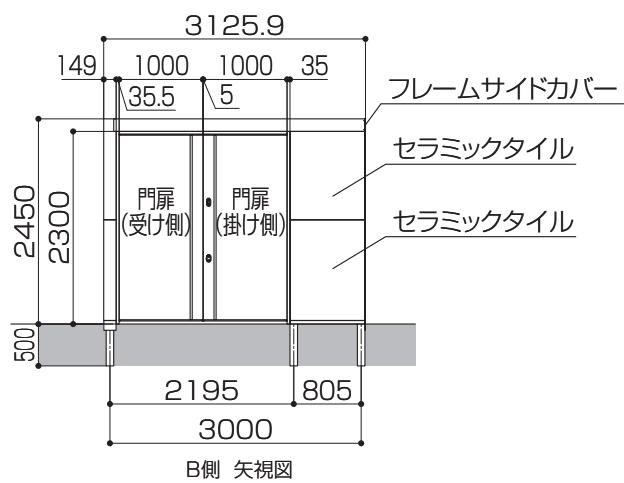
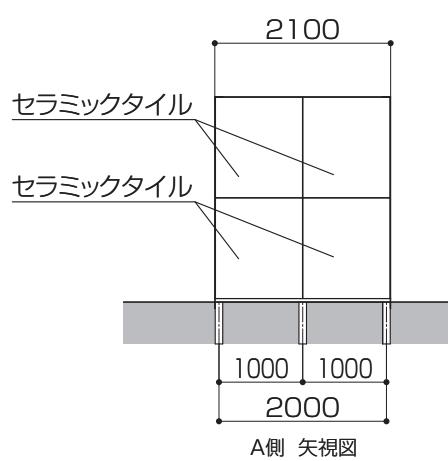
■アシンメトリータイプ W20-4スパン

●門扉+Gウォール

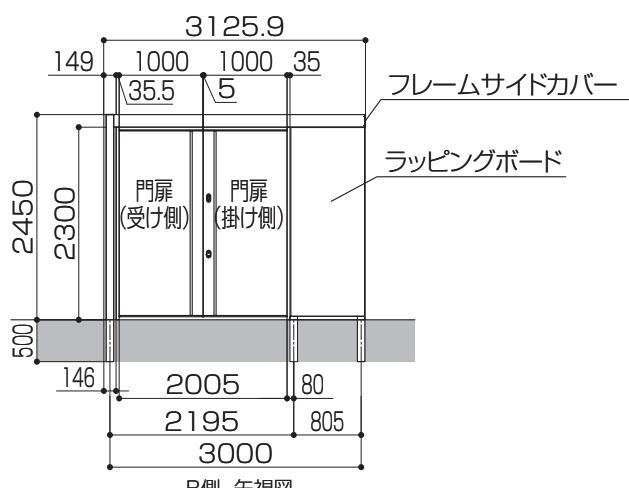
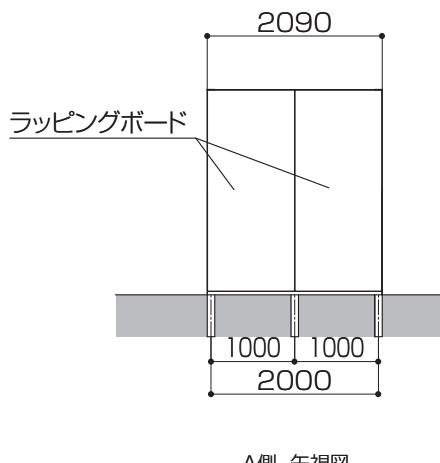
※本図は、右勝手・内開き・左壁です。
※本サイズに門袖は取付ません。



●セラミックタイル仕上げ



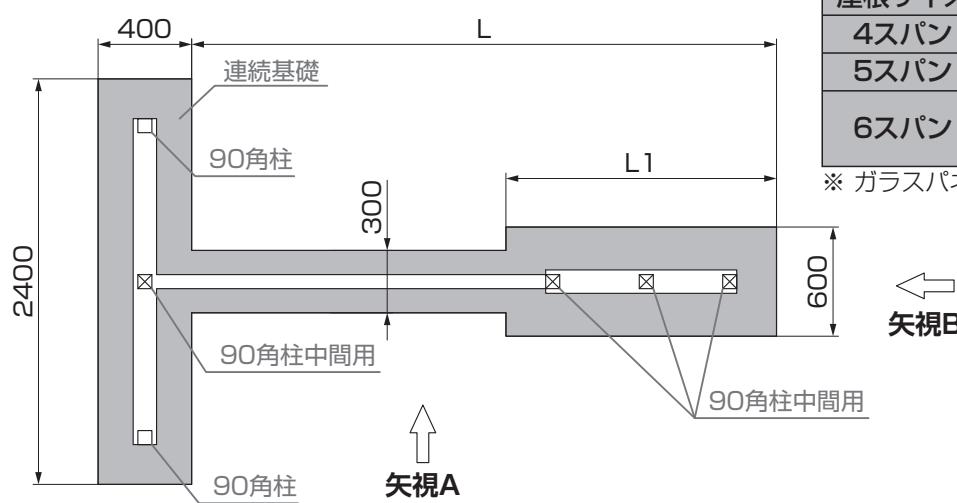
●ラッピングボード仕上げ



3 基礎と配線工事

3-1 基礎工事

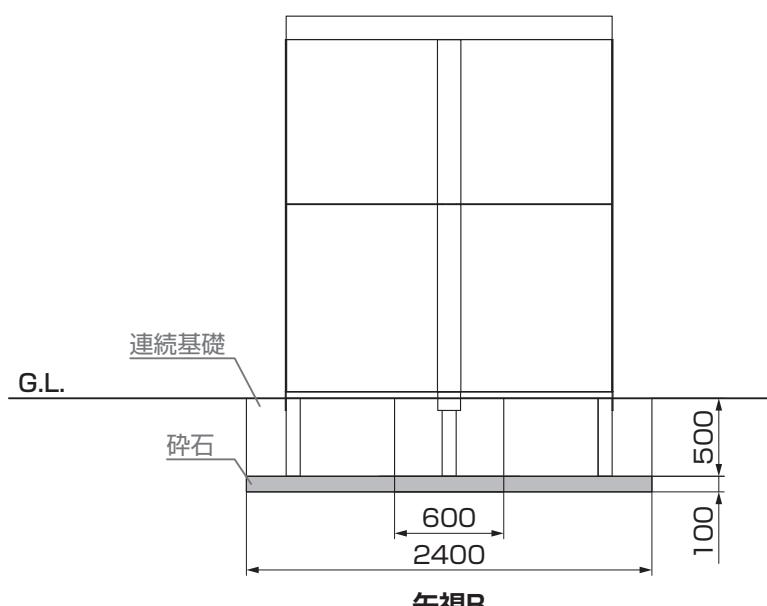
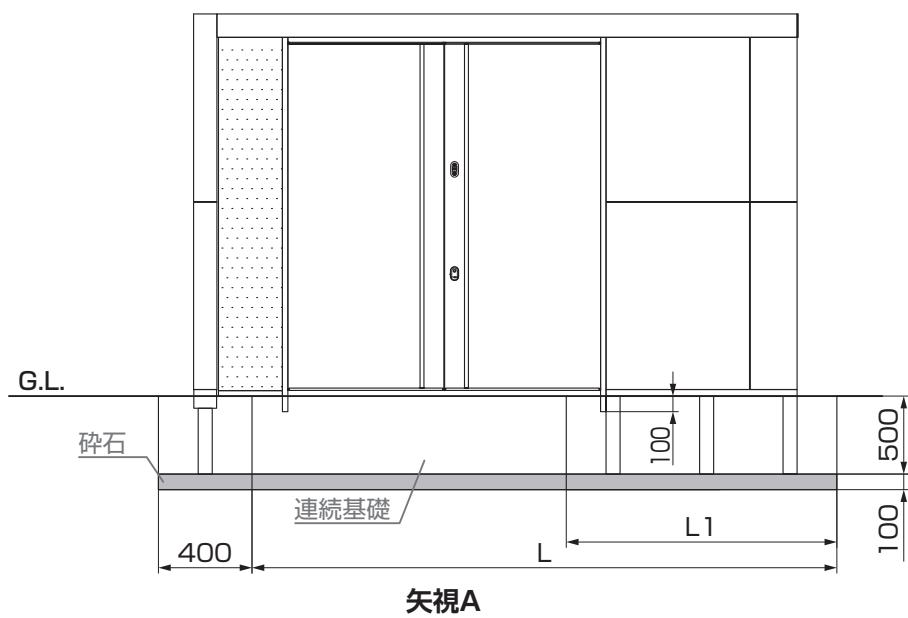
●基礎伏図



屋根サイズ	門袖(中央壁側)	L	L1
4スパン	Gウォール	3050	1305
5スパン	Gウォール	3800	1635
6スパン	KN用意匠パネル ※	4550	1965
	Gウォール	4550	2385

※ ガラスパネル、鋳物パネルの場合も同様

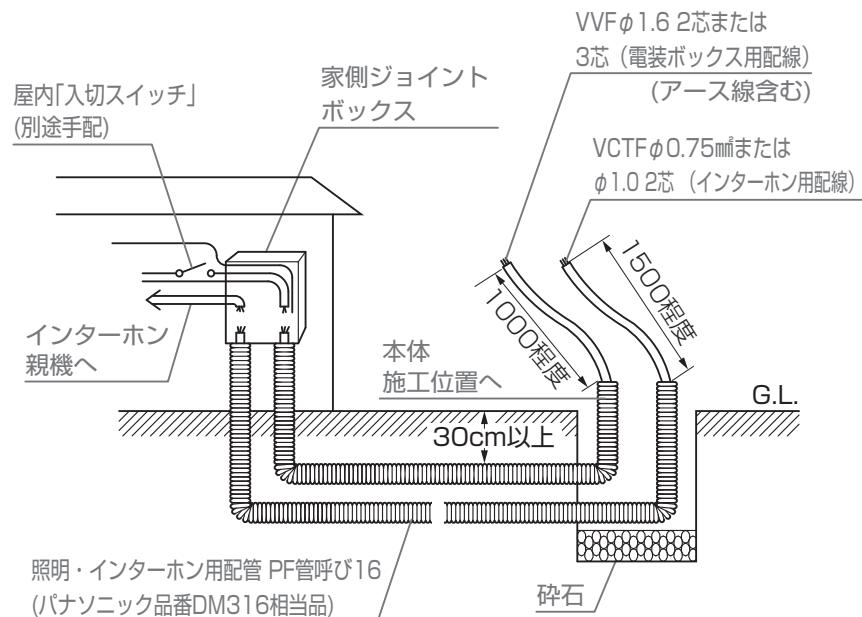
●基礎側面図



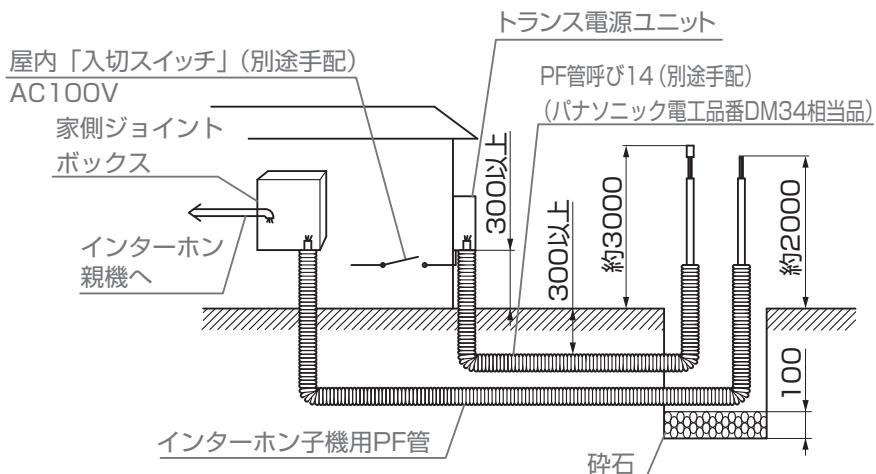
3-2 配線工事

※FamiLockの配線工事は「プラスG エントランス シンメトリーイタイプ 取付説明書(EXM-219)」の「15-14 システムイメージ」(P.88)を参照してください

▼ AC100V配線 (AC100V照明) ▼



▼ DC12V配線 (トランス電源ユニットを使用する場合) ▼



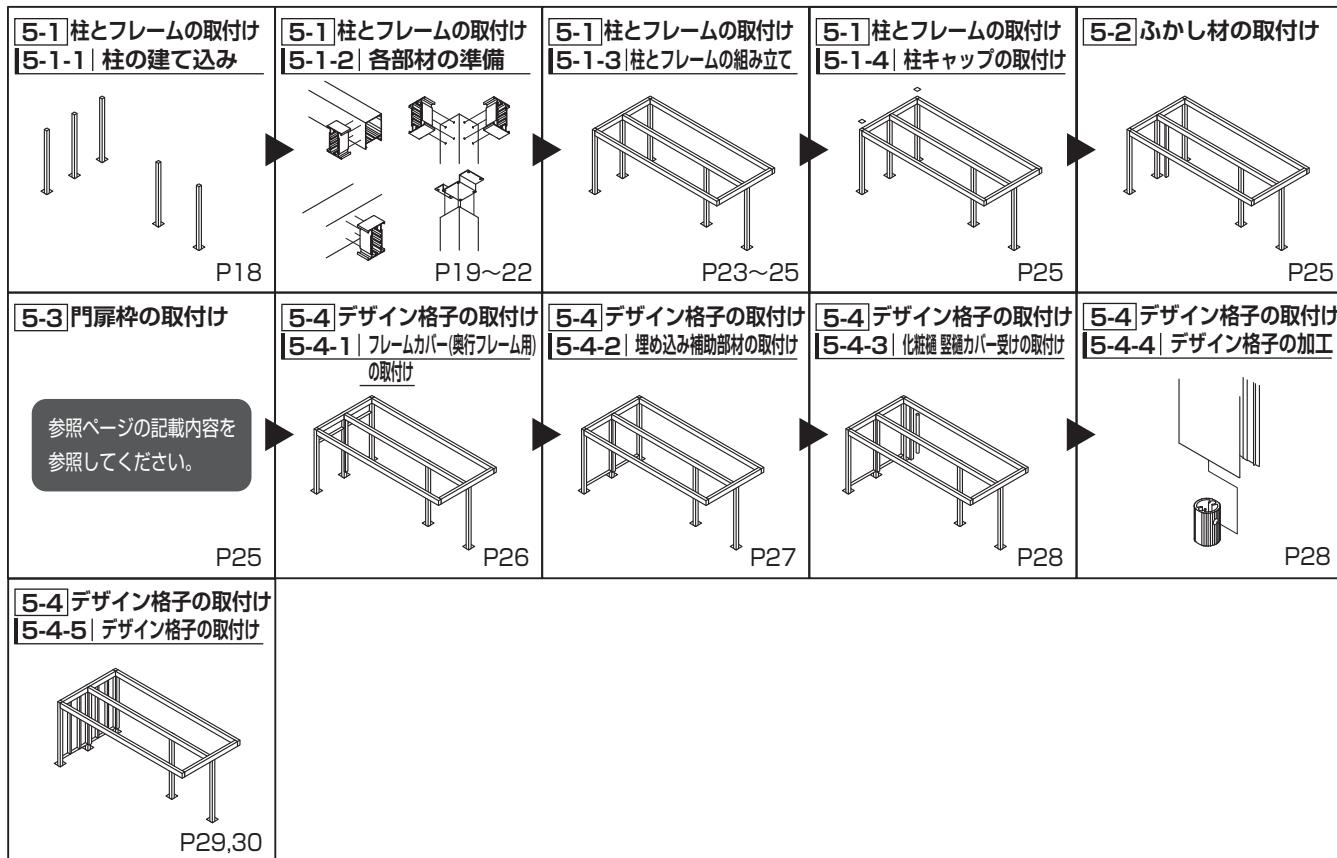
施工上のお願い

- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも200mm程度上げ、バテ埋めなどでの処理を施してください。
- 照明用配線は柱の上端から引出します。また、インターホン子機用配線は柱側面から引出します。取付方法を確認し、作業内容に合わせた配線長さを考慮してください。

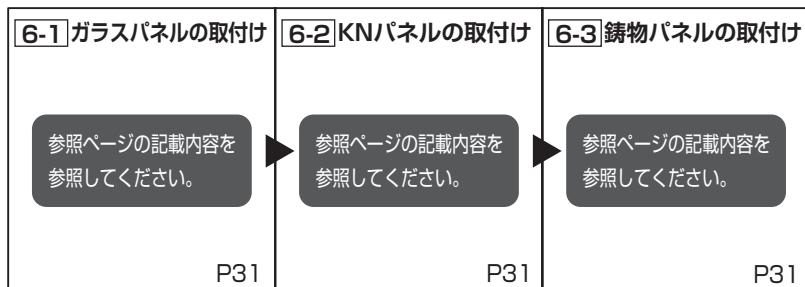
4 施工の流れ

※本ページでは、施工の基本的な手順を示しています。
作業を始める前に、必ず該当ページの内容を十分にご確認ください。

5 柱、フレームの取付け P.18~



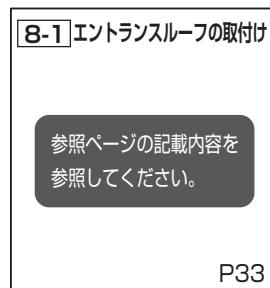
6 門袖の取付け P.31



7 基礎の打設 P.32

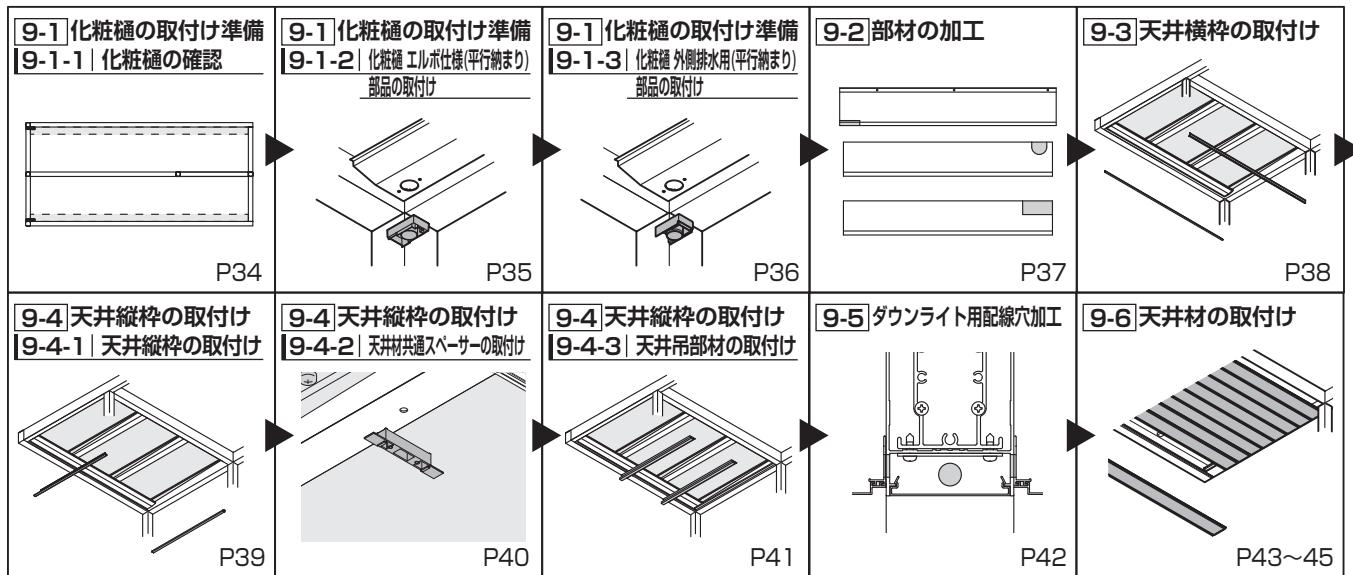


8 エントランスルーフの取付け P.33

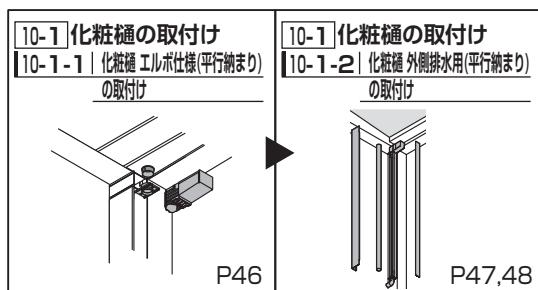


4 施工の流れ（つづき）

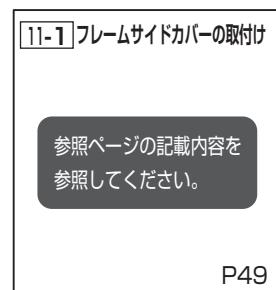
9 天井材の取付け P.34~



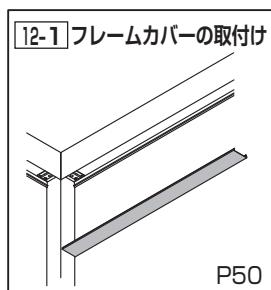
10 化粧樋の取付け P.46~



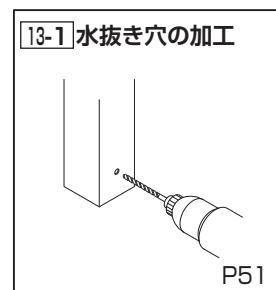
11 フレームサイドカバーの取付け P.49



12 フレームカバーの取付け P.50

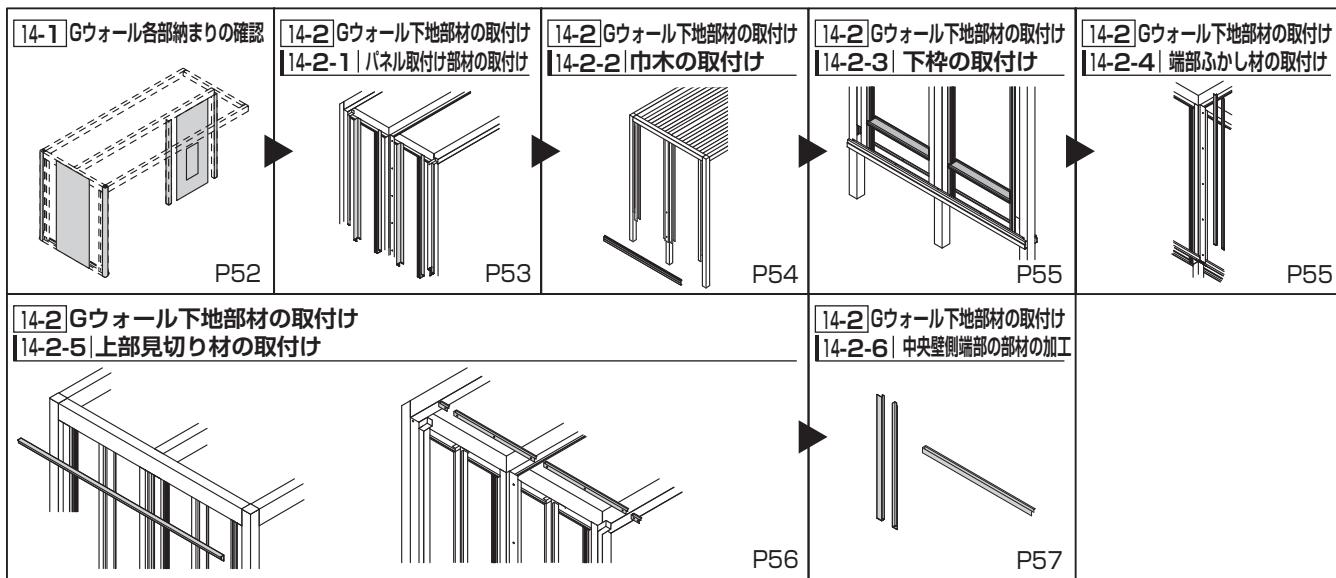


13 水抜き穴の加工 P.51



4 施工の流れ（つづき）

14 Gウォールの取付け P.52～



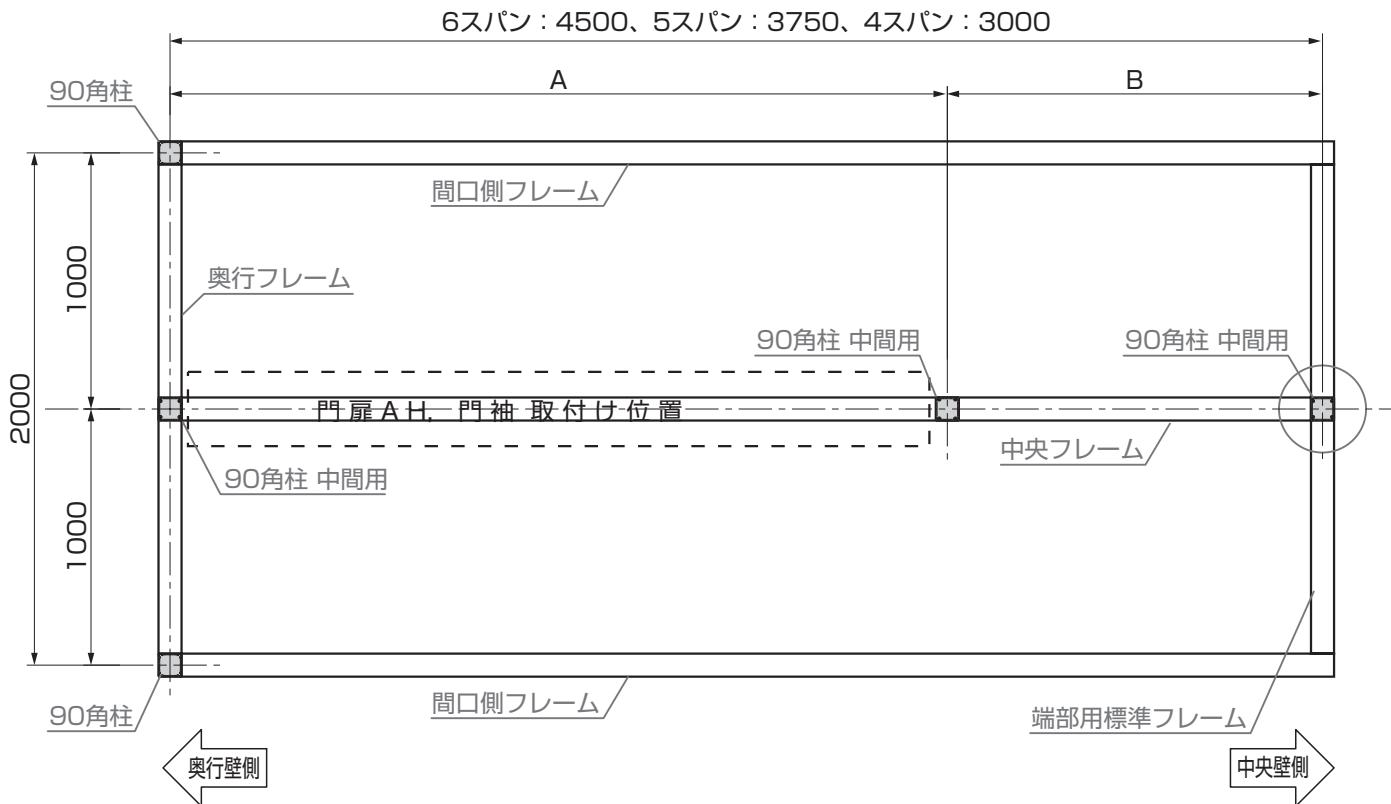
15 門扉の取付け P.58～



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱とフレームの取付け

5-1-1 柱の建て込み



施工上のお願い

- 上図は左側に奥行壁、右側に中央壁の納まりを示します。現場の納まりに合わせて左右を反転させて施工を行ってください。
- 門袖(門扉の両側)の納まりによって柱の位置が異なります。下表を参照し位置を決定してください。

また、B寸法が1000より大きくなる場合は、間に柱が追加で1本必要になります。

	エントランスプランサイズ		柱芯々	
	門袖(奥行壁側)	門袖(中央壁側)	A寸法	B寸法
4スパン	無し	Gウォール	2195	805
5スパン	ガラスパネル(※1)	Gウォール	2615	1135
6スパン	ガラスパネル(※1)	KN用意匠パネル (※2)	3035	1465
	ガラスパネル(※1)	Gウォール	2615	1885

※1 鋳物パネルの場合も同様

※2 ガラスパネル、鋳物パネルの場合も同様

- 柱 中間用の向きに注意して建て込みを行ってください。
- 90角柱には柱補強裏板を取付けてください。
- 上図の丸で囲ってある90角柱 中間用には柱補強材と専用接合金具を取付けてください。
- Gウォール内の中央に配置し外部から見えなくなる柱にはシャイングレー色の柱を使用してください。

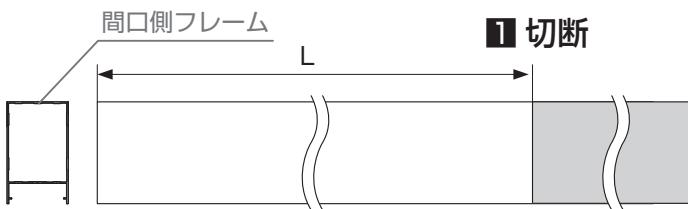
また、Gウォール内の端部に配置する柱でもGウォールの小口をタイル納まりにする場合は、シャイングレー色の柱を使用してください。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備

1: フレームをLで切断(間口側フレーム用)

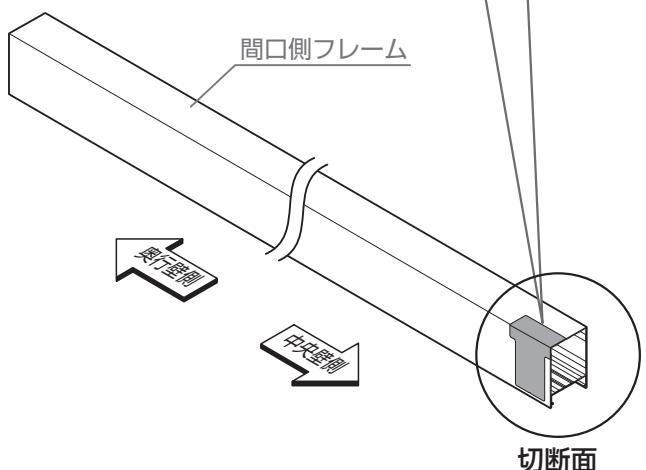
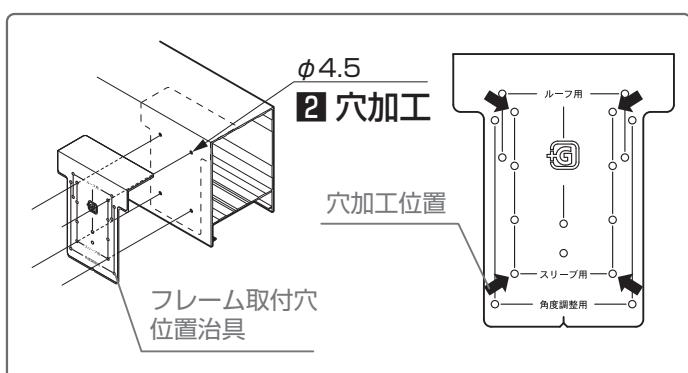


エントランスサイズ	L
4スパン	3000
5スパン	3750
6スパン	4500

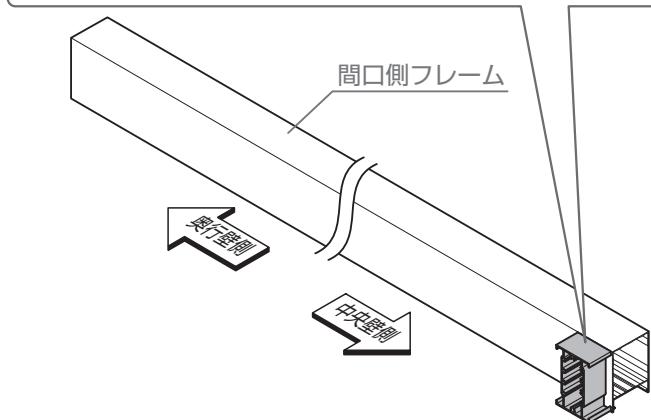
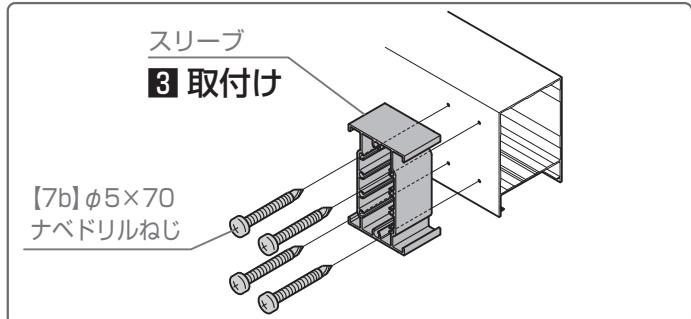
2: フレーム取付穴位置治具を間口側フレームの端部にあて、Φ4.5の穴加工

施工上のお願い

●1の切断面側に下穴加工を行ってください。



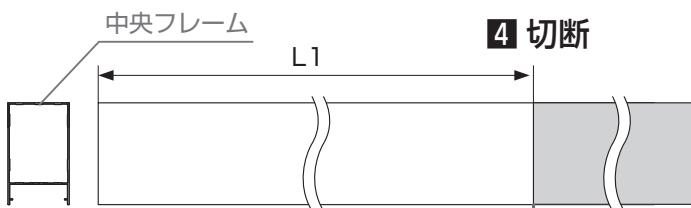
3: スリーブを間口側フレームに【7b】で取付け



4: フレームをL1で切断(中央フレーム用)

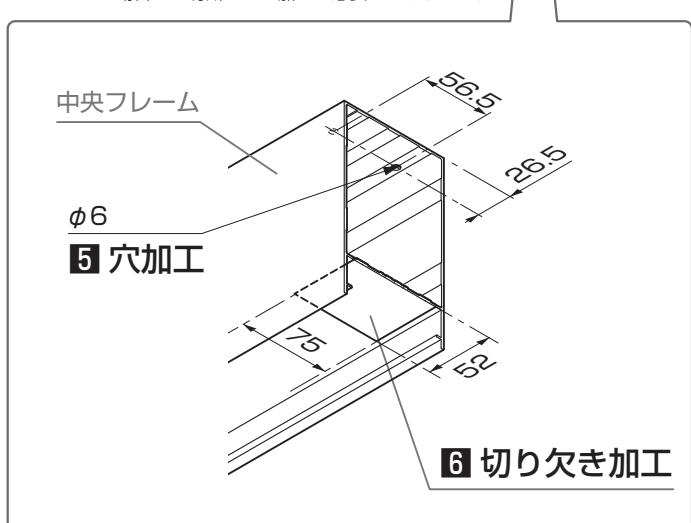
5: フレームを切断した側にΦ6の穴加工

6: フレームを切断した側に切り欠き加工



エントランスサイズ	L1
4スパン	2910
5スパン	3660
6スパン	4410

※4スパンの場合は、切断および加工の必要はありません。



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱とフレームの取付け（つづき）

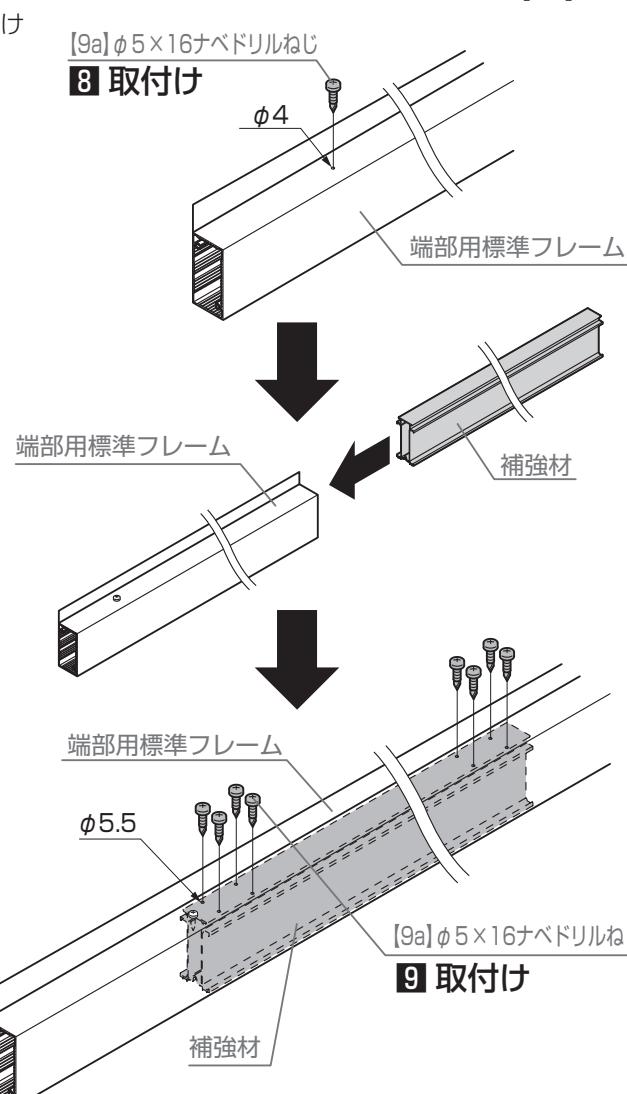
5-1-2 各部材の準備（つづき）

7: 端部用標準フレームの下側に $\phi 4$ のストッパー用下穴と、 $\phi 5.5$ の穴加工



8: 端部用標準フレームにストッパー用ねじ【9a】を取り付け

9: 端部用標準フレームにフレーム補強材を差込み【9a】で取付

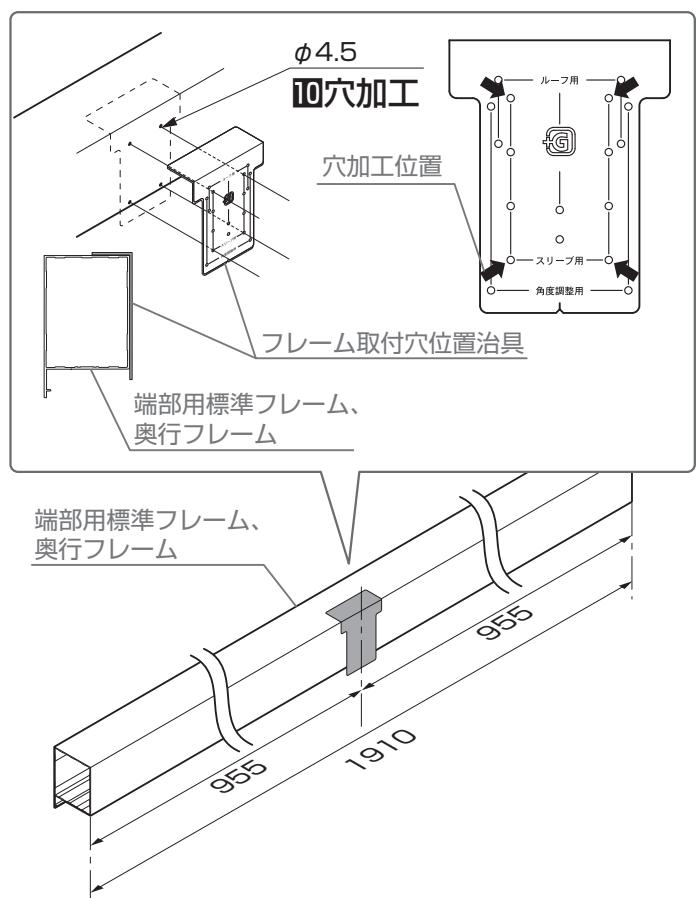


10: フレーム取付穴位置治具を端部用標準フレームと奥行フレームの中心部にあて、 $\phi 4.5$ の穴加工

※図は端部用標準フレームを示す

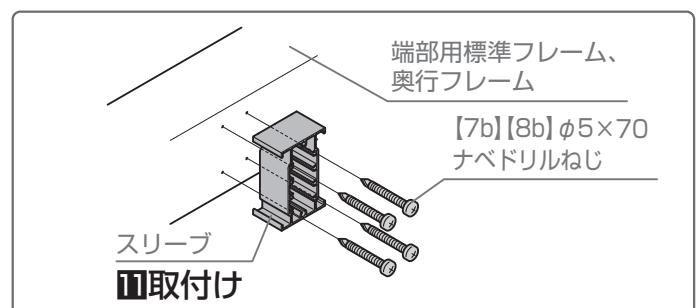
施工上のお願い

- 端部用標準フレームの穴加工の面に注意してください。



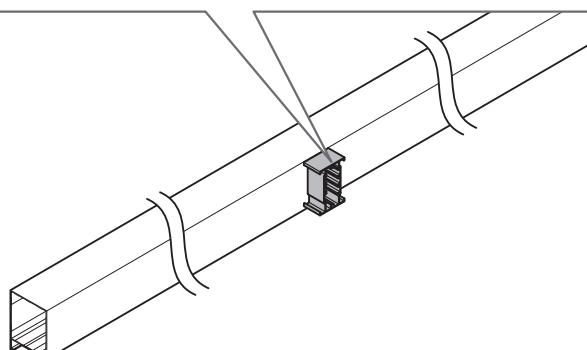
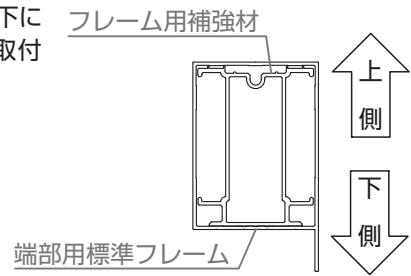
11: スリーブを端部用標準フレームと奥行フレームの中央に【7b】【8b】で取付け

※図は端部用標準フレームを示す



施工上のお願い

- フレーム補強材の上下に注意してフレームに取付けてください。



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

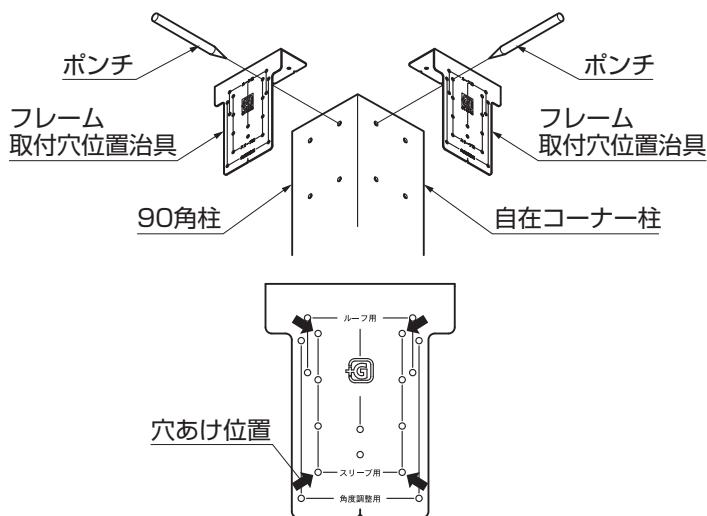
5-1 柱とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備（つづき）

施工上のお願い

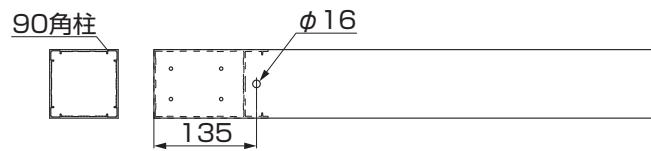
- 奥行壁がデザイン格子の場合は、「[5-4-2 埋め込み補助部材の取付け]を確認し、柱の建て込みの前に埋め込み施工補助部材取付金具を取り付けてください。

12: フレーム取付穴位置治具を90角柱にあて、ケガキ、ドリルで $\phi 4.5$ の穴をあけてください。

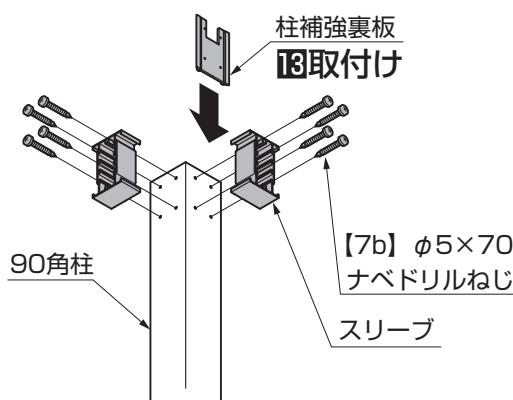


施工上のお願い

- LEDダウンライトを取付ける場合は、下図の位置に $\phi 16$ の穴加工をしてください。

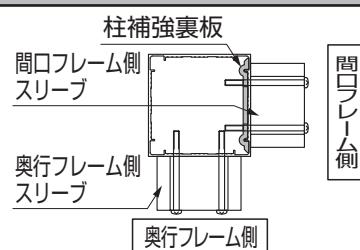


13: 90角柱にスリーブと柱補強裏板を【7b】で取付けてください



施工上のお願い

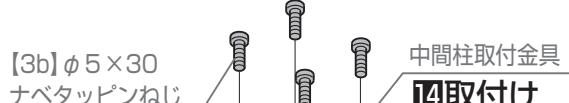
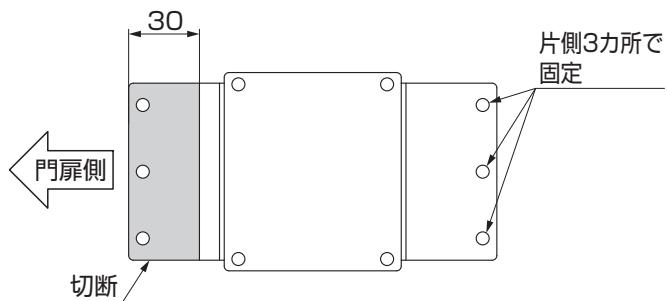
- 間口フレーム側のスリーブは柱内側に柱補強裏板を入れてから取付けてください。



14: 中間柱取付金具を90角中間柱の上端に【3b】で取付けてください

施工上のお願い

- 「5-1-1 柱の建て込み」の図中の丸で囲っていない90角柱中間用に、中間柱取付金具を取付けてください。
- 門袖に鋳物パネルを取付ける場合は、中間柱取付金具に加工が必要になります。「6-3 鋳物パネルの取付け」を参照し、金具に加工を行ってから柱に取付けてください。
- 「5-1-1 柱の建て込み」で門袖(中央壁側)の納まりがGウォールの場合は、門扉と隣接する中央壁側の柱の中間柱取付金具に加工が必要になります。下記を参照し、中間柱取付金具の門扉側から30mmを切断してください。また、金具をフレームへ取付ける際は、片側3カ所の固定穴を使用して固定してください。



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

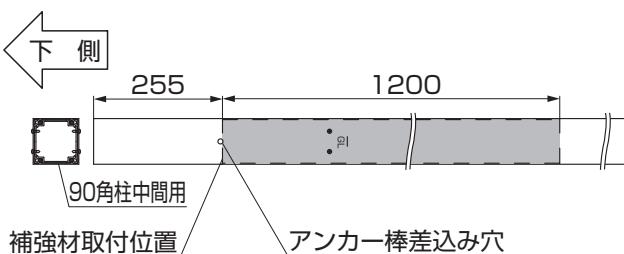
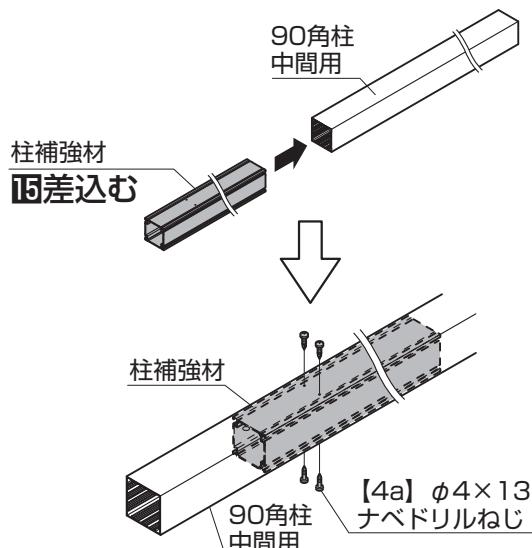
5-1 柱とフレームの取付け（つづき）

5-1-2 各部材の準備（つづき）

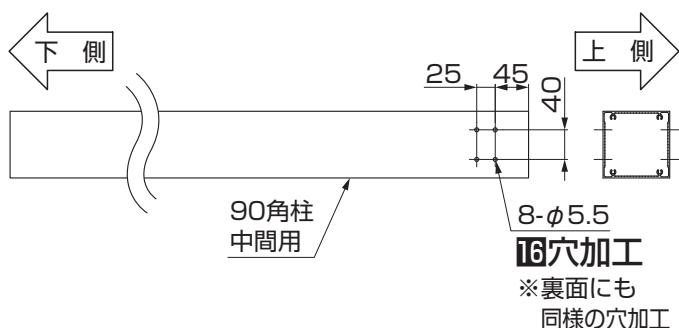
施工上のお願い

- [5-1-1] 柱の建て込みを確認して、対象の90角柱 中間用に補強材と専用接合金具を取り付けてください。
- アンカー棒の差込み穴から柱補強材の位置を確認することができます。
- 90角柱 中間用の穴加工の面に注意してください。

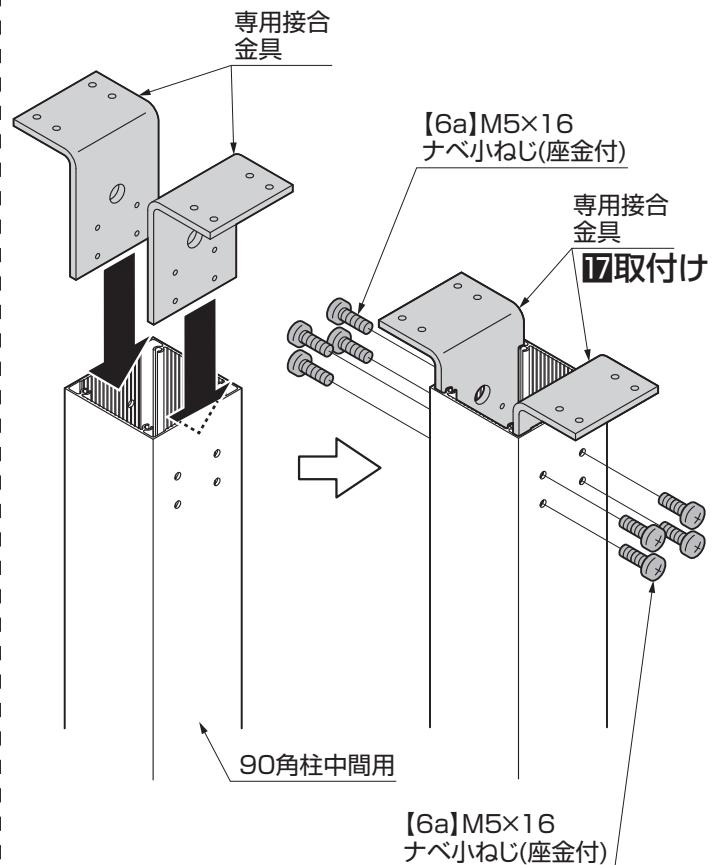
15: 柱補強材を90角柱 中間用に差込み、【4a】で取付け



16: 90角柱 中間用の上側にΦ5.5の穴加工



17: 専用接合金具を90角柱 中間用の上側に【6a】で取付け



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱とフレームの取付け（つづき）

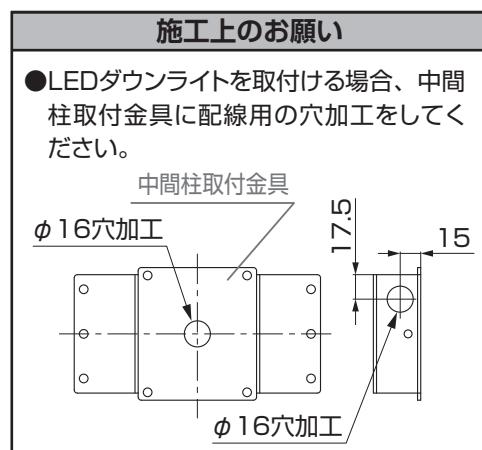
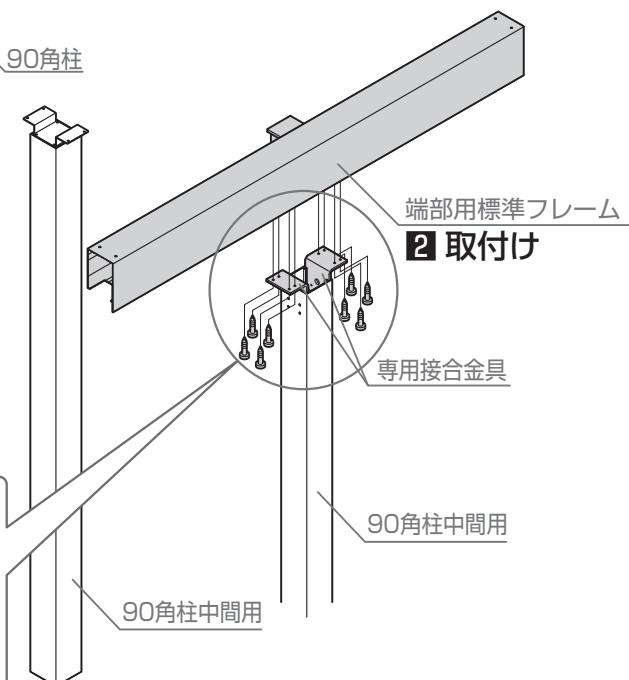
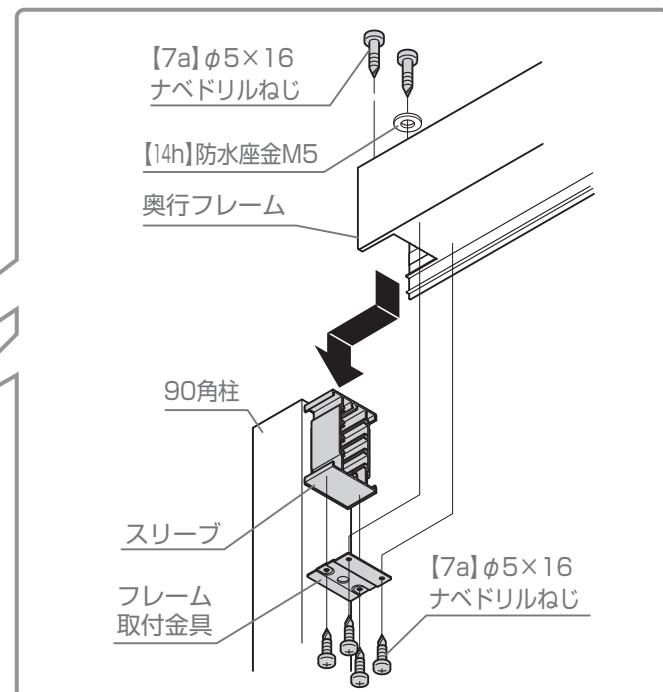
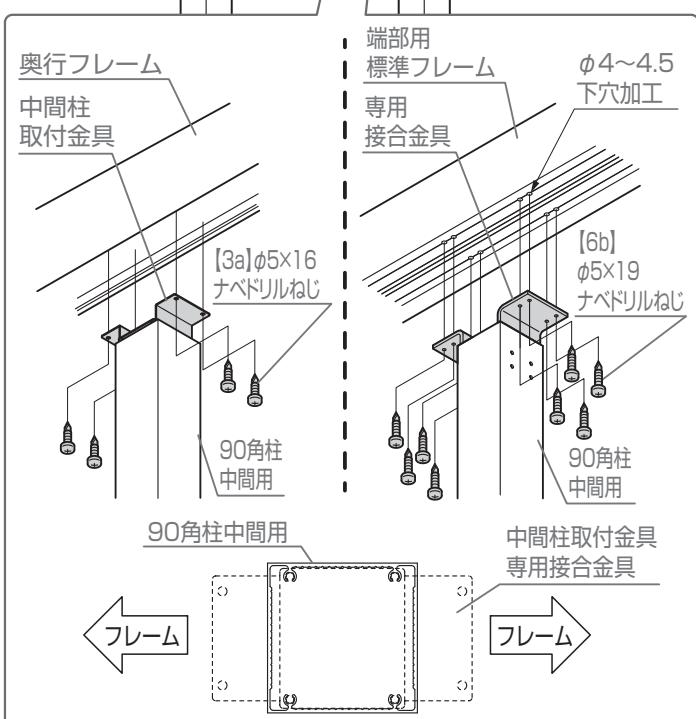
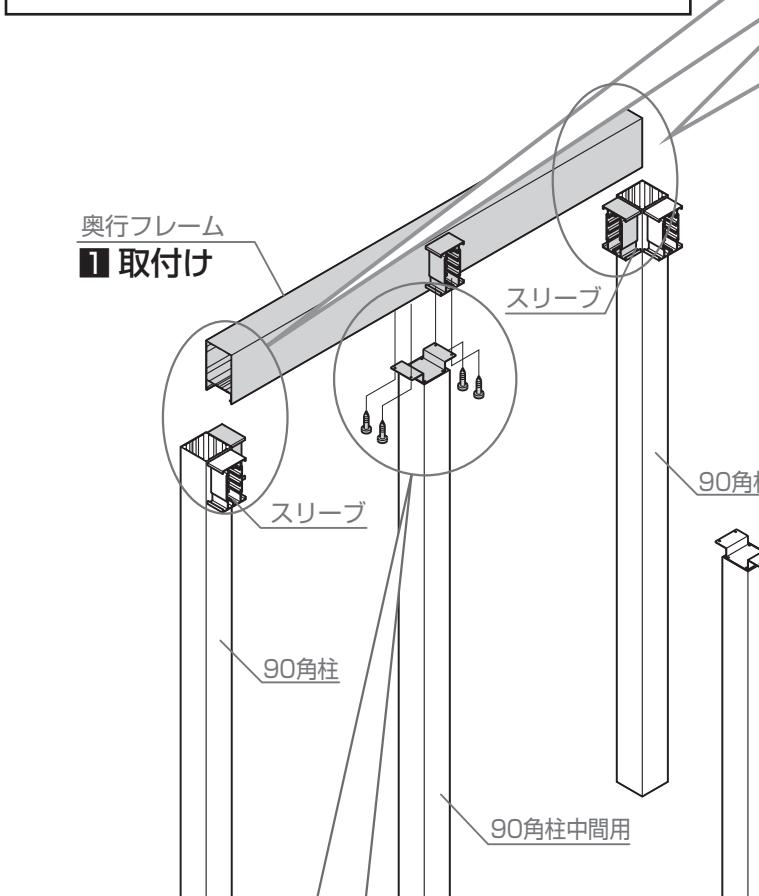
5-1-3 柱とフレームの組み立て

1: 奥行フレームを90角柱と90角柱 中間用に取付け

2: 端部用標準フレームを90角柱 中間用に取付け

施工上のお願い

- 添え木を使用し柱とフレームを支えてください。
- 上側のフレーム取付けねじは、外側の取付けねじのみ防水座金M5を使用して固定してください。
- 端部用標準フレームに90角柱中間用を取付ける際は、端部用標準フレームとフレーム補強材に下穴をあけてから取付けを行ってください。



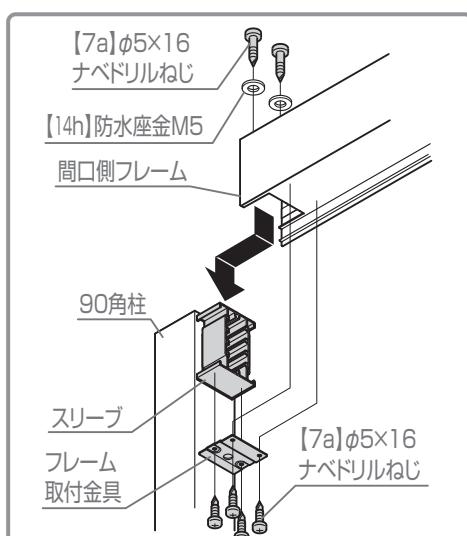
5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-1 柱とフレームの取付け（つづき）

5-1-3 柱とフレームの組み立て

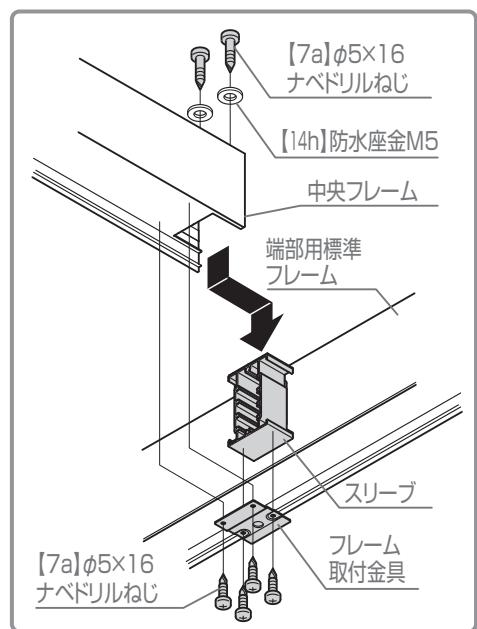
3:中央フレームを奥行フレームと端部用標準フレーム、90角柱中間用に取付け

4:間口側フレームを90角柱と端部用標準フレームに取付け



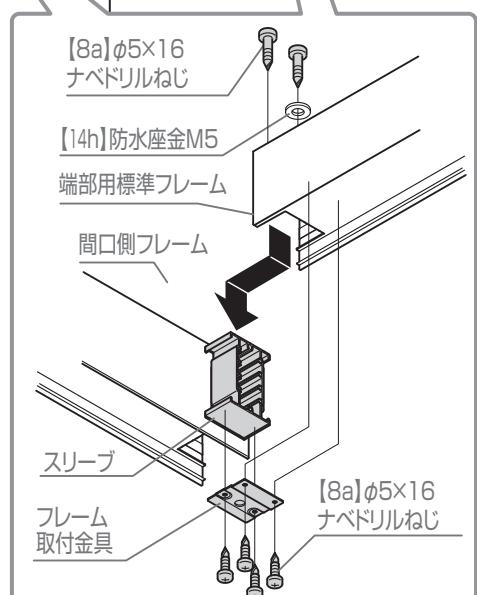
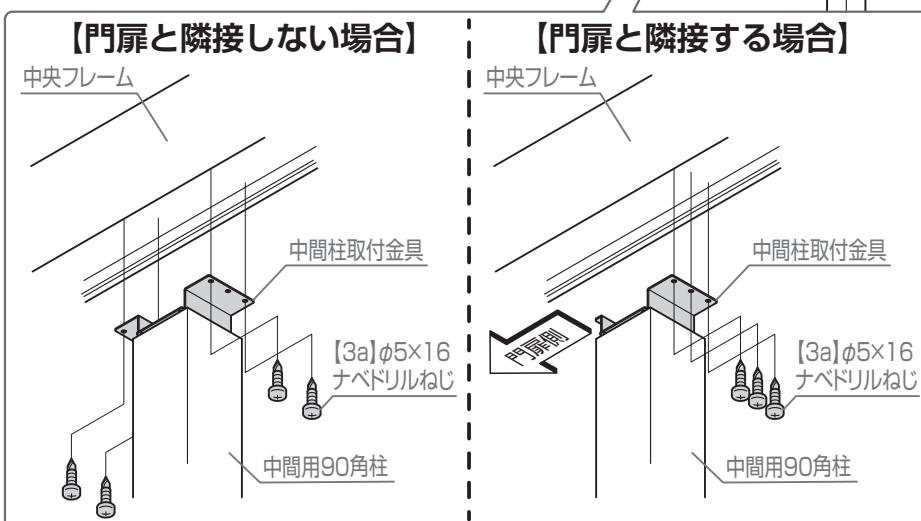
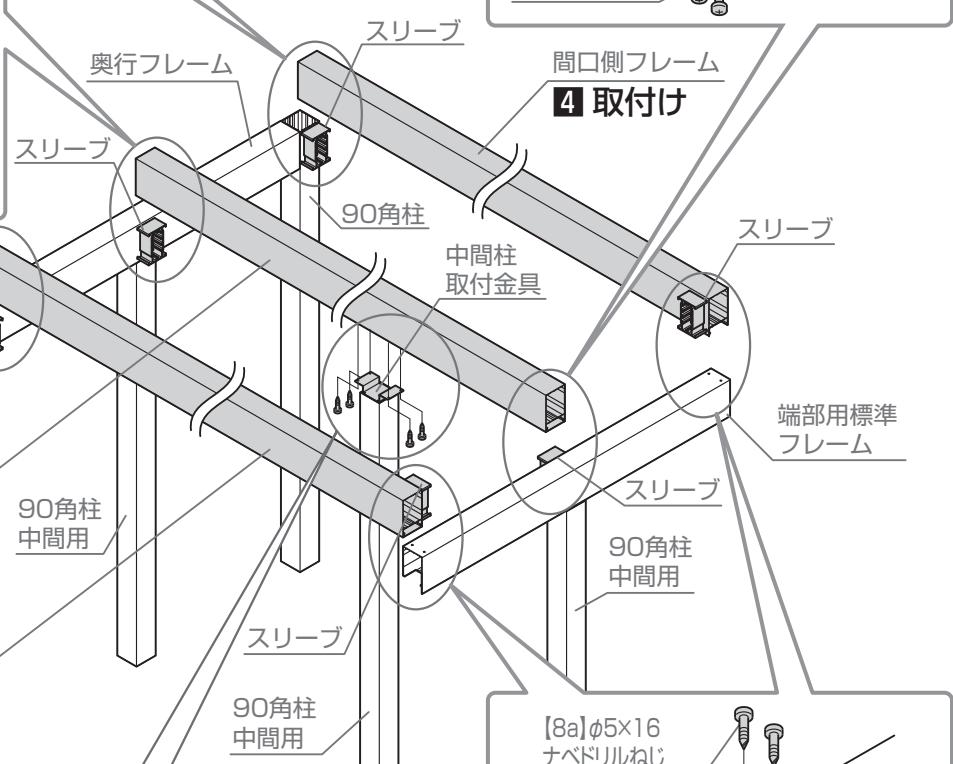
施工上のお願い

- 上側のフレーム取付けねじは、外側の防水座金M5を使用して固定してください。ただし、間口側フレームと端部用標準フレームの固定は外側の取付けねじのみ防水座金M5を使用してください。



施工上のお願い

- エントランスサイズが4スパンの場合、中央フレームと奥行フレームを接続する際にフレーム取付金具は取付けず、スリーブ固定金具を取付けてください。（次ページ参照）



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

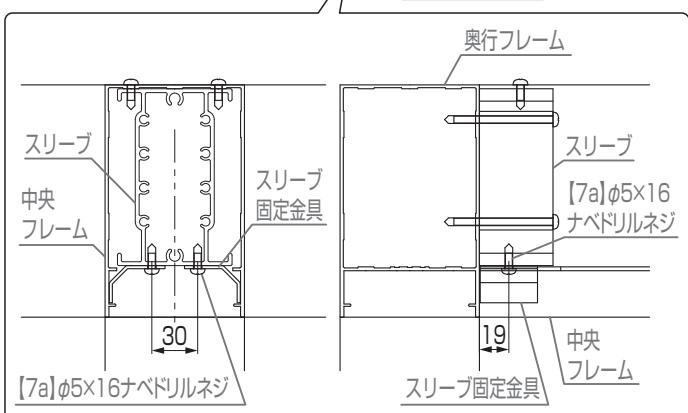
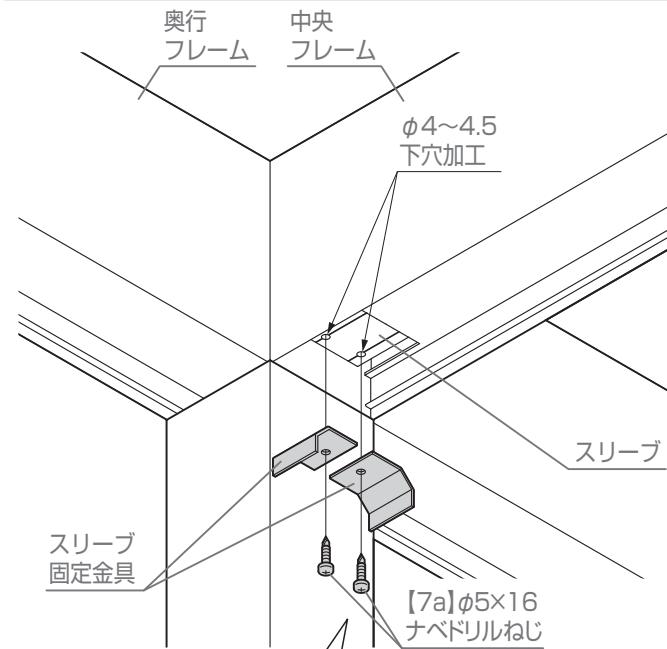
5-1 柱とフレームの取付け

5-1-3 柱とフレームの組立て（つづき）

1:スリーブ固定金具を中心フレームのスリーブに【7a】で取付け

施工上のお願い

- スリーブ固定金具の取付けはエントランスサイズが4スパンの場合の手順です。中央フレームと奥行フレームを接続する際に、スリーブ固定金具を使用して固定してください。
- スリーブにφ4.5の下穴加工を行ってから取付けてください。

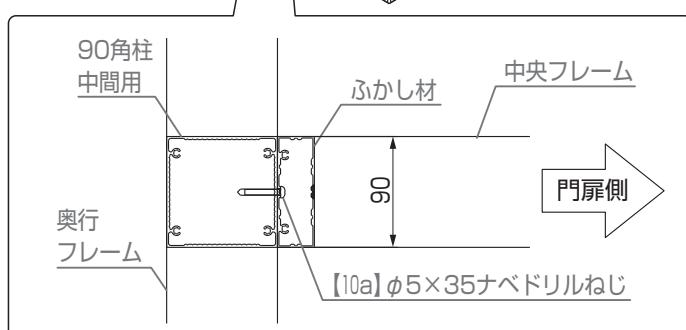
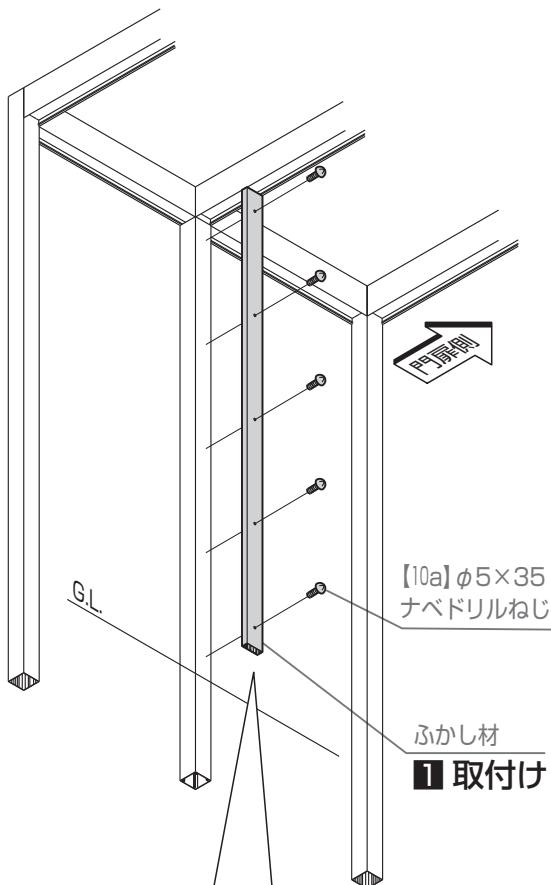


5-2 ふかし材の取付け

1:ふかし材を90角柱中間用に【10a】で取付け

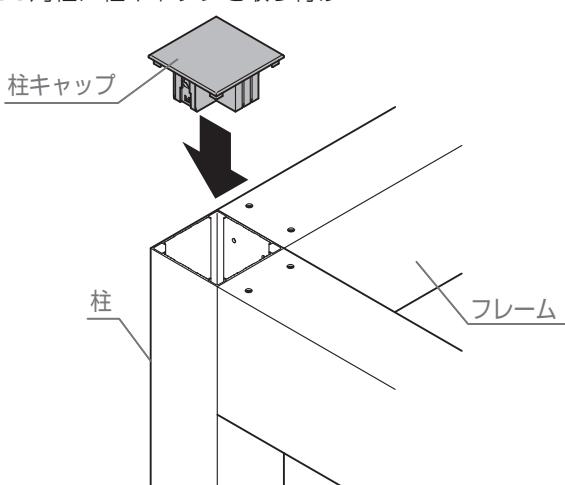
施工上のお願い

- ふかし材は奥行壁中央の90角柱中間用の内側の面に取り付けてください。
- ふかし材はG.L.からフレーム下まで柱と面一になるように取付けてください。



5-1-4 柱キャップの取付け

1:90角柱に柱キャップを取り付け



5-3 門扉枠の取付け

施工上のお願い

- 「プラスG エントランス シンメトリーイタイプ 取付説明書 (EXM-219)」を参照して取付けてください。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-4 デザイン格子の取付け

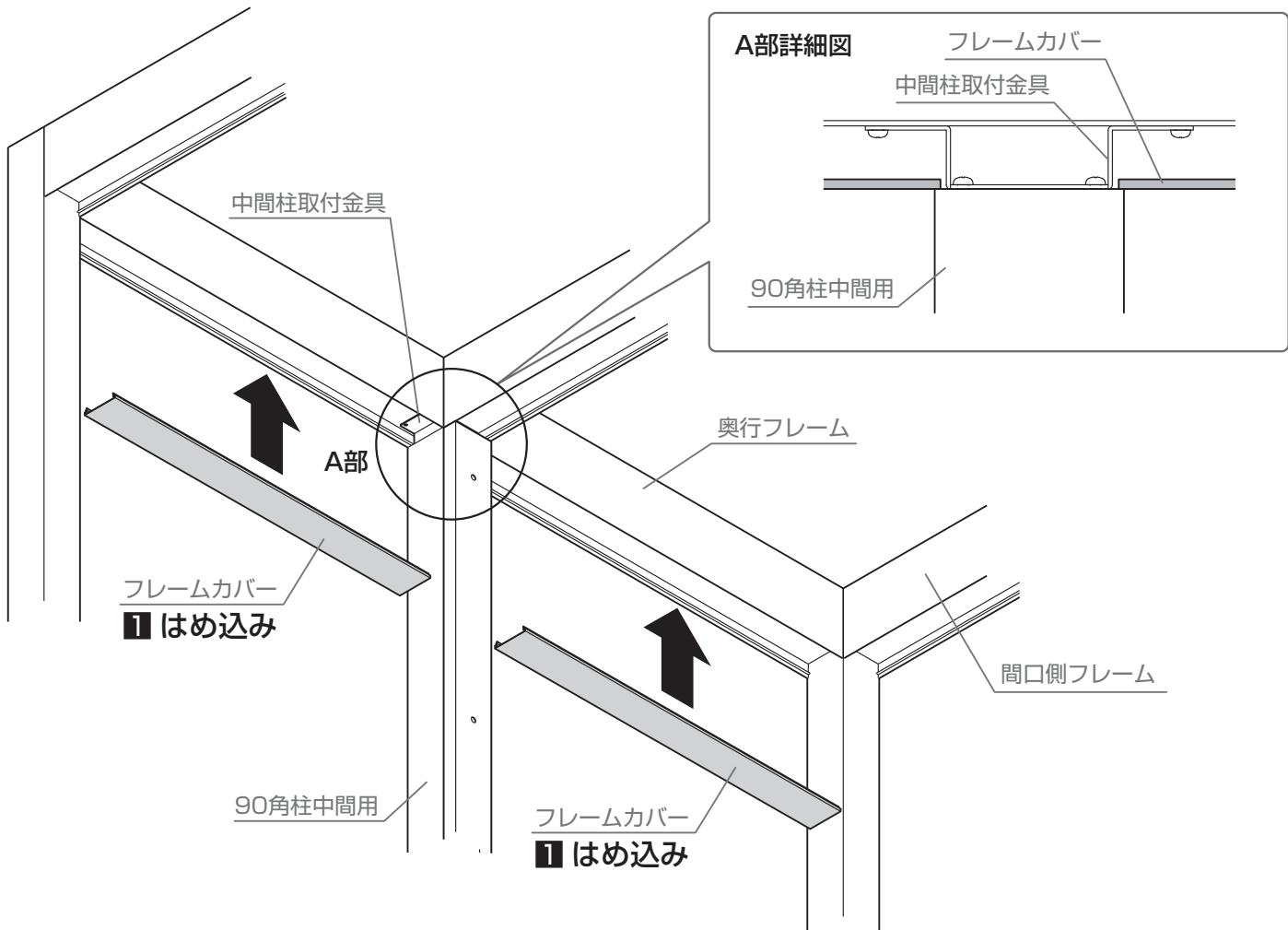
※奥行壁がデザイン格子の場合の手順

5-4-1 フレームカバー(奥行フレーム用)の取付け

①: フレームカバーを切断し、奥行フレームにはめ込み

施工上のお願い

- [5-4 デザイン格子の取付け]は奥行壁がデザイン格子の場合の手順です。
奥行壁がGウォールの場合は、[5-4]をとばして門袖の取付けを行ってください。



施工上のお願い

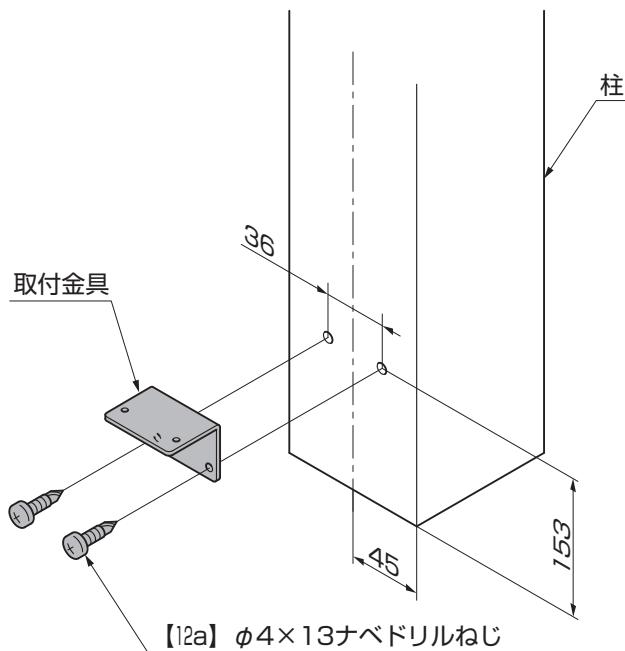
- フレームカバーは、実測値から中間柱のみ込み分(1mm ~ 2mm)長く切断すると、隙間なく施工できます。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

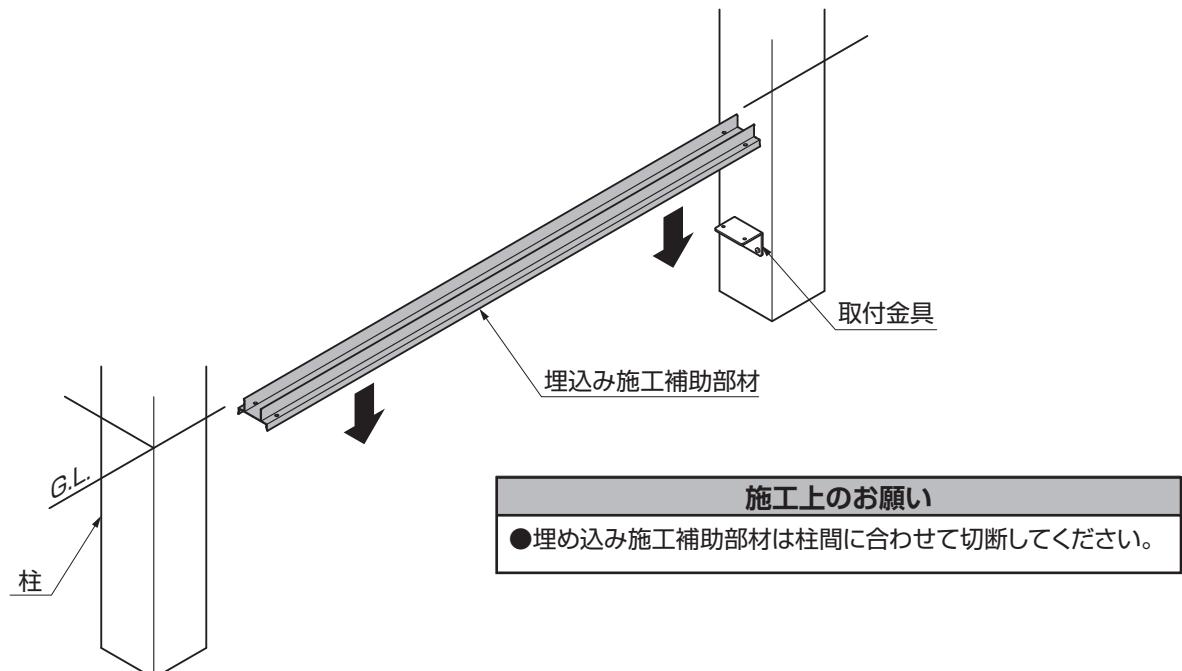
5-4 デザイン格子の取付け（つづき）※奥行壁がデザイン格子の場合の手順

5-4-2 埋め込み補助部材の取付け

①: 埋込み施工補助部材の取付金具を奥行壁側の柱に【12a】で取付けてください。



②: 埋込み施工補助部材を取付金具にはめ込む



5 柱、フレームの取付けと基礎工事

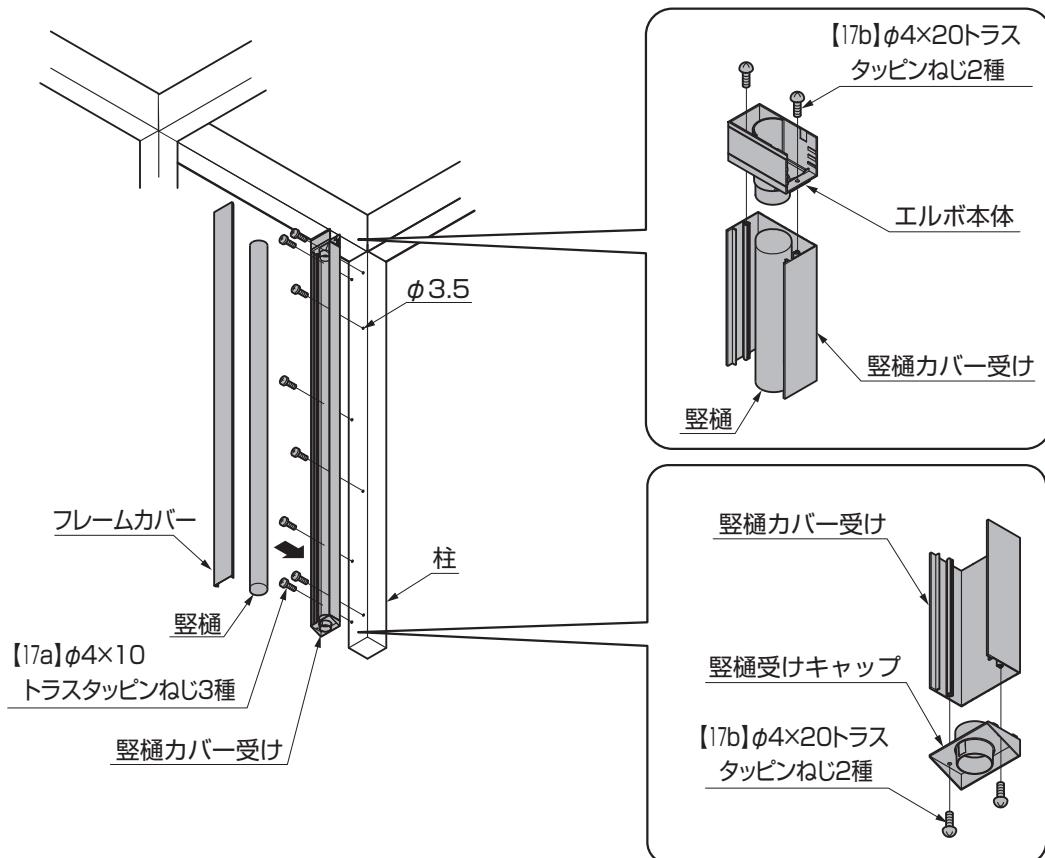
5-4 デザイン格子の取付け（つづき） ※奥行壁がデザイン格子の場合の手順

5-4-3 化粧樋 竪樋カバー受けの取付け

- 1: 竪樋の長さを2138mmに切断してください。
- 2: 切断した竪樋を竪樋受けキャップに差し込んでください。
- 3: エルボ本体を竪樋に挿入しつつ竪樋カバー受けに【17b】で取付けてください。
- 4: 竪樋カバー受けを柱にあてエルボ本体をフレームに突き当てた状態で、ドリルで柱に $\phi 3.5$ の下穴をあけ、【17a】で竪樋カバー受けを柱に取付けてください。
- 5: フレームカバーを竪樋カバー受けにはめ込んでください。

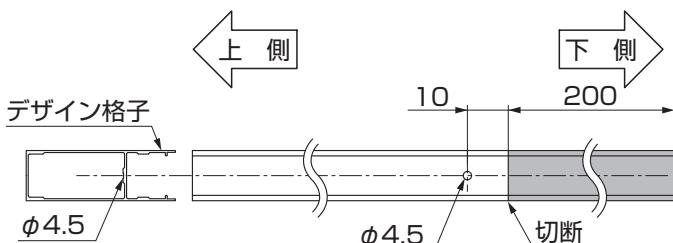
施工上のお願い

- 化粧樋は、〈9-1-1. 化粧樋の確認〉を参照し取付位置を確認してから取付けてください。
- エルボ本体の取付方向が正しいかを確認してください。
- エルボ本体とフレームの間にすき間がないこと、竪樋カバー受けと柱の面がずれていなことを確認してください。

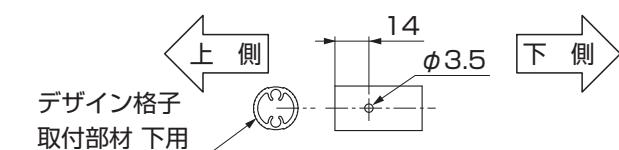


5-4-4 デザイン格子の加工

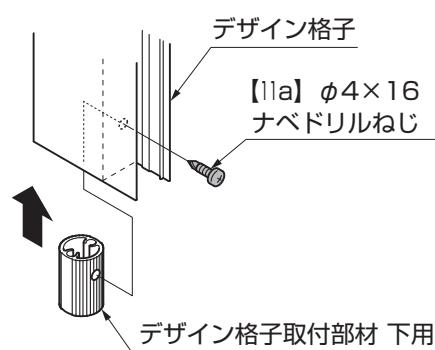
- 1: デザイン格子を切断、穴加工



- 2: デザイン格子取付部材 下用を穴加工



- 3: デザイン格子にデザイン格子取付部材 下用を【11a】で取付け



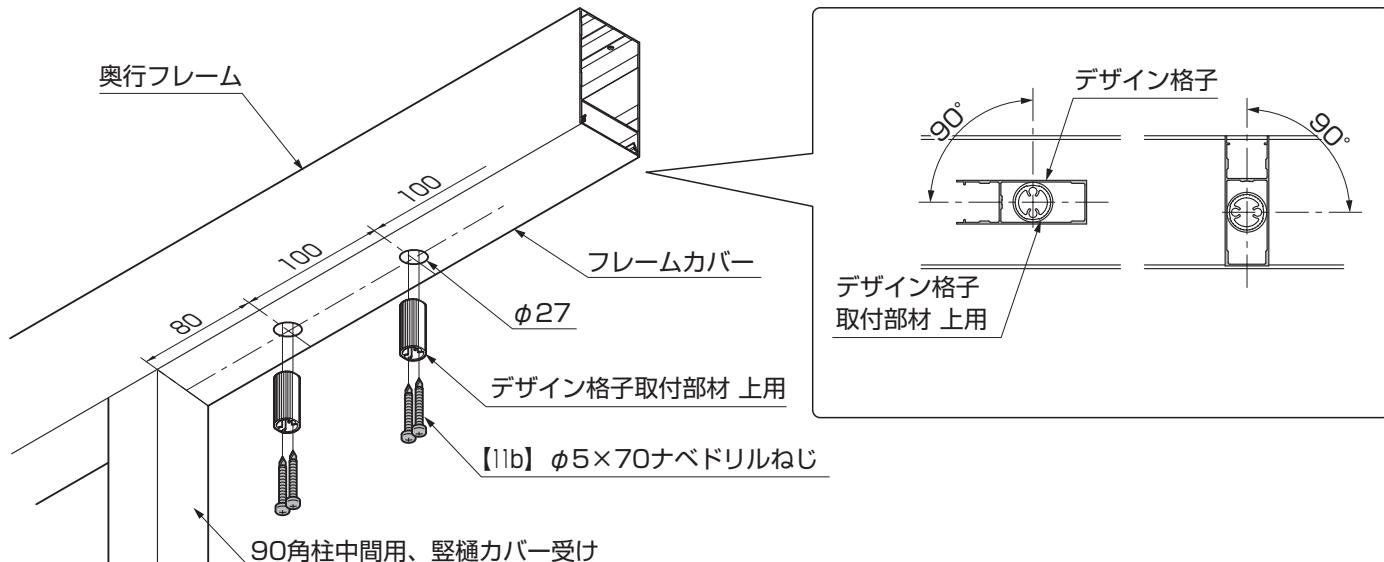
5 柱、フレームの取付けと基礎工事

5-4 デザイン格子の取付け（つづき） ※奥行壁がデザイン格子の場合の手順

5-4-5 デザイン格子の取付け

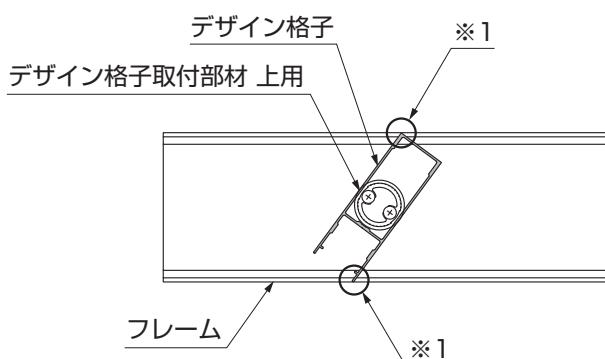
1: フレームカバーにφ27の穴加工

2: デザイン格子取付部材 上用をフレームに【11b】で取付け

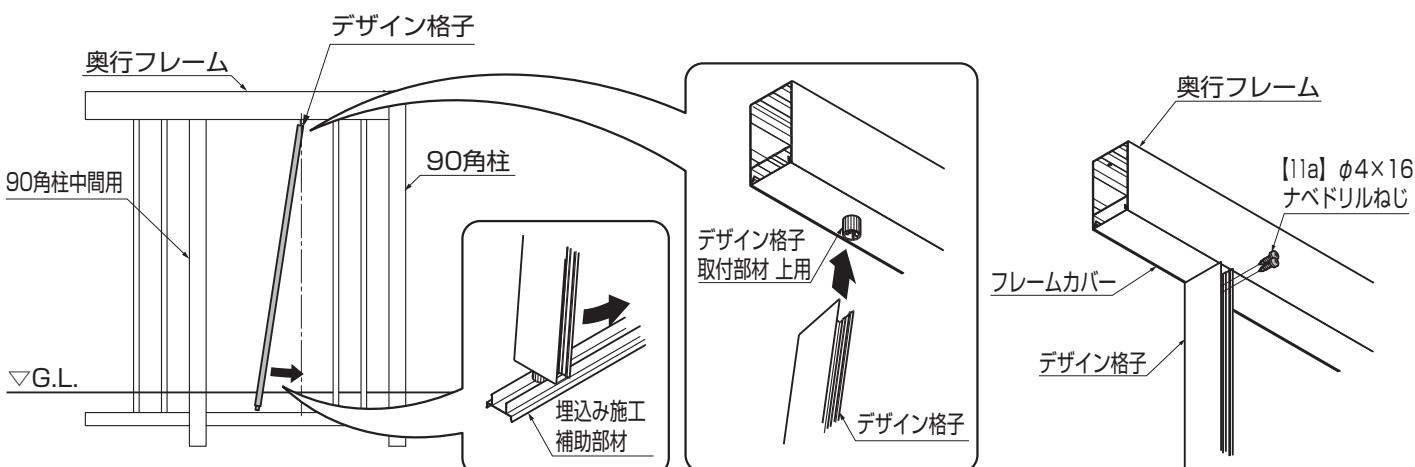


施工上のお願い

- 両端部のデザイン格子取付部材は、柱または豊橋力バー受けから80mmの位置に取付けてください。また、中間のデザイン格子取付部材は100mmピッチで取付けてください。
- デザイン格子取付部材はデザイン格子の取付け角度に対して90°に取付けてください。
- デザイン格子は回転させて取付ける事が可能ですが、※1の箇所がフレームから飛び出さないように取付けてください。



3: デザイン格子取付部材 上用にデザイン格子を【11a】で取付け



施工上のお願い

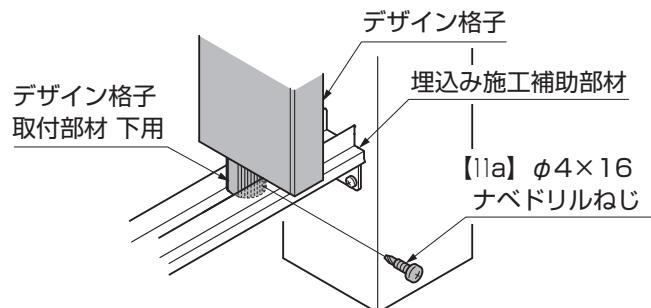
- 上図を参考にデザイン格子をデザイン格子取付部材 上用、埋込み施工補助部材に入るよう斜めにして取付けてください。
- デザイン格子とフレームカバーにすき間がないことを確認してください。

5 柱、フレームの取付けと基礎工事

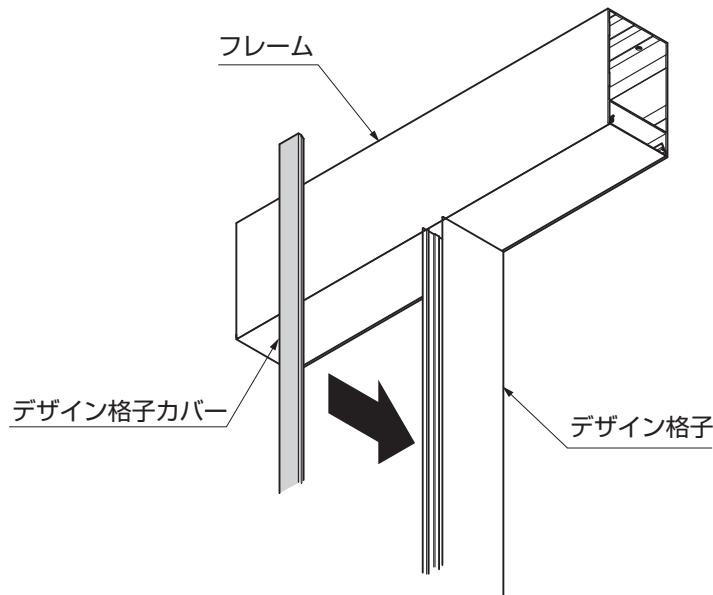
5-4 デザイン格子の取付け（つづき）※奥行壁がデザイン格子の場合の手順

5-4-5 デザイン格子の取付け（つづき）

4: デザイン格子取付部材 下用を埋込み施工補助部材に【11a】で取付け



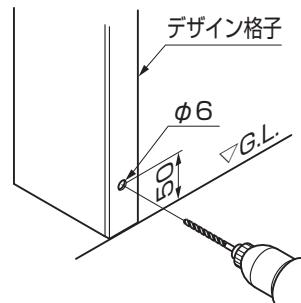
5: デザイン格子にデザイン格子カバーをはめ込む



施工上のお願い

- デザイン格子カバーは必要に応じて切断してから取付けてください。

6: デザイン格子にφ6の水抜き穴加工



施工上のお願い

- 水抜き穴は基礎の打設後に加工してください。

6 門袖の取付け

6-1 ガラスパネルの取付け

施工上のお願い

- 「Gスクリーン ガラスパネル 取付説明書（EXM-216）」を参照して取付けてください。

6-2 KNパネルの取付け

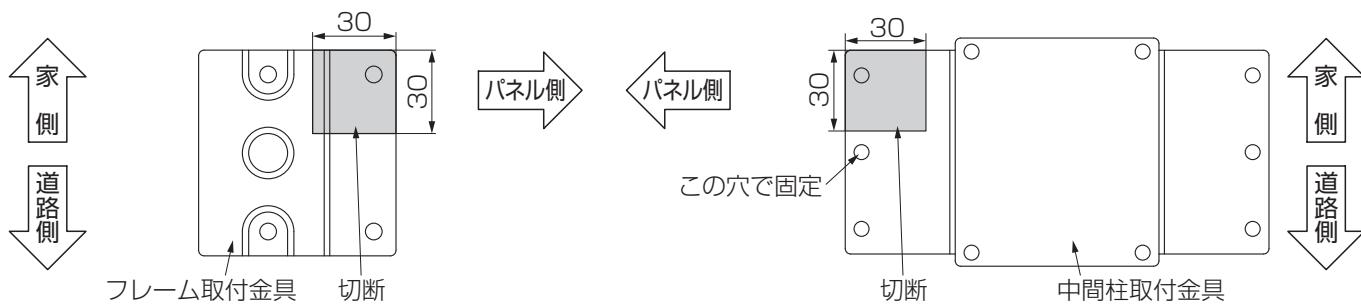
施工上のお願い

- 「Gスクリーン 袖パネル 取付説明書（EXM-049）」を参照して取付けてください。

6-3 鑄物パネルの取付け

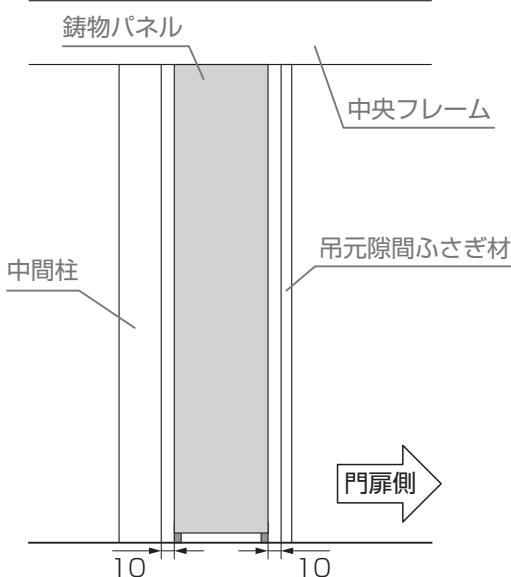
施工上のお願い

- 「Gスクリーン 鑄物パネル 取付説明書（EXM-151）」を参照して取付けてください。
- 鑄物パネル取付ねじ、スペーサーが中間柱取付金具に干渉してしまうため、中間柱取付金具とフレーム取付金具の隅30mm角をグラインダーで切断してください。中間柱取付金具の取付けは、中央部の固定穴を使用して固定してください。



補足

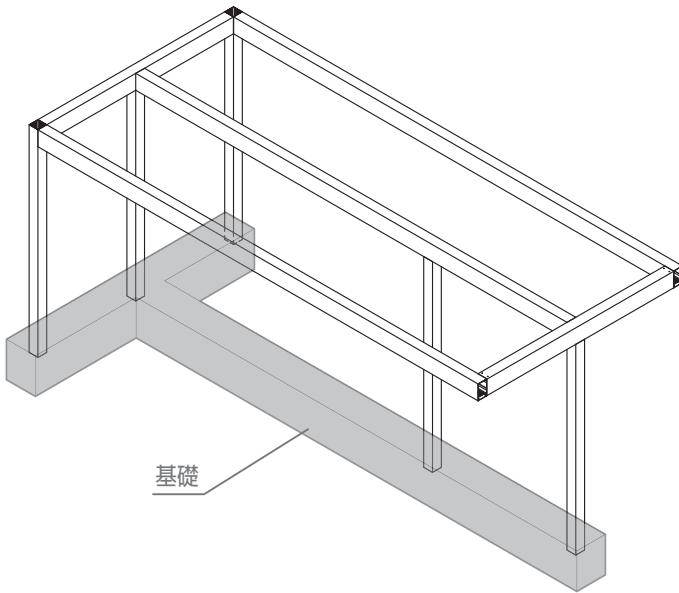
- 鑄物パネルと柱の間には約10mmの隙間が両端に空きます。



7 基礎の打設

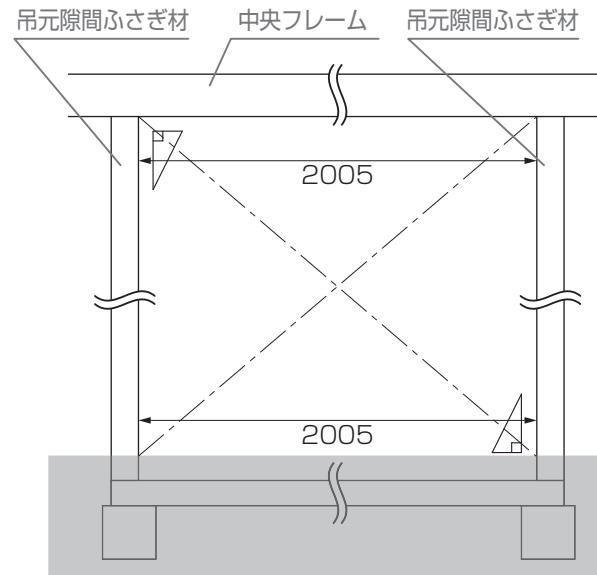
7-1 基礎の打設

1: 基礎の打設



施工上のお願い

- 基礎の打設後に、吊元隙間ふさぎ材の垂直・直角が出ているか、吊元隙間ふさぎ材同士の内々の寸法が2005mmになっているか、対角の寸法が同じになっているか必ず確認してください。

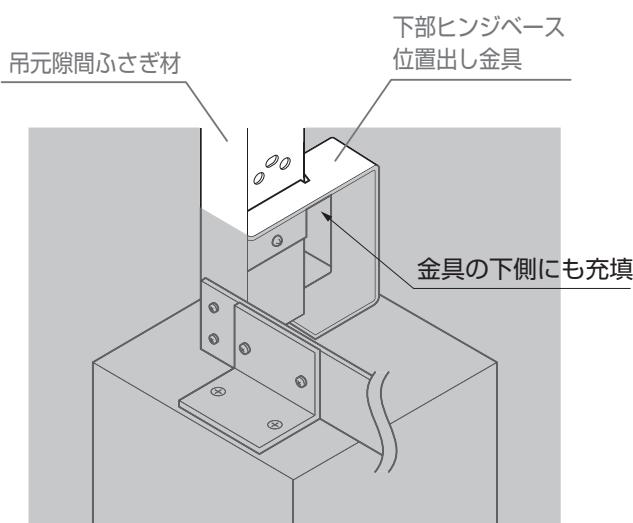


施工上のお願い

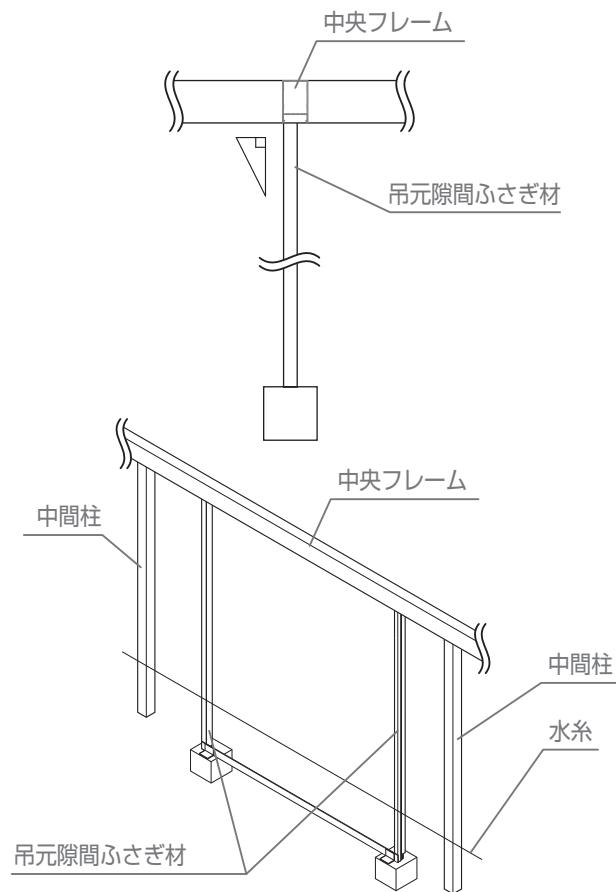
- Gウォールを セラミックタイル仕様かつ小口をタイル納まりで取付ける場合、基礎の打設前に「Gウォール 取付説明書 (EXM-017)」の P.35を参照し、タイル用小口巾木を取付けてください。

- 基礎の打設の際に、下部ヒンジベース位置出し金具の天面が埋まってしまうないように注意してください。(タイル等で床仕上げを行う場合は下部ヒンジベース位置出し金具の天面より床面が上にならないようにしてください。)

- 下部ヒンジベース位置出し金具の下側にも確実に充填してください。



- 正面からの確認だけでなく、側面側の垂直も確認してください。また、中間柱間に水糸を張るなどして、前後のズレがないようにしてください。



8 エントランスルーフの取付け

8-1 エントランスルーフの取付け

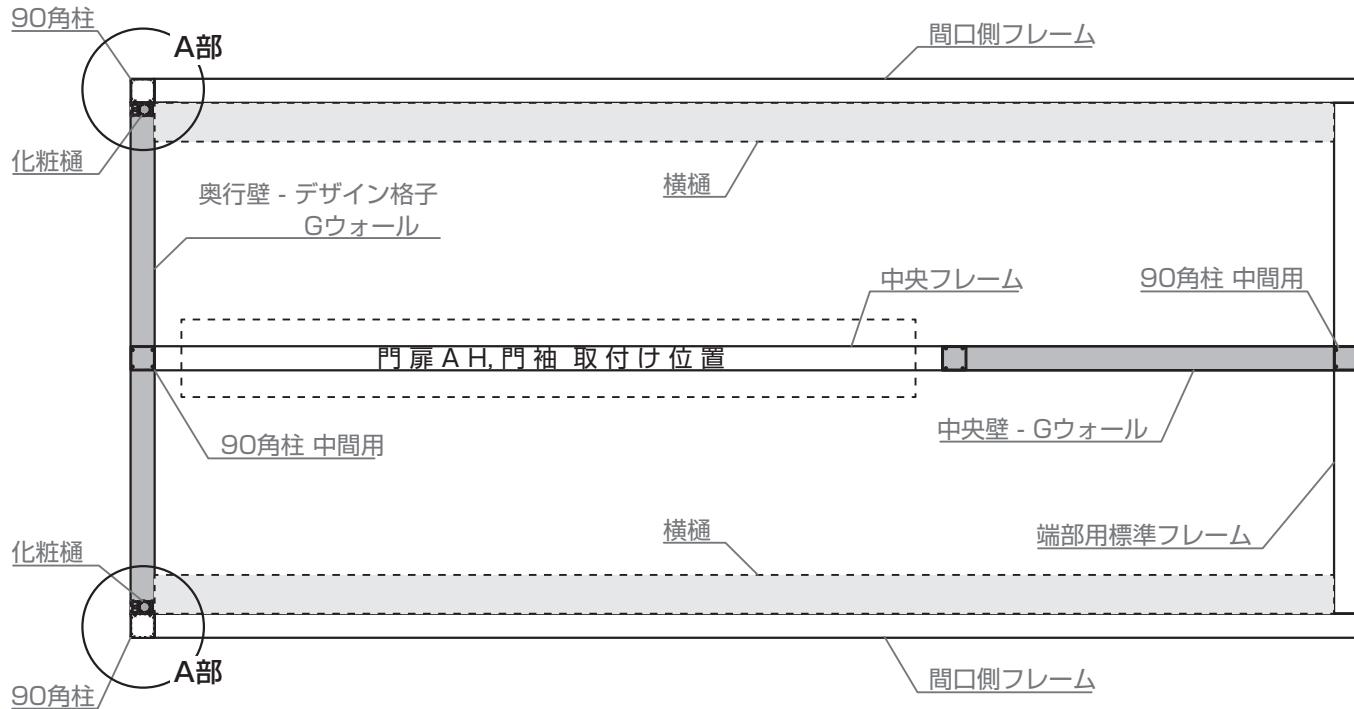
施工上のお願い

- 「プラスG エントランス シンメトリータイプ 取付説明書(EXM-219)」の〈8. エントラスルーフの取付け〉を参照して取付けてください。

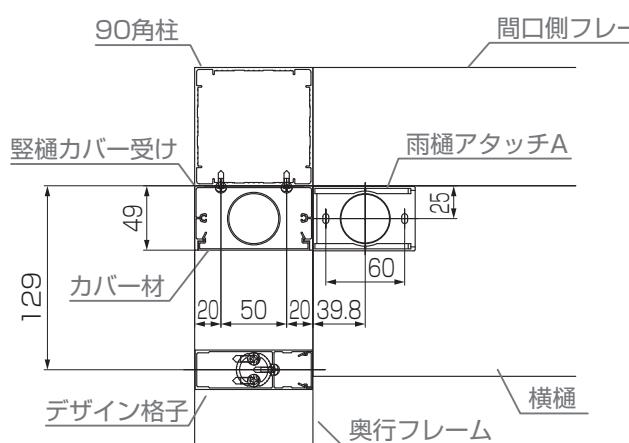
9 天井材の取付け

9-1 化粧樋の取付け準備

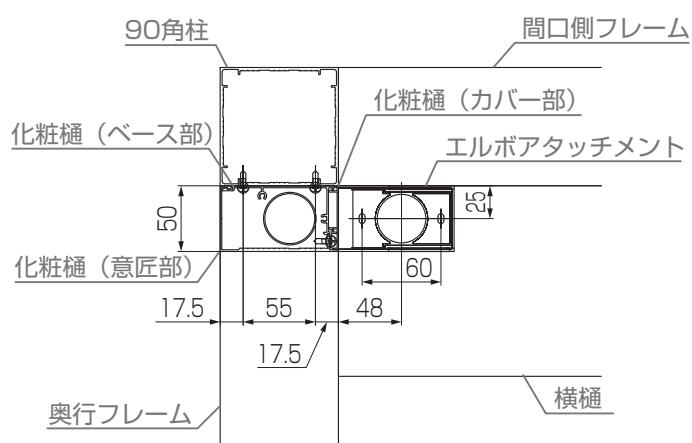
9-1-1 化粧樋の確認



●A部詳細図



[奥行壁がデザイン格子の場合]



[奥行壁が G ウォールの場合]

施工上のお願い

- 化粧樋は上図を参照し奥行壁側の90角柱に沿って、2カ所取付けてください。
- 奥行壁に設置する製品によって化粧樋の種類がことなります。化粧樋の種類と取付け手順は下記を参照してください。
 - ・奥行壁がデザイン格子の場合は、化粧樋 エルボ仕様(平行納まり)を取付けてください。⇒ P.46
 - ・奥行壁がGウォールの場合は、化粧樋 外側排水用(平行納まり)を取付けてください。⇒ P.47

9 天井材の取付け

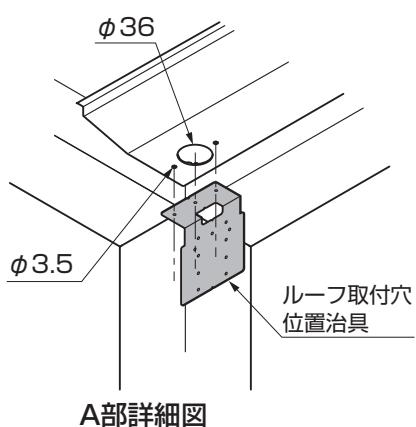
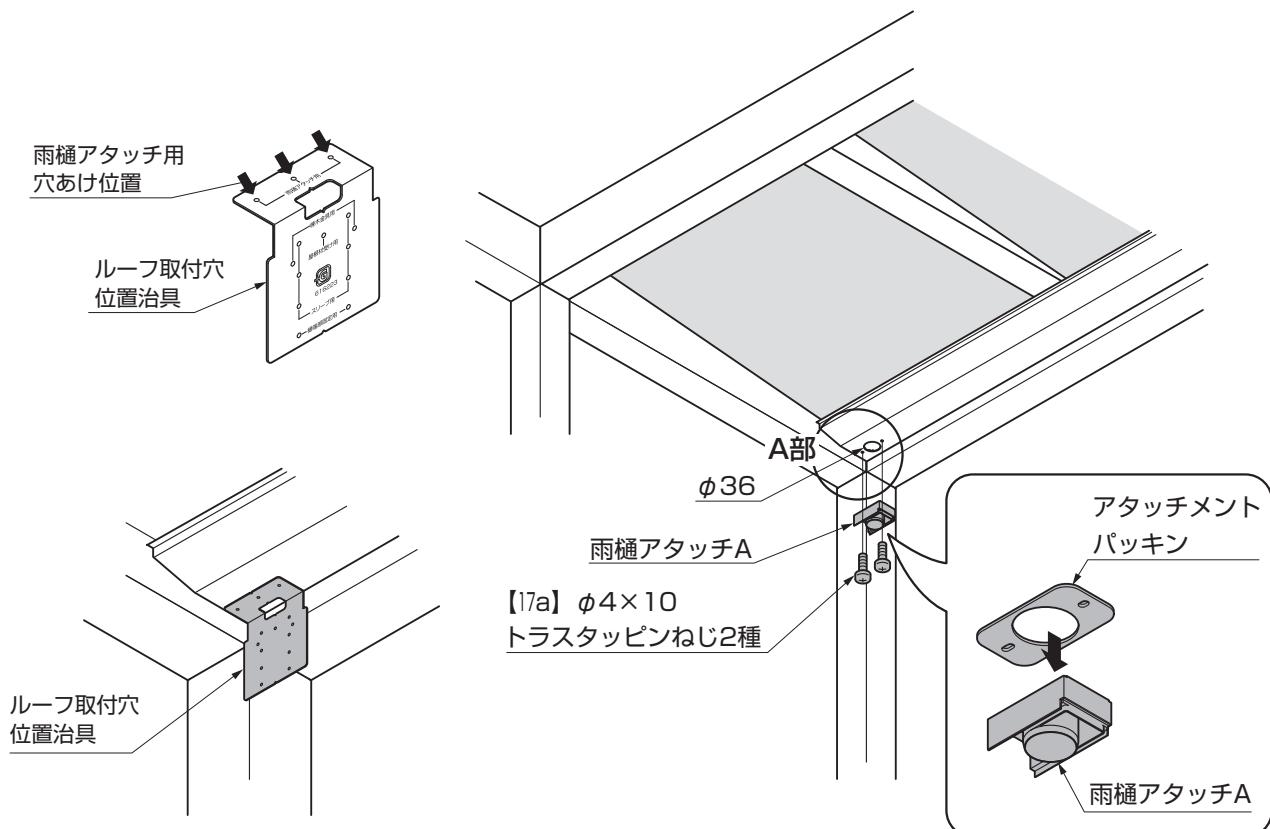
9-1 化粧樋の取付け準備

9-1-2 化粧樋 エルボ仕様(平行納まり) 部品の取付け

※奥行壁がデザイン格子の場合の手順

①: ルーフ取付位置治具を樋にあてて、ポンチ等でケガキ、ドリルで水抜き穴 ϕ 36と雨樋アタッチメント取付穴 ϕ 3.5をあけてください。

②: アタッチメントパッキンを雨樋アタッチAに貼付けて樋に【17a】で取付けてください。



施工上のお願い

- ルーフ取付穴位置治具の折り曲げ部を樋の入隅部に突き当てるに正確に位置出しができます。
- 穴加工位置のズレが大きいと、堅樋が取付けられません。

9 天井材の取付け

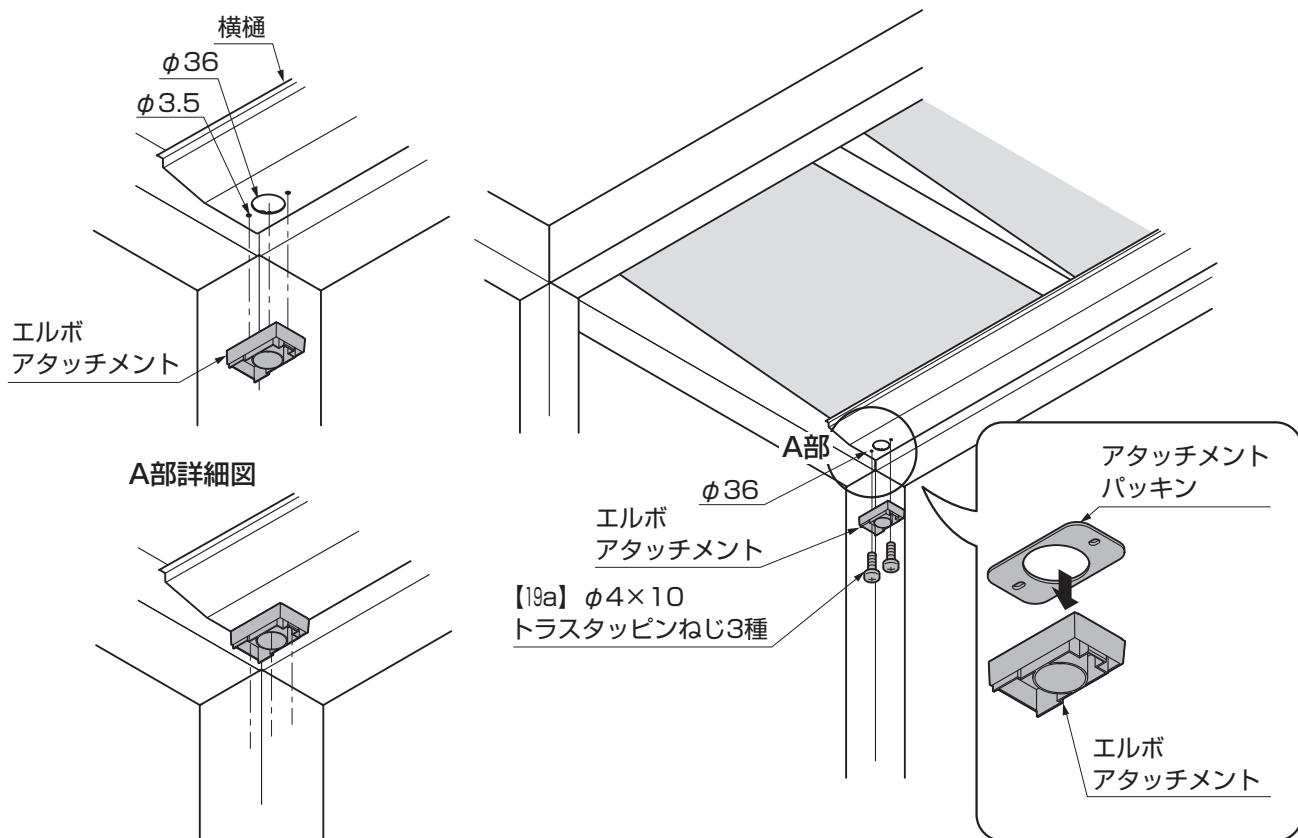
9-1 化粧樋の取付け準備

9-1-3 化粧樋 外側排水用(平行納まり) 部品の取付け

※奥行壁がGウォールの場合の手順

①:エルボアタッチメントを樋にあて、ポンチ等でケガキ、ドリルで水抜き穴 ϕ 36とエルボアタッチメント取付穴 ϕ 3.5をあけてください。

②:エルボアタッチメントにアタッチメントパッキンを貼付けし、ルーフの雨樋に【19a】で取付けてください。



施工上のお願い

- 穴加工位置のズレが大きいと、縦樋が取付けられません。

9 天井材の取付け

9-2 部材の加工

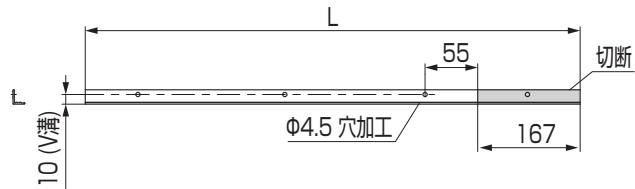
1:天井横枠Aの2本の内1本を下記寸法で切断

2:天井横枠Aの切断した側に、Φ4.5の穴加工

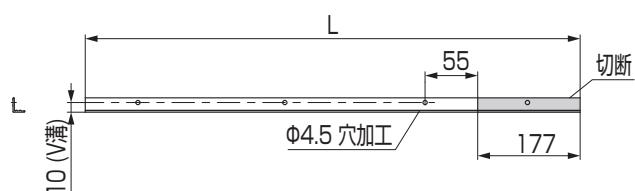
施工上のお願い

- 天井横枠Aの切断および穴加工は、2本のうち1本のみ行ってください。

【奥行壁がデザイン格子の場合】



【奥行壁がGウォールの場合】

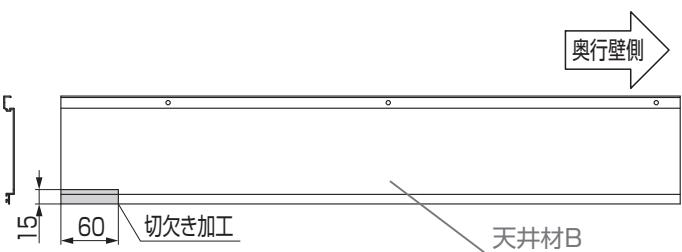


3:天井材A、天井材B、天井材C、調整天井材A、調整天井材Bを下記寸法で切断※図は天井材Aを示す

施工上のお願い

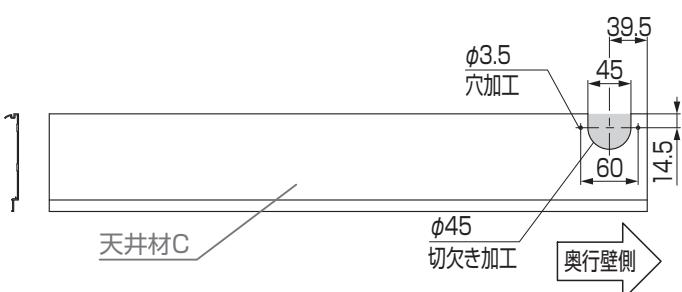
- 天井材は必ず奥行壁側を切断してください。反対側を切断するとねじ固定用の加工穴の位置が合わなくなります。

4:天井材Bの切断した反対側に下記の切り欠き加工

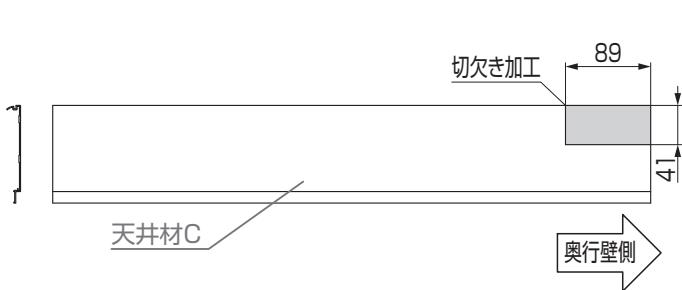


5:天井材Cの切断した側(奥行壁側)に下記の穴加工と切り欠き加工

【奥行壁がデザイン格子の場合】



【奥行壁がGウォールの場合】

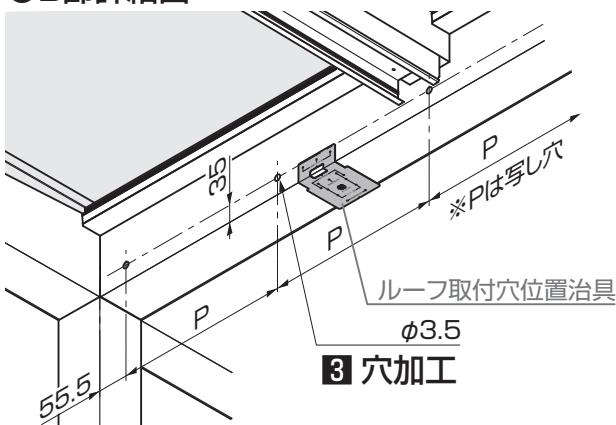


9 天井材の取付け

9-3 天井横枠の取付け

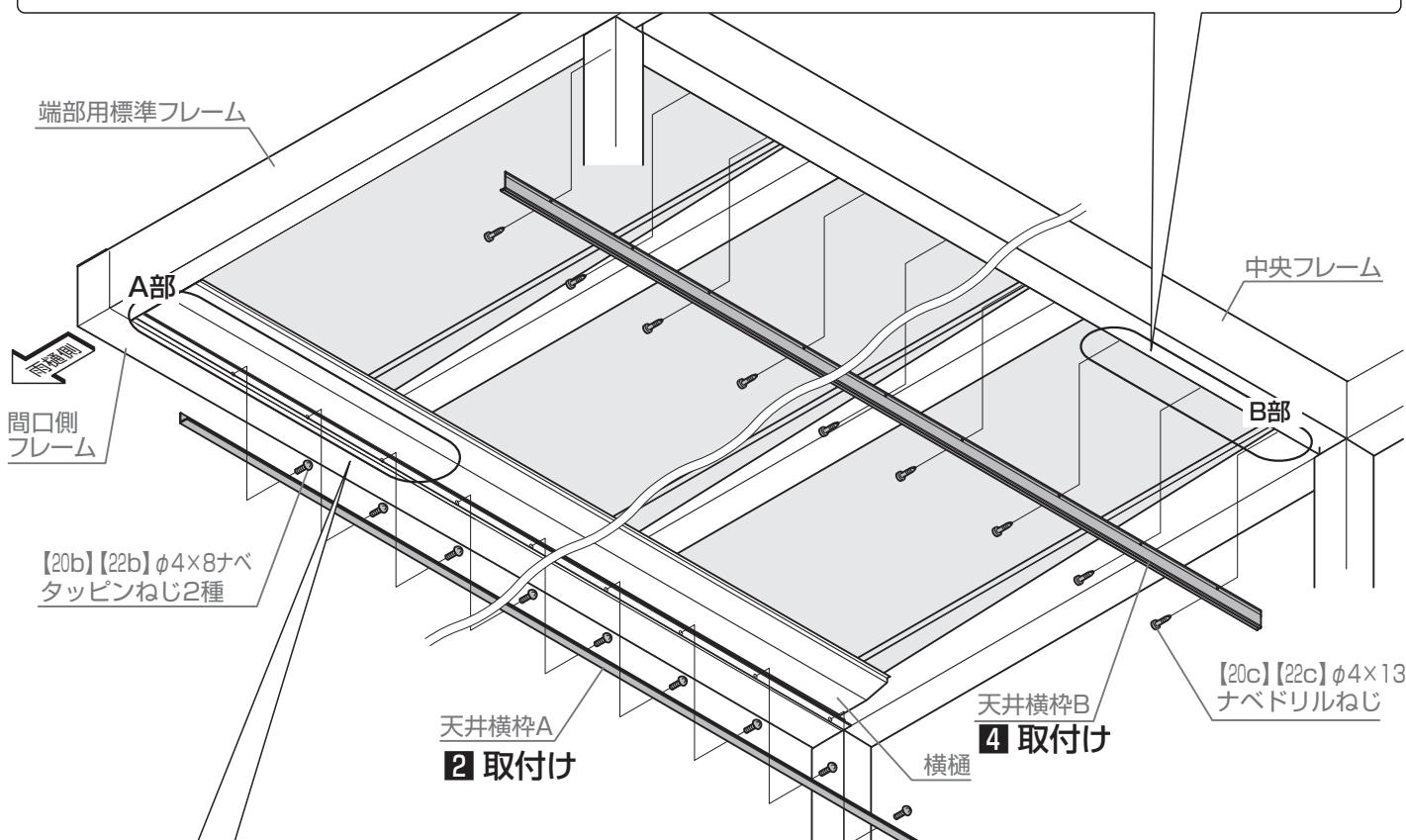
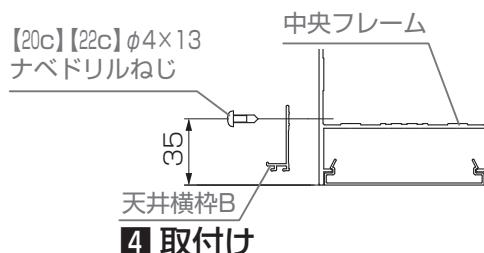
- 1:雨樋側のフレームにφ3.5の穴加工
- 2:天井横枠Aを間口側フレームに【20b】【22b】で取付け
- 3:中央のフレームにφ3.5の穴加工
- 4:天井横枠Bを中央フレームに【20c】【22c】で取付け

●B部詳細図

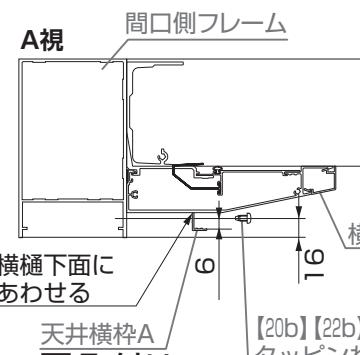
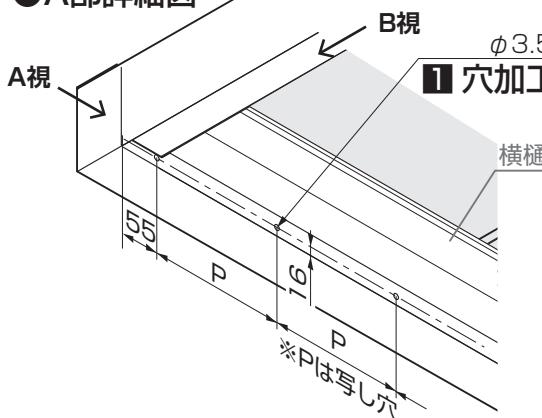


補足

●ルーフ取付穴位置治具を使うことで天井横枠取付け下穴の位置出しがしやすくなります。



●A部詳細図



施工上のお願い

●天井横枠Aは端部用標準フレームの脚部に突き当たる位置に取付けてください。

9 天井材の取付け

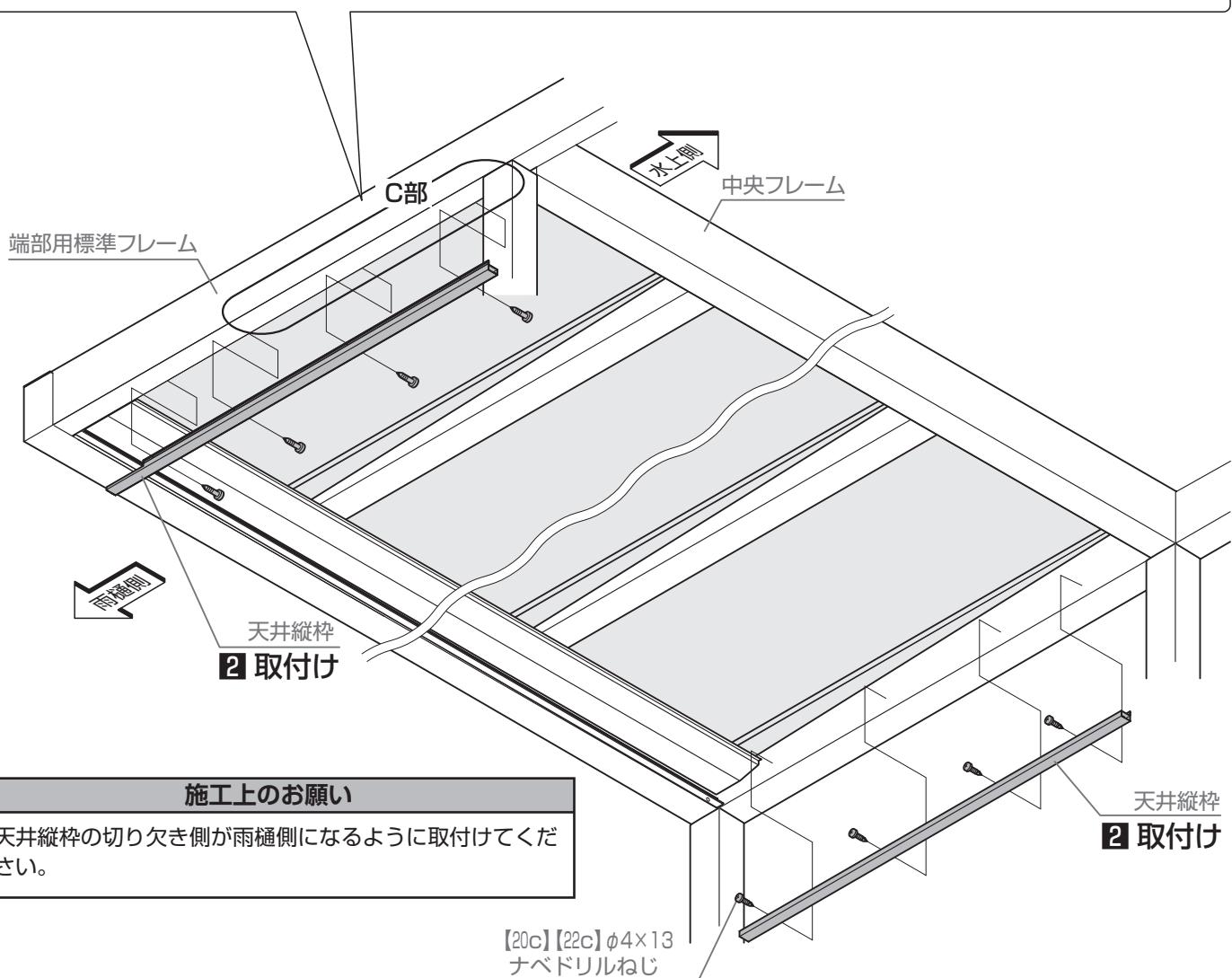
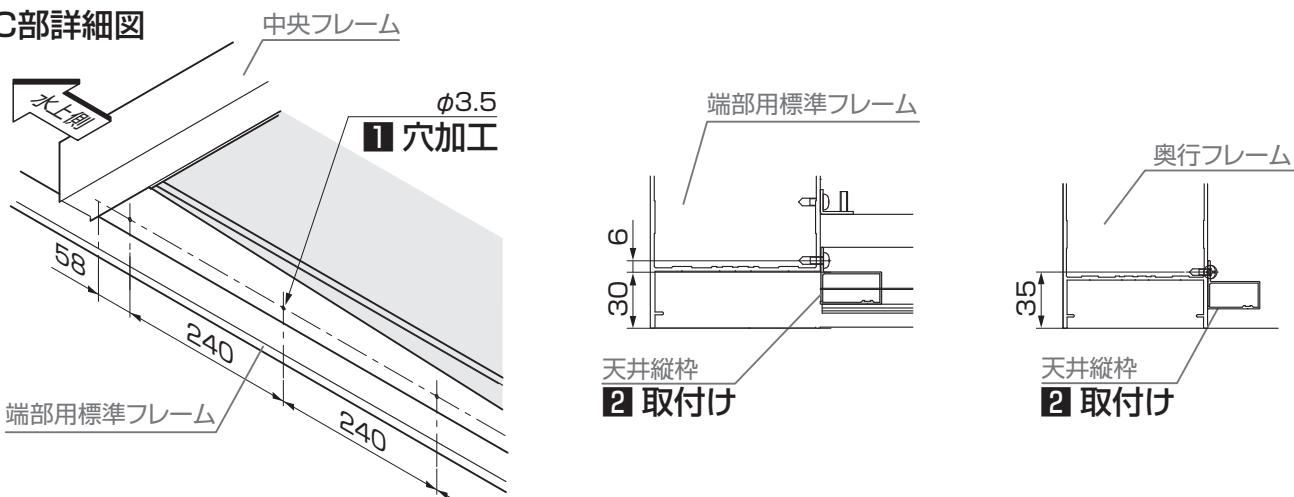
9-4 天井縦枠の取付け

9-4-1 天井縦枠の取付け

1: 端部用標準フレームと奥行フレームにφ3.5の穴加工

2: 天井縦枠を端部用標準フレームと奥行フレームに【20c】【22c】で取付け

●C部詳細図



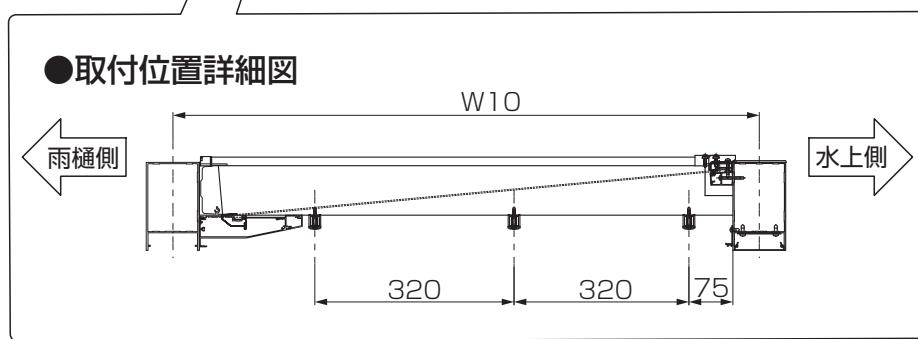
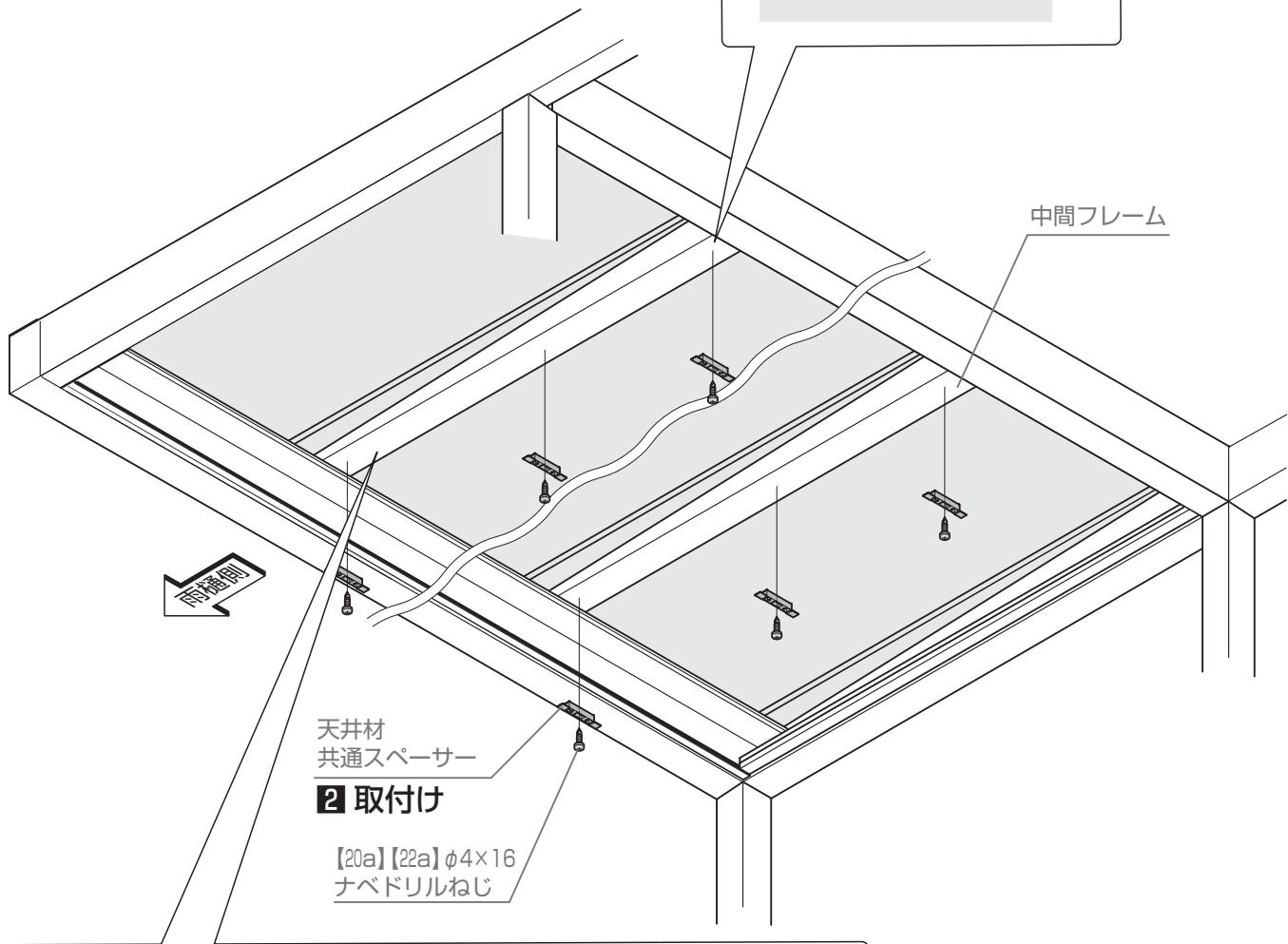
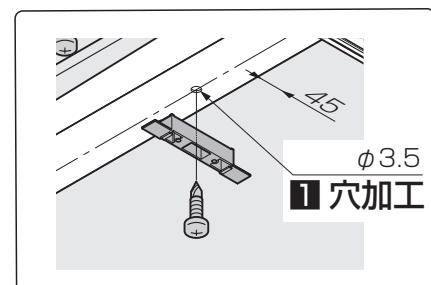
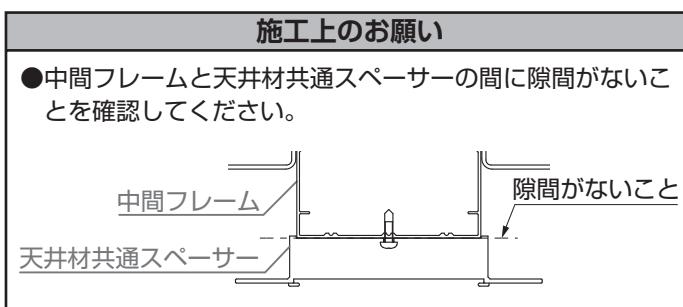
9 天井材の取付け

9-4 天井縦枠の取付け(つづき)

9-4-2 天井材共通スペーサーの取付け

1: 中間フレームに $\phi 3.5$ の穴加工

2: 天井材共通スペーサーを中間フレームに【20a】【22a】で取付け



9 天井材の取付け

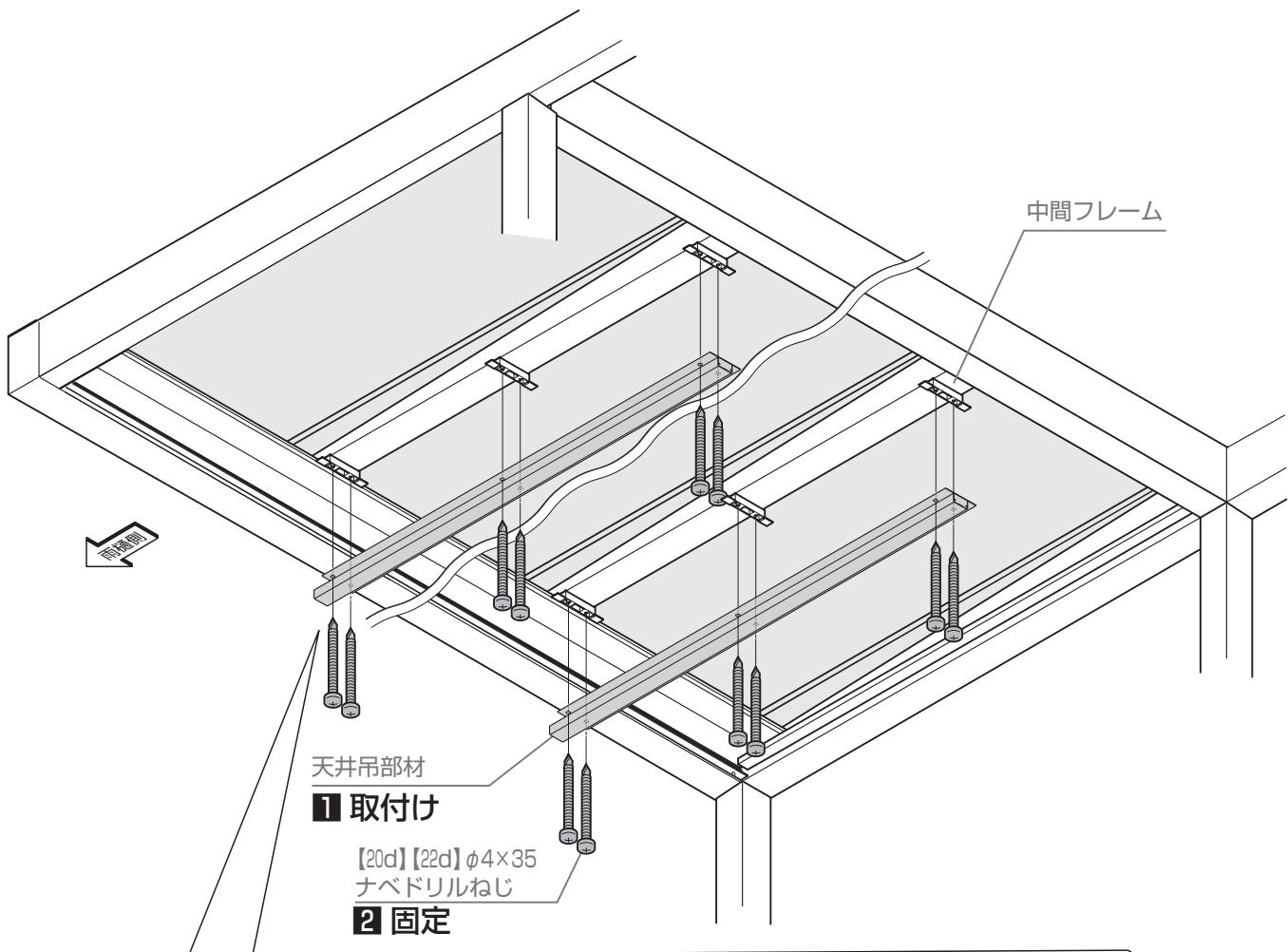
9-4 天井縦枠の取付け(つづき)

9-4-3 天井吊部材の取付け

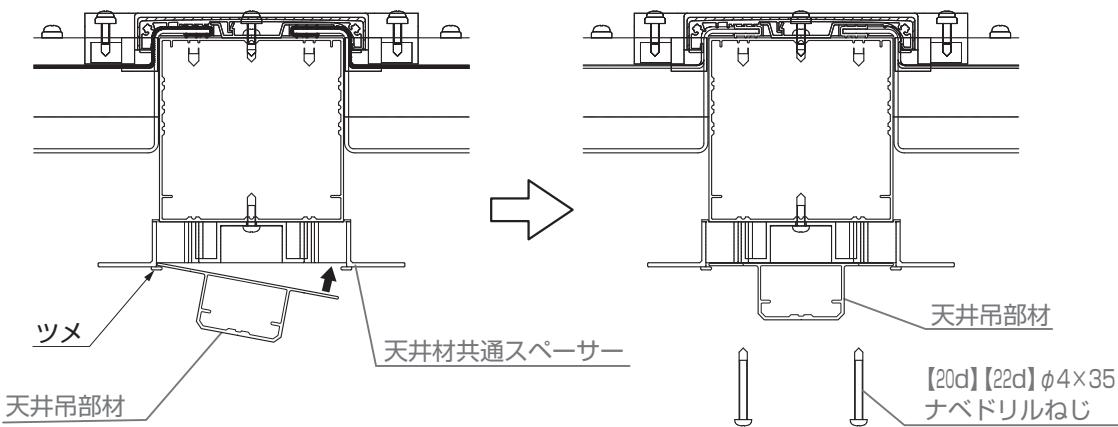
- 1:天井吊部材を天井材共通スペーサーのツメに引っ掛けて取付け
2:天井吊部材を中間フレームに【20d】【22d】で固定

施工上のお願い

- 天井吊部材の切り欠きが雨樋側になるように取付けてください。



●取付位置詳細図

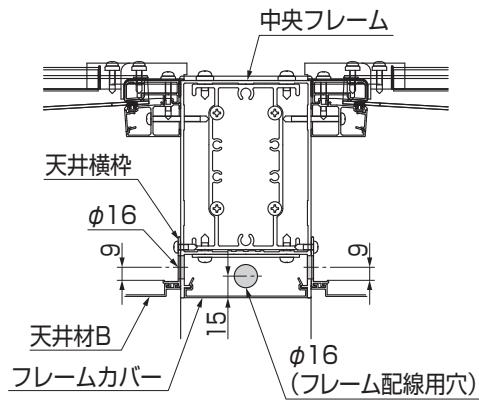
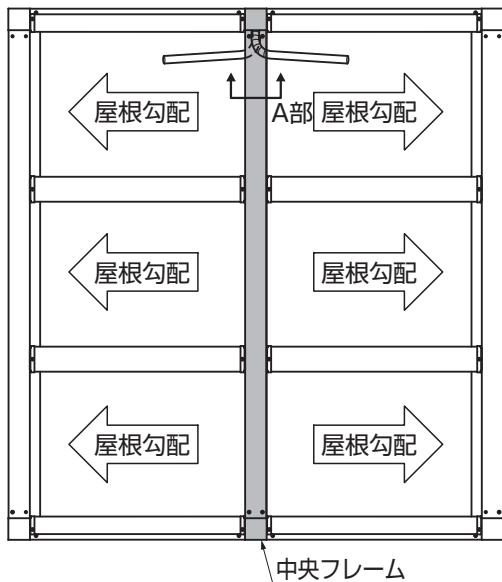


9 天井材の取付け

9-5 ダウンライト用配線穴加工

※ダウンライトを取付ける場合の作業

- ①:配線を通す箇所の中央フレームと天井横枠にφ16の穴加工



A部断面詳細図

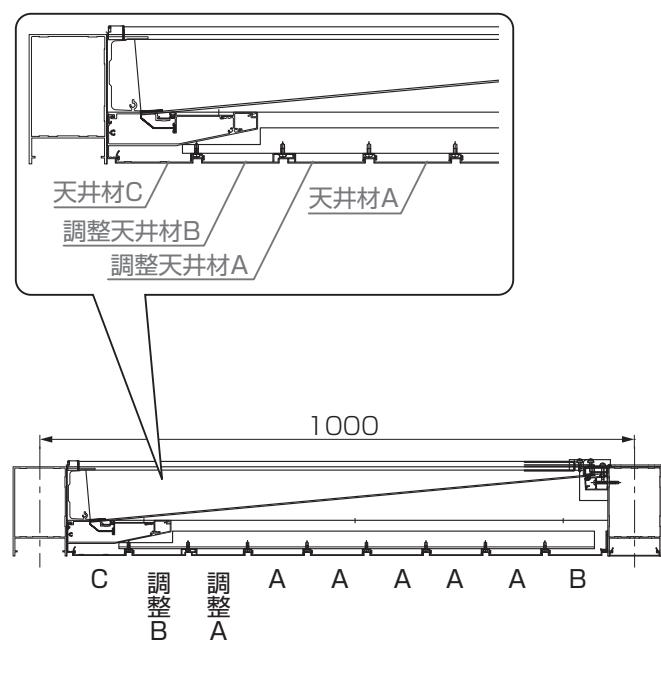
施工上のお願い

- 配線用の穴加工は中央フレーム(水上)側に行ってください。
- ダウンライトの取付けは、「Z536 LEDダウンライト取付説明書」をご確認ください。

9 天井材の取付け

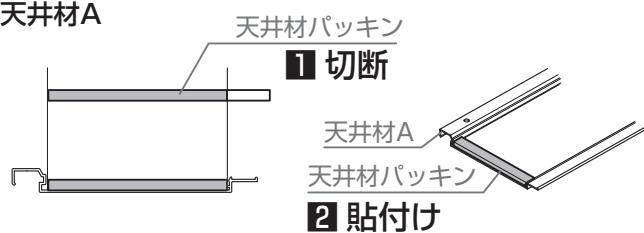
9-6 天井材の取付け

● 基本寸法と納まり

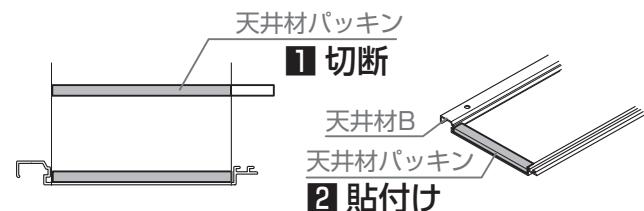


①: 天井材パッキンを天井材の左右端部の凹み部分に合わせて切断
②: 天井材パッキンを天井材の左右端部に貼付け

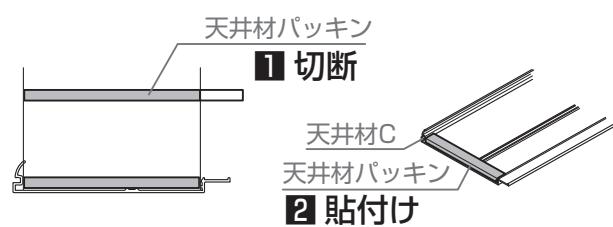
● 天井材A



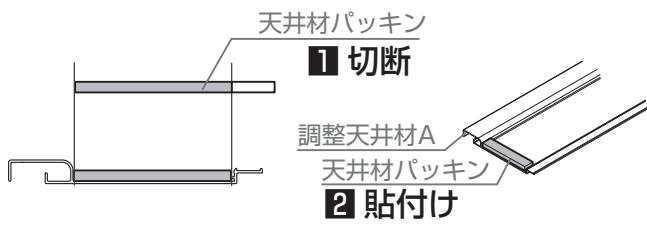
● 天井材B



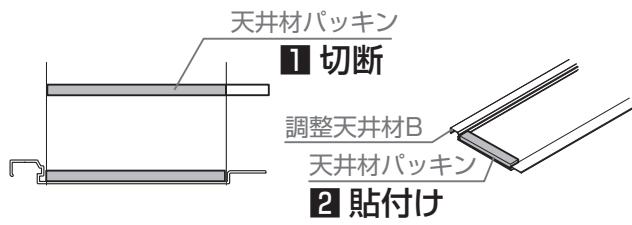
● 天井材C



● 調整天井材A



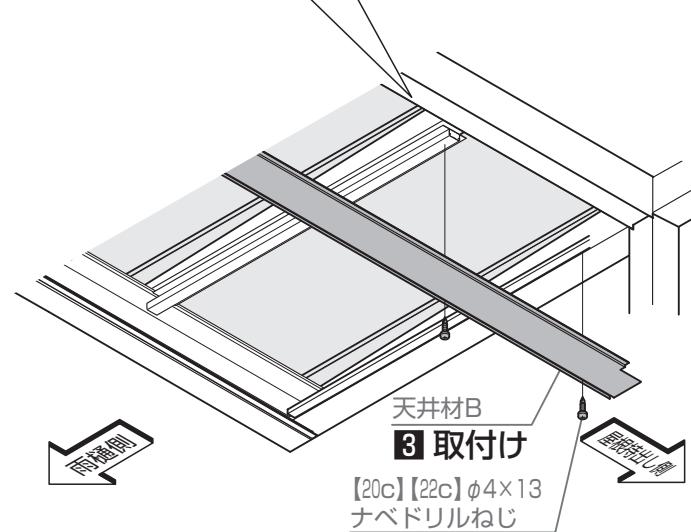
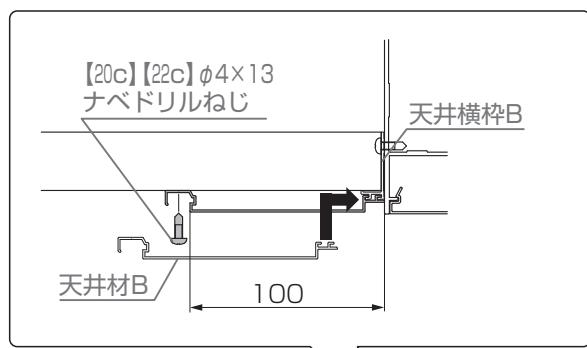
● 調整天井材B



9 天井材の取付け

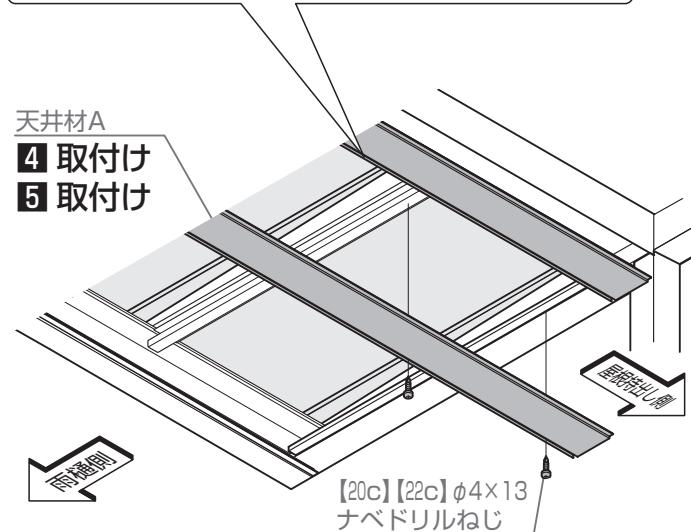
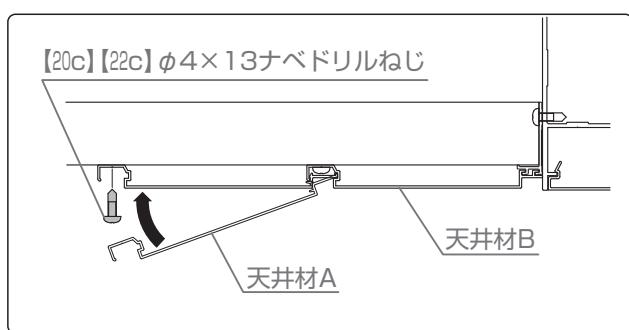
9-6 天井材の取付け(つづき)

3:天井材Bを天井横枠Bに差込み、【20c】【22c】で取付け

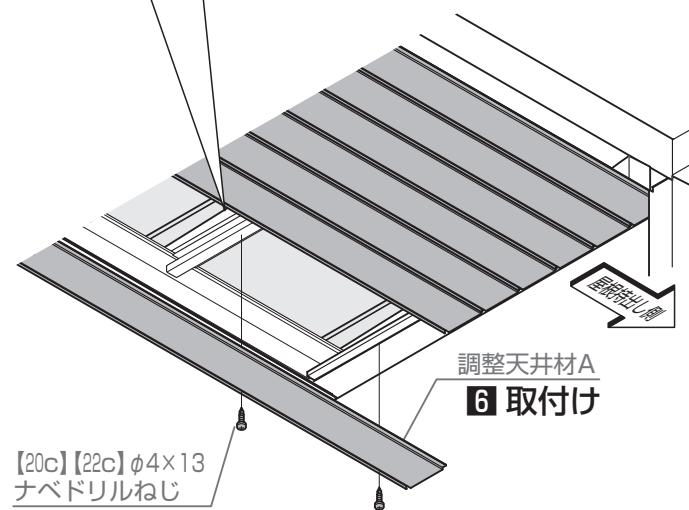
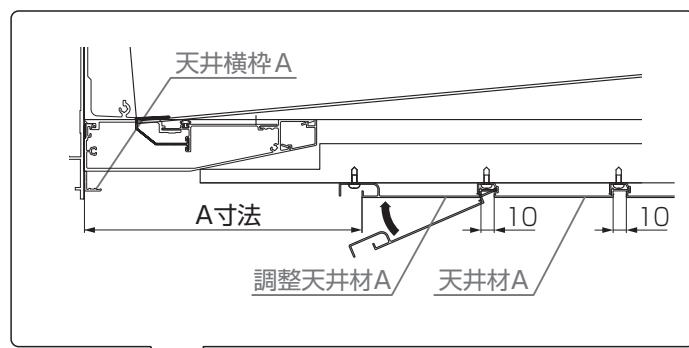


4:天井材Aを【20c】【22c】で取付け

5:残りの天井材Aを繰返して取付け



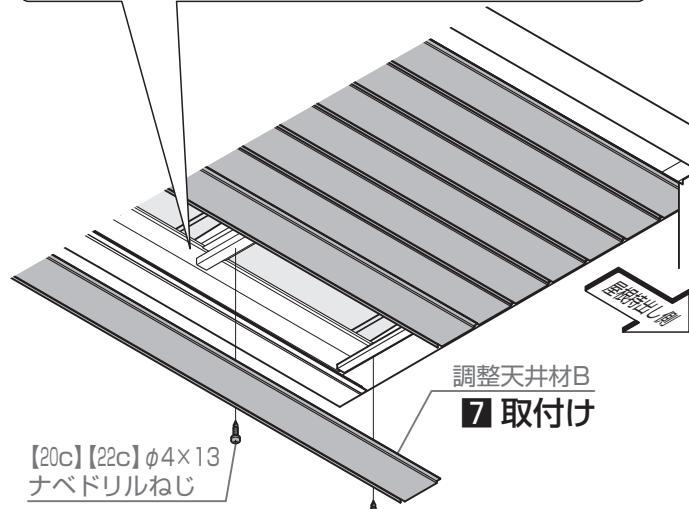
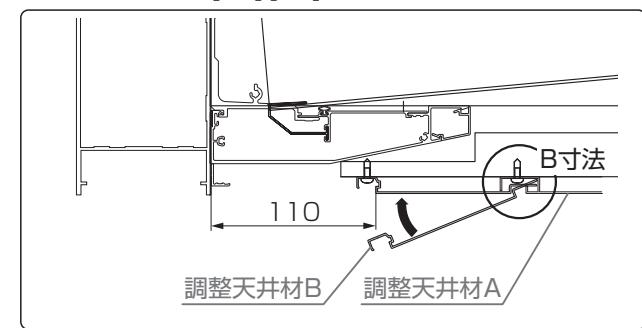
6:調整天井材Aを【20c】【22c】で取付け



施工上のお願い

- 調整天井材Aを取付けた後、フレームと調整天井材Aの寸法（A寸法）を測り、調整天井材Aと調整天井材Bの目地幅（B寸法）を決めてから取付けてください。

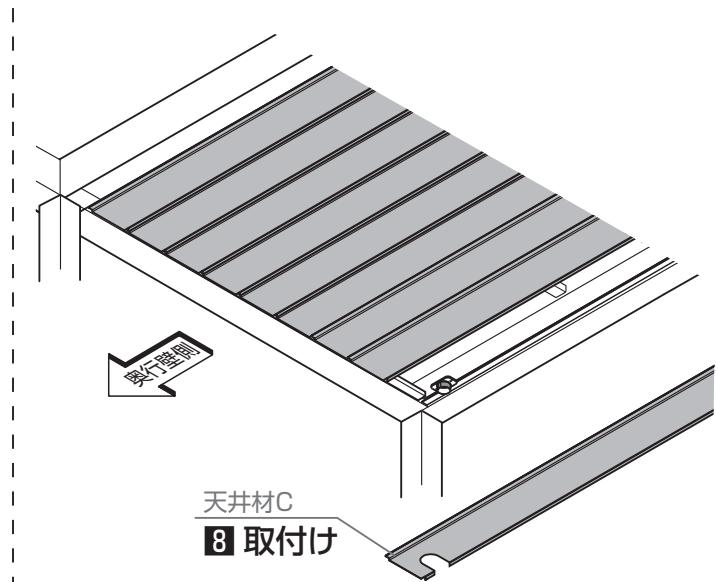
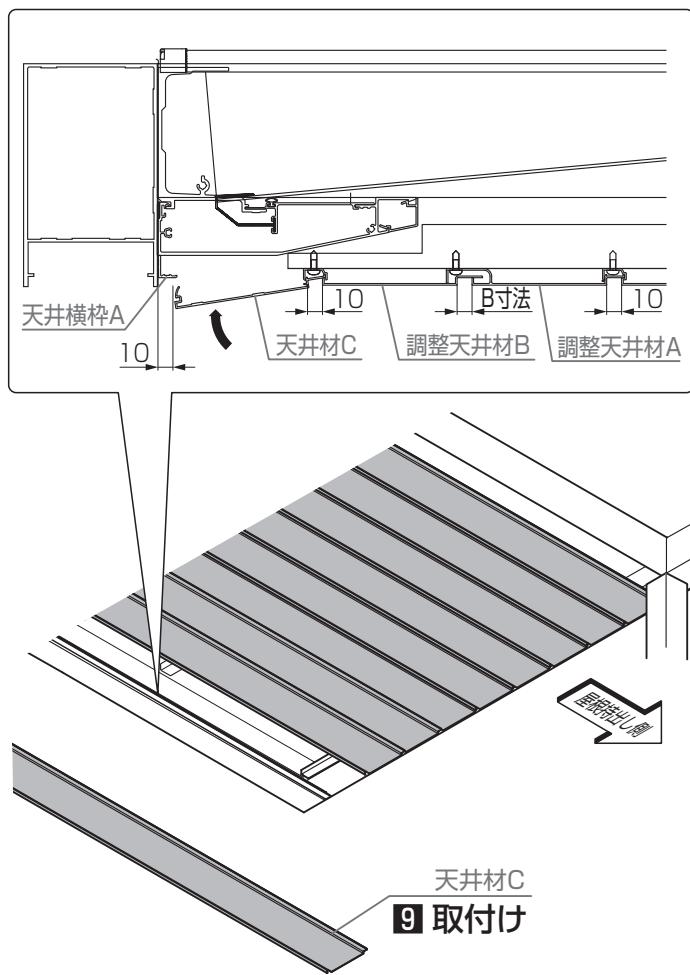
7:調整天井材Bを【20c】【22c】で取付け



9 天井材の取付け

9-6 天井材の取付け(つづき)

8:天井材Cを取付け



施工上のお願い

- 天井材Cは〈9-2. 部材の加工〉を参照し加工を行ってから取付けてください。

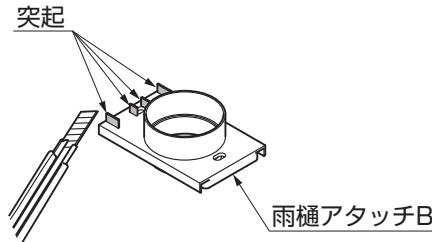
10 化粧樋の取付け

10-1 化粧樋の取付け

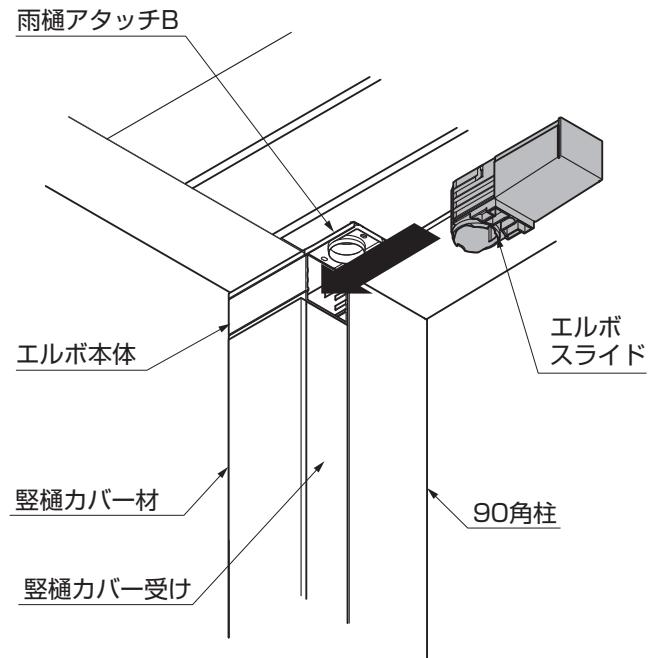
10-1-1 化粧樋 エルボ仕様(平行納まり) の取付け

※奥行壁がデザイン格子の場合の手順

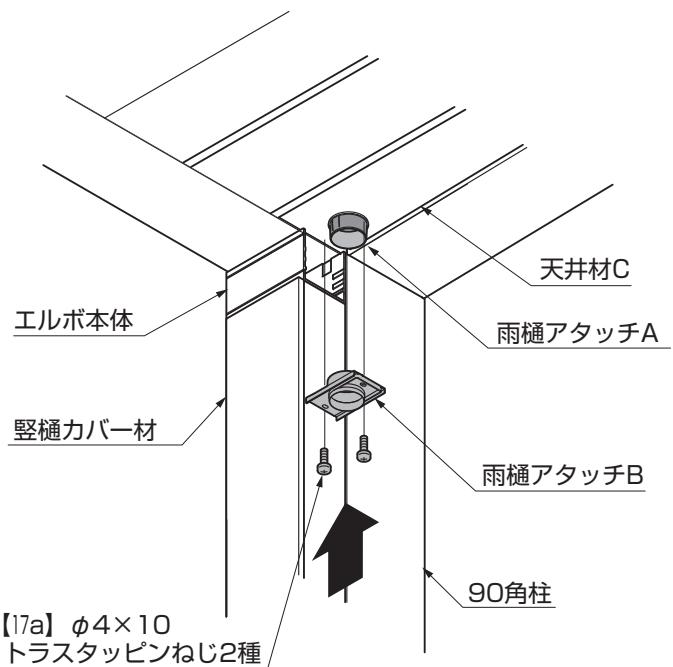
- 1: 雨樋アタッチBの4ヶ所の突起をカッターで除去してください。



- 3: エルボスライドをエルボ本体、雨樋アタッチBにスライドさせて取付けてください。



- 2: 雨樋アタッチBを雨樋アタッチAに挿入し、天井材Cの下穴に【17a】で取付けてください。



10 化粧樋の取付け

10-1 化粧樋の取付け

10-1-2 化粧樋 外側排水用(平行納まり) の取付け

※奥行壁がGウォールの場合の手順

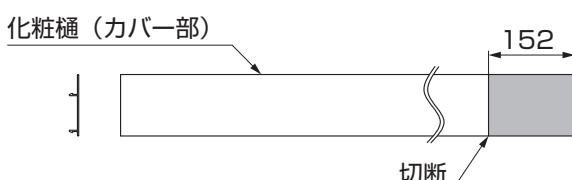
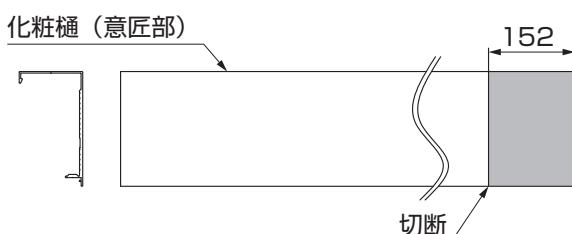
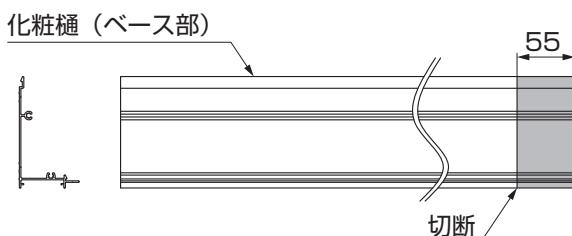
施工上のお願い

- 排水方法が[地上排水(Gウォール面材から排水)]または[地中排水]かによって手順ことなります。
- ・[地上排水]の場合は、本取付説明書の以降の手順にしたがって施工を行ってください。
- ・[地中排水]の場合は、現場の状況に合わせた長さの豊樋(現場手配)を使用し、必要に応じて切削および延長を行ってください。

- 1:豊樋の切削を行ってください。この時切削した豊樋のあまり部分から豊樋(排水部用)を切り出す



- 2:化粧樋(ベース部)と化粧樋(意匠部)を下記寸法で切断

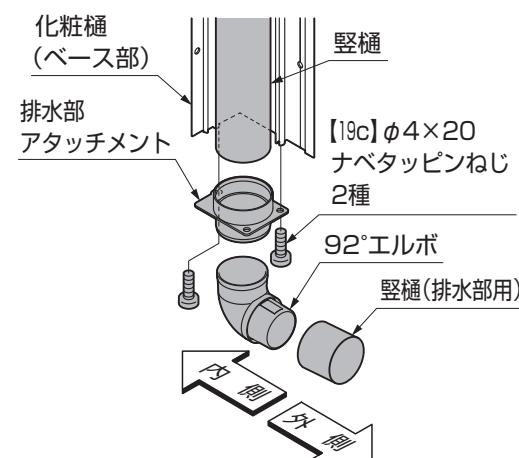
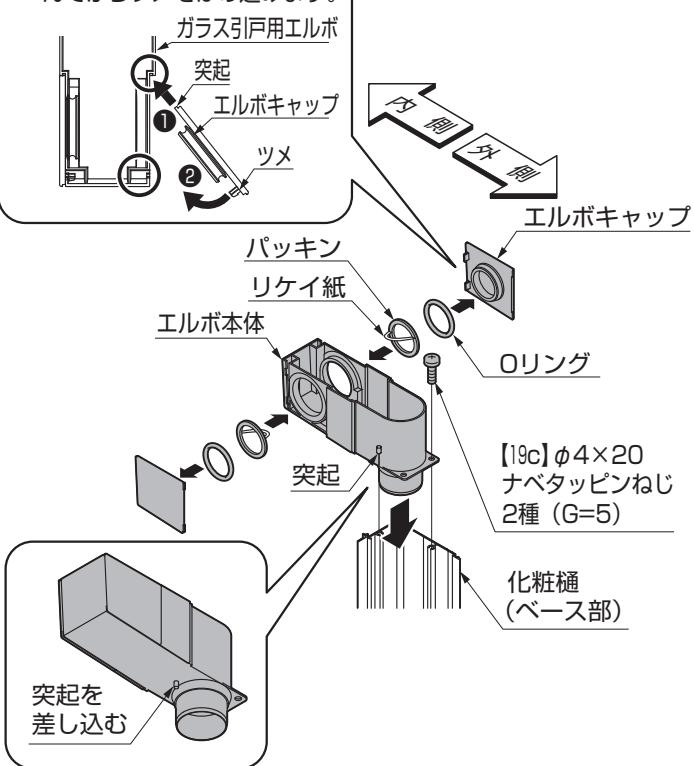


- 3:Oリングをエルボキャップに取付け、エルボパッキンをエルボ本体側面の円形の溝に合わせて貼付けてください。
- 4:エルボキャップをエルボ本体エルボ本体に取付けてください。
- 5:④で組み立てたエルボを化粧樋(ベース部)に【19c】で取付けてください。
- 6:排水部アタッチメントを化粧樋(ベース部)に【19c】で取付け、排水部アタッチメントに92°エルボを取り付け、92°エルボの排水側に切り出した豊樋(排水部用)を取付けてください。

施工上のお願い

- エルボパッキンとOリングの取付け位置にズレがないか確認してください。
- エルボキャップがエルボ本体にすき間なくしっかりと取付いているか確認してください。

- エルボキャップの突起を差込んでからツメをはめ込みます。

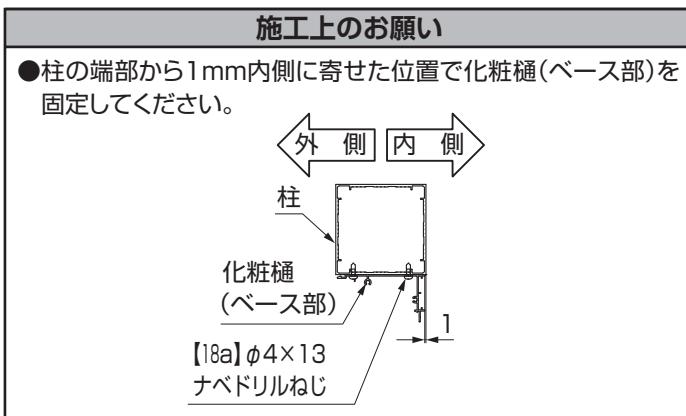


10 化粧樋の取付け

10-1 化粧樋の取付け

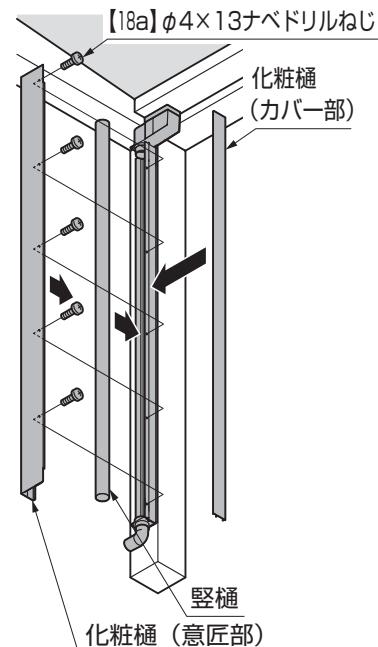
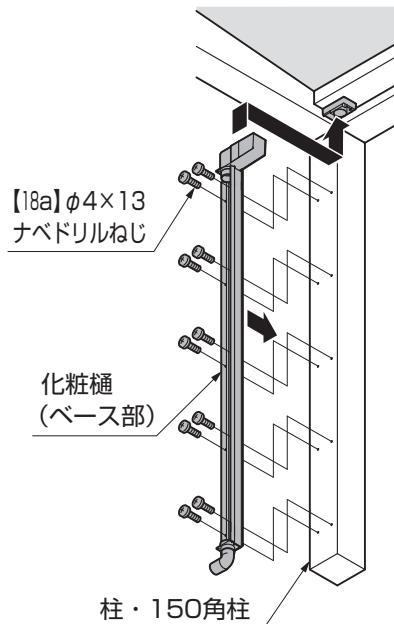
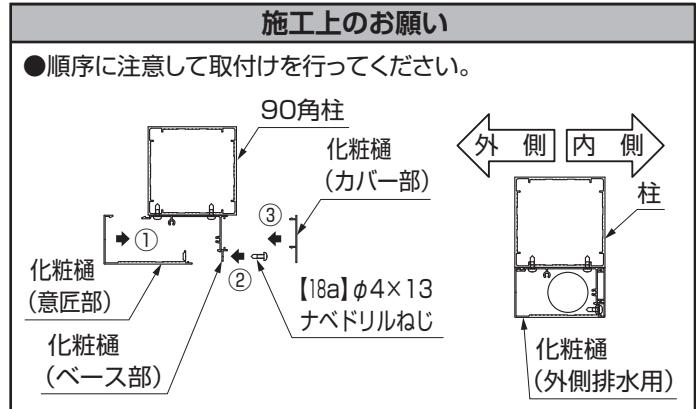
10-1-2 化粧樋 外側排水用(平行納まり) の取付け (つづき)

7: 化粧樋(ベース部)を柱に【18a】で固定

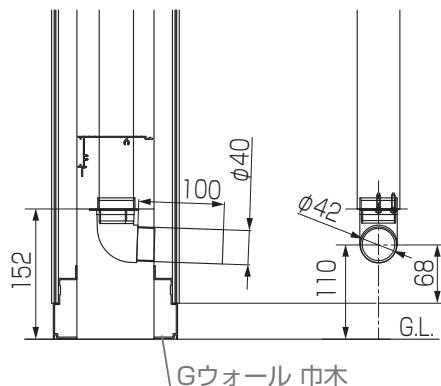


8: 化粧樋(意匠部)を化粧樋(ベース部)にはめ込み、裏面【18a】で固定

9: 化粧樋(カバー部)を化粧樋(ベース部)にはめ込む



●排水部の納まり

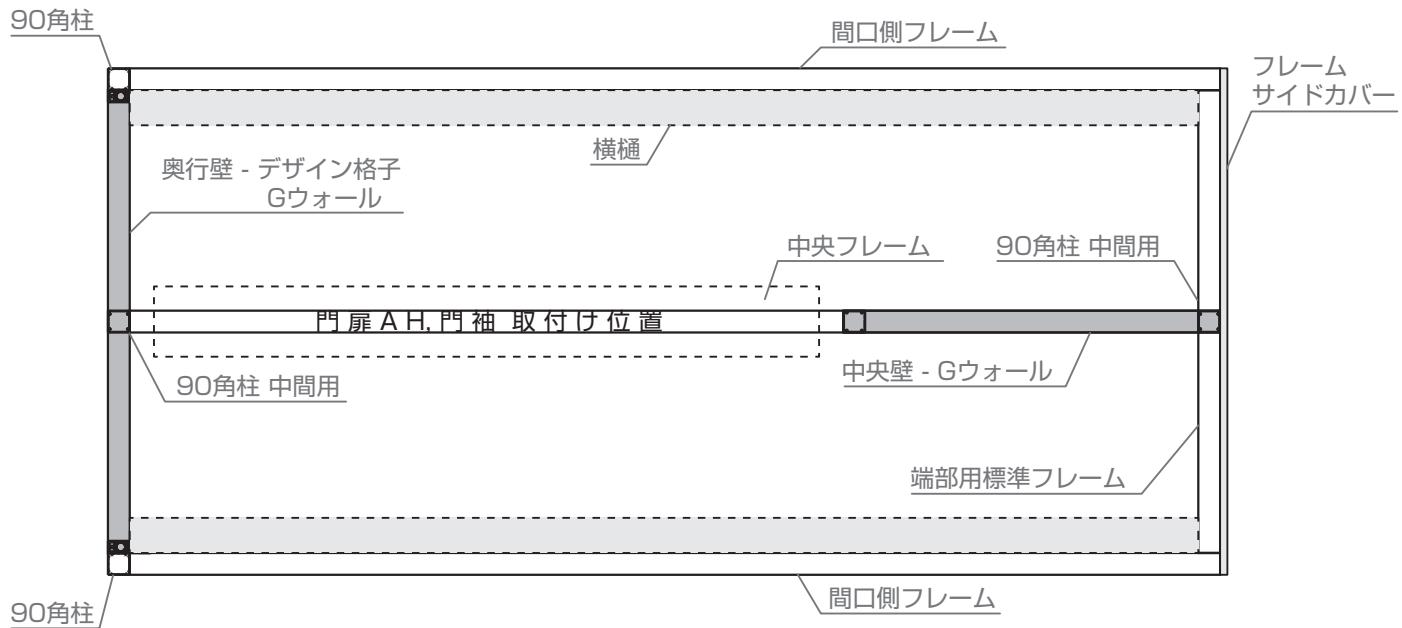


11 フレームサイドカバーの取付け

11-1 フレームサイドカバーの取付け

施工上のお願い

- 下図の取付位置に合わせてフレームサイドカバーを切断し、取付説明書[E293 Gフレームサイドカバー]を参照して取付けてください。

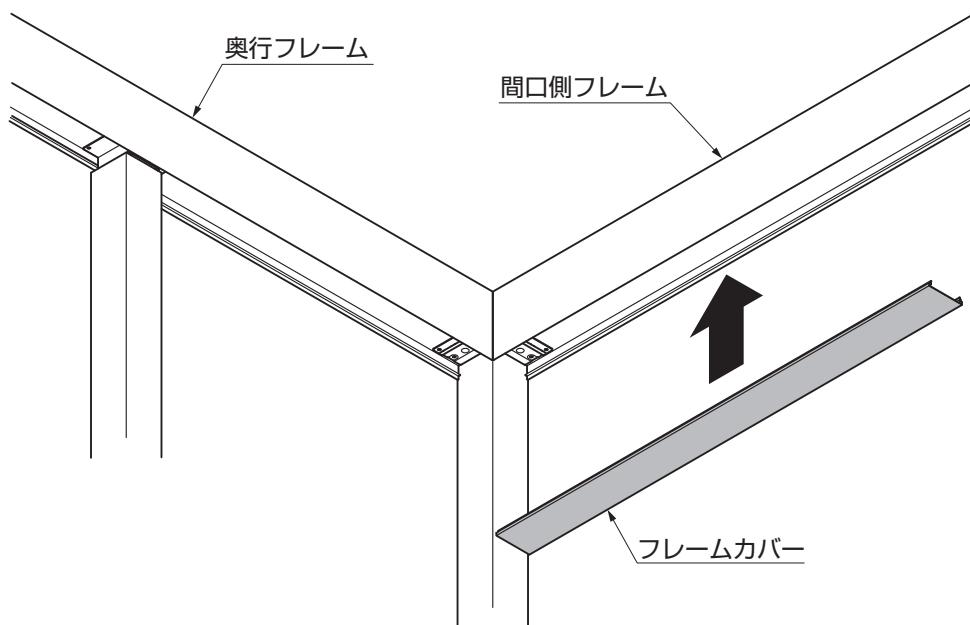


- フレームサイドカバーとフレームの境目にシーリング処理をしてください。

12 フレームカバーの取付け

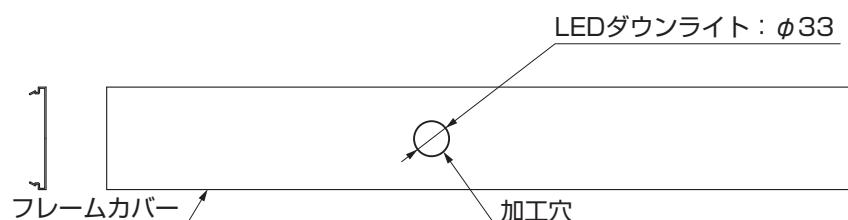
12-1 フレームカバーの取付け

①: 間口側フレームにフレームカバーを取り付け



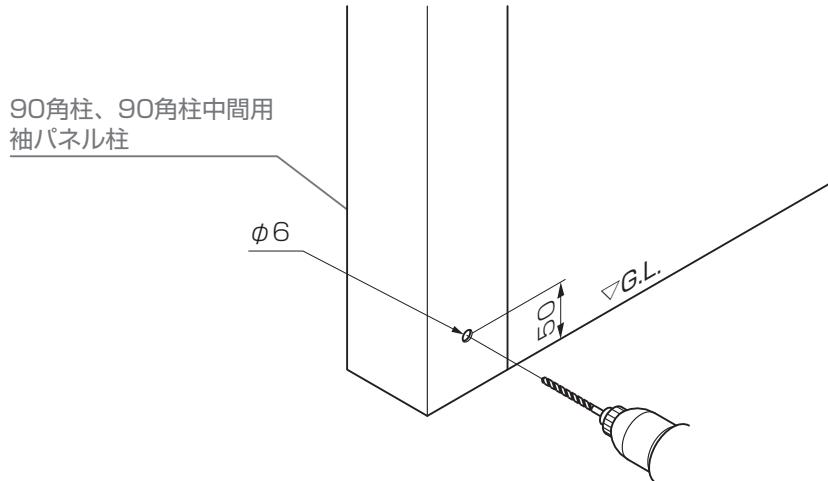
施工上のお願い

- フレームカバーは、間口フレームの長さに合わせて切削して取付けてください。
- フレームカバーにLEDダウンライトを取付ける場合は、下図を参考に穴加工をしてください。なお、LEDダウンライトの取付けは「LEDダウンライト取付説明書(Z536)」を参照してください。



13 水抜き穴加工

13-1 水抜き穴の加工



施工上のお願い

- 全ての柱に水抜き穴を加工してください。
- 奥行壁がデザイン格子の場合は、デザイン格子にも同様に水抜き穴を加工してください。

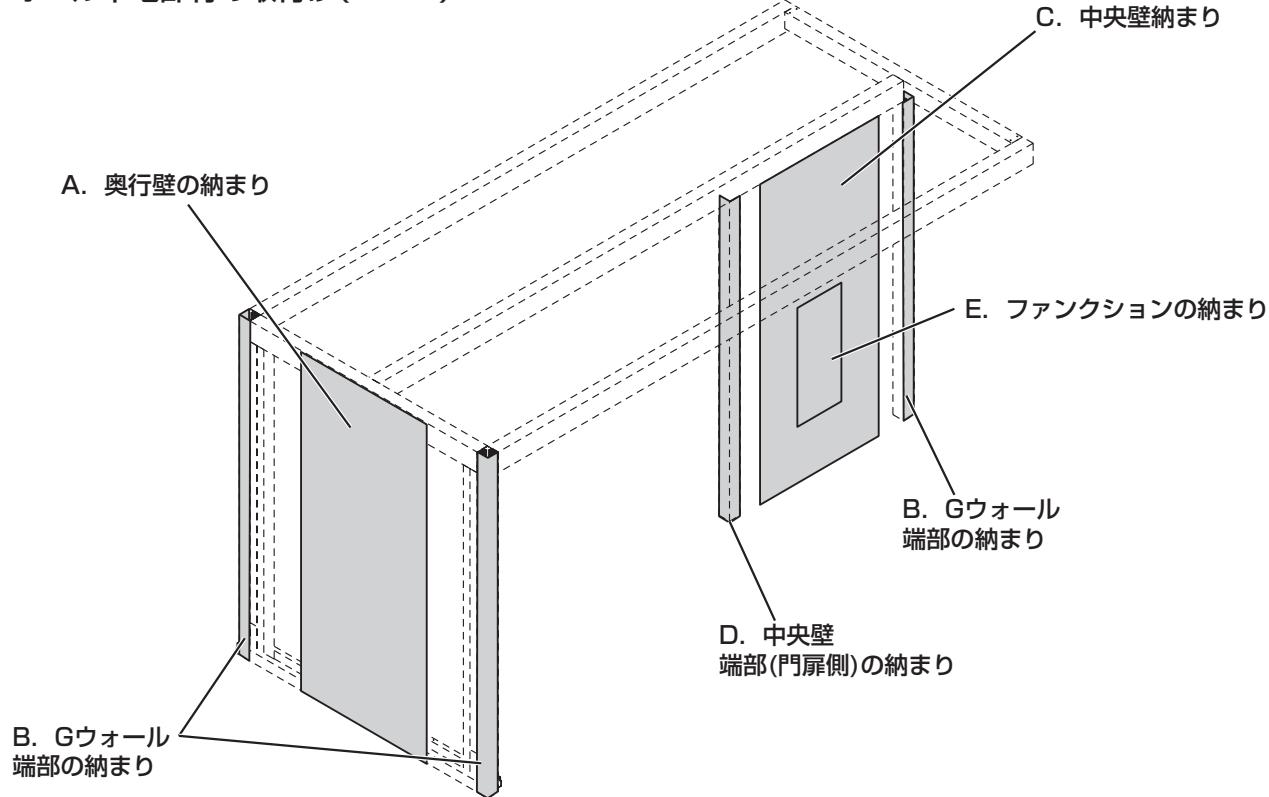
14 Gウォールの取付け

14-1 Gウォール各部納まりの確認

施工上のお願い

- 下図のGウォール各部納まりを確認し、本書または、シンメトリータイプ取付説明書【EXM-219】かGウォール取付説明書【EXM-017】の指定ページの施工を行ってください。
- 奥行壁がデザイン格子の場合は、[5-4. デザイン格子の取付け]を参照し取付けを行ってください。
- シークレットキー(テンキー)を使用する場合はサイン(表札)取付ベースに取り付ける必要があります。Gウォールを施工する前にシンメトリータイプ取付説明書【EXM-219】のP.88～92を確認してください。

①Gウォール下地部材の取付け(A～E)



①Gウォール下地部材の取付け(A～D)

納まり	取付部材/工程	仕様※1	取付説明
A ※2	パネル取付部材	—	本書 P.53
	巾木と下枠	—	本書 P.54、55
	中間支柱	—	【EXM-017】P.32、36
	中間柱ふかし材	—	【EXM-017】36
	端部ふかし材	—	本書 P.55
	上部見切り材	—	本書 P.56
B	部材の加工 ※3	—	本書 P.57
	端部小口セットA	ⅢまたはⅣ	【EXM-017】P.36
	タイル用小口巾木	V	【EXM-017】P.34
	端部小口セットB	V	【EXM-017】P.38
C	巾木と下枠	I II	【EXM-219】P.62～63、65 【EXM-219】P.62～63、65
	中間支柱	—	【EXM-219】P.66～67
	中間柱ふかし材	—	【EXM-219】P.67
	上部見切り材	I II	【EXM-219】P.68 【EXM-219】P.68
D	端部小口セットA	I II	【EXM-219】P.70 【EXM-219】P.70
	スマート宅配ポスト	—	【EXM-017】P.61～64
E	ボックスセットKN	—	【EXM-017】P.61～64
	サイン	—	【EXM-017】P.60、89
	インターホン	—	【EXM-017】P.90

②Gウォール面材の取付け

取付部材/工程	仕様※1	取付説明
両面テープ	Ⅲ	【EXM-017】P.67
ラッピングボード	Ⅲ	【EXM-017】P.67、74
タイル用下地ボード	ⅣまたはV	【EXM-017】P.67、73
セラミックタイル	ⅣまたはV	【EXM-017】P.75～88
シーリング	—	【EXM-017】P.91

※1)仕様については下表を参照してください。

I	宅配ボックスKN用意匠パネルが取り付く場合
II	宅配ボックスKN用意匠パネルが取り付かない場合
III	Gウォールの面材がラッピングボードの場合
IV	Gウォールの面材がセラミックタイルで、小口が見切り材納まりの場合
V	Gウォールの面材がセラミックタイルで、小口がタイル納まりの場合

※2)奥行壁がGウォールの場合のみ必要な手順です。

※3)中央壁側のGウォール端部でのみ必要な工程です。

14 Gウォールの取付け

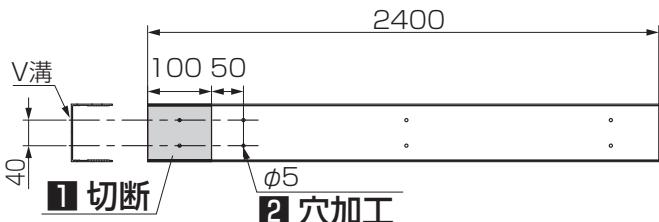
14-2 Gウォール下地部材の取付け

14-2-1 パネル取付け部材の取付け

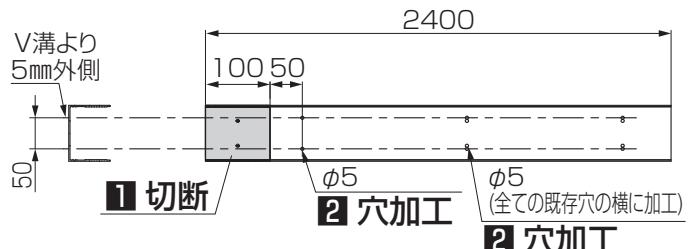
①:パネル取付け部材を下記寸法で切断

②:パネル取付け部材にφ5の穴加工

【柱取付け用】

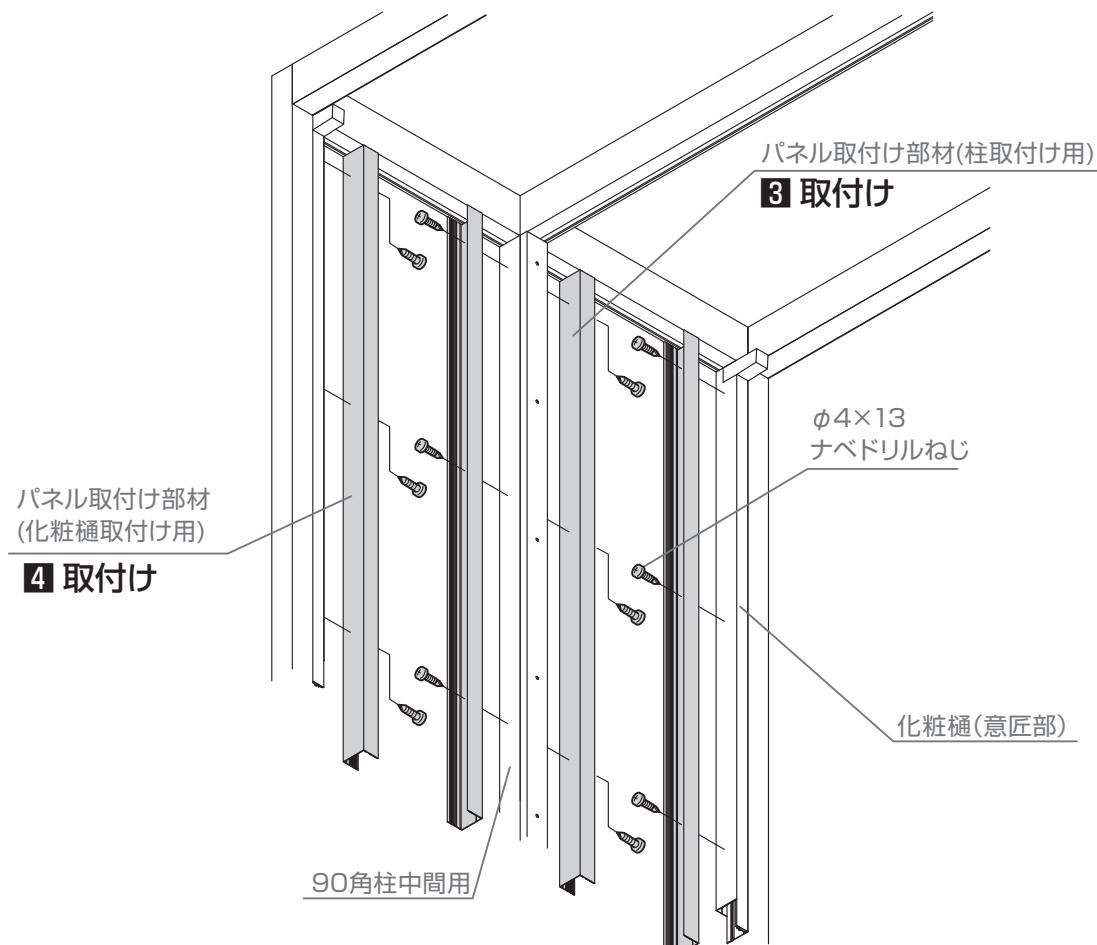


【化粧樋取付け用】



③:パネル取付け部材(柱取付け用)を90角柱中間用にφ4×13ナベドリルねじで取付け

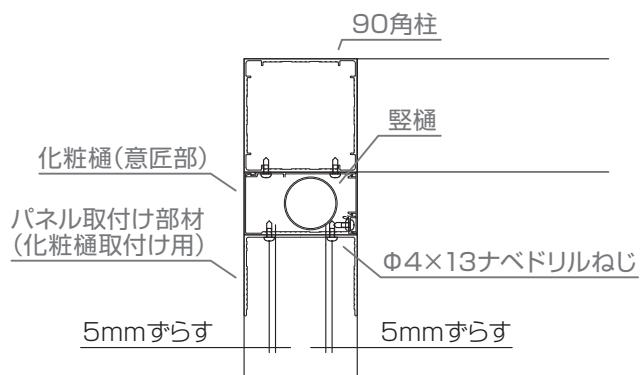
④:パネル取付け部材(化粧樋取付け用)を化粧樋(意匠部)にφ4×13ナベドリルねじで取付け



施工上のお願い

●パネル取付け部材はG.L.からフレーム下まで柱と面一になるよう
に取付けてください。

●パネル取付け部材(化粧樋取付け用)は既存の取付穴から5mm
外側にずらした位置に穴加工をして取り付けてください。(既存の
取付穴で固定すると化粧樋内部の豊樋を傷つけることがあります。)

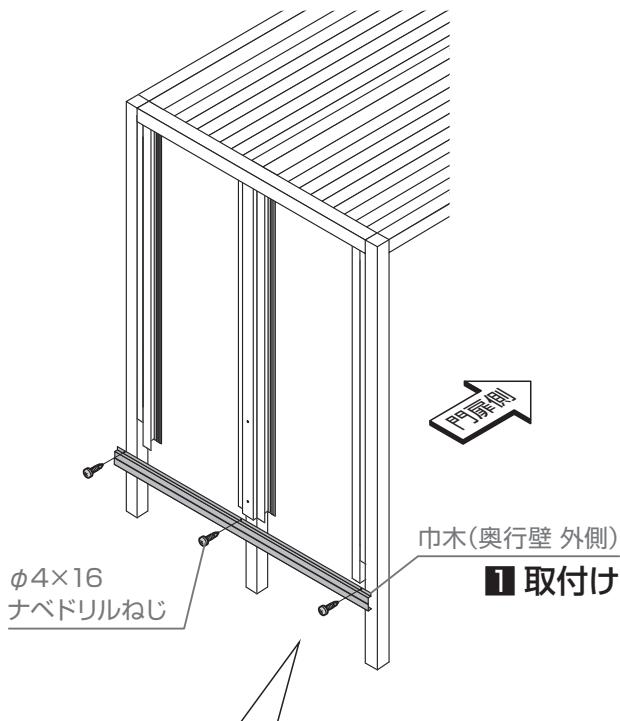


14 Gウォールの取付け

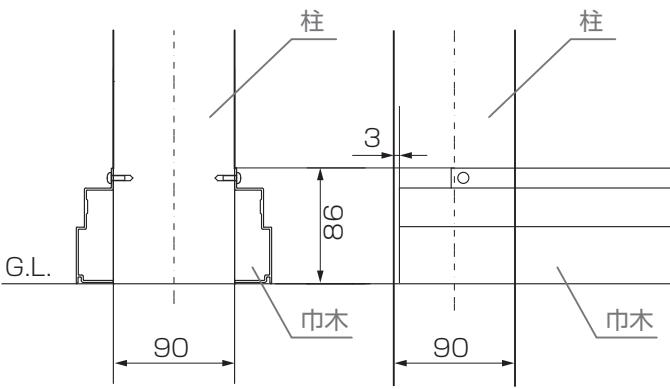
14-2 Gウォール下地部材の取付け

14-2-2 巾木の取付け

1:巾木(奥行壁 外側)を柱に $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで取付け



●巾木(奥行壁)の取付け位置

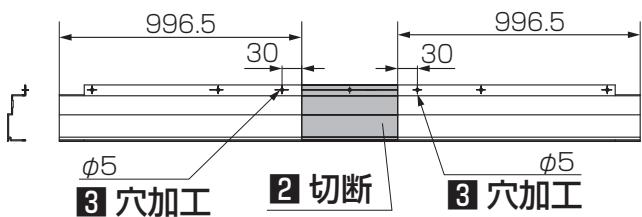


施工上のお願い

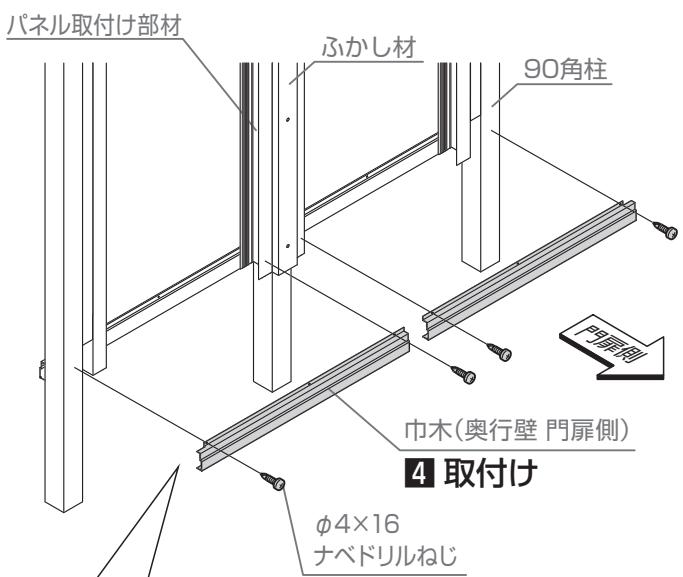
- 巾木はG.L.から高さ86mmにして、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

2:巾木(奥行壁 門扉側)を下記寸法で切断

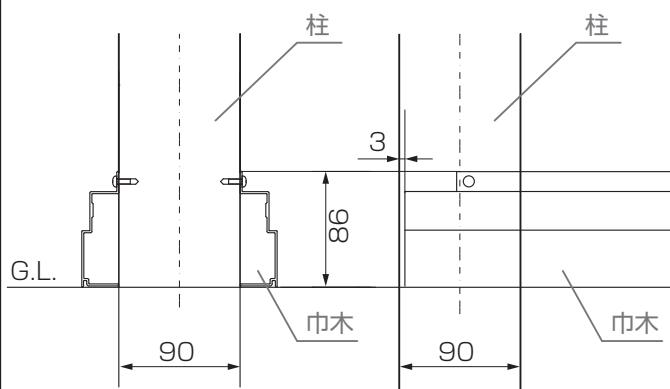
3:巾木(奥行壁 門扉側)に $\phi 5$ の穴加工



4:巾木(奥行壁 門扉側)を柱とパネル取付け部材に $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで取付け



●巾木(奥行壁)の取付け位置



施工上のお願い

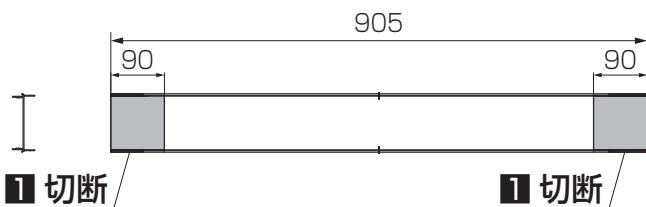
- 巾木はG.L.から高さ86mmにして、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

14 Gウォールの取付け

14-2 Gウォール下地部材の取付け

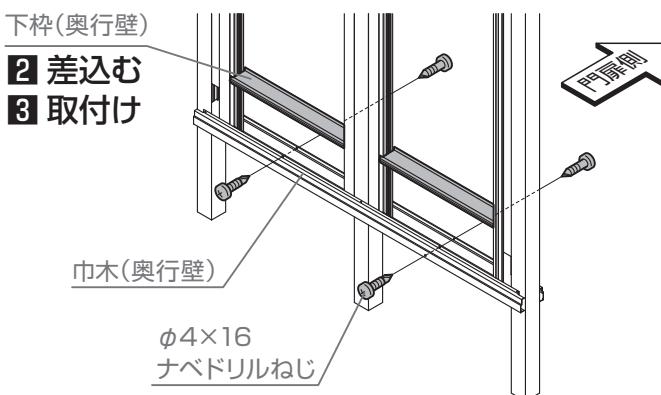
14-2-3 下枠の取付け

①:下枠(奥行壁)を下記寸法で切断



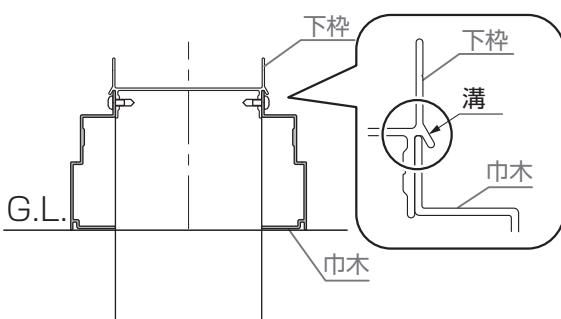
②:下枠(奥行壁)を巾木(奥行壁)の間に差込む

③:下枠(奥行壁)を巾木(奥行壁)にφ4×16ナベドリルねじで取付け



施工上のお願い

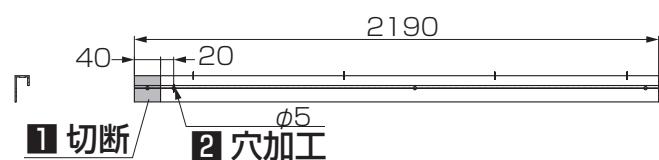
- 下枠(奥行壁)は、取付位置を実測し、切断加工をしてから取付けてください。
- 下枠(奥行壁)は、柱から3mmあけて取付けてください。
- 下枠の溝に巾木の上部がかみ合っていることを確認してください。



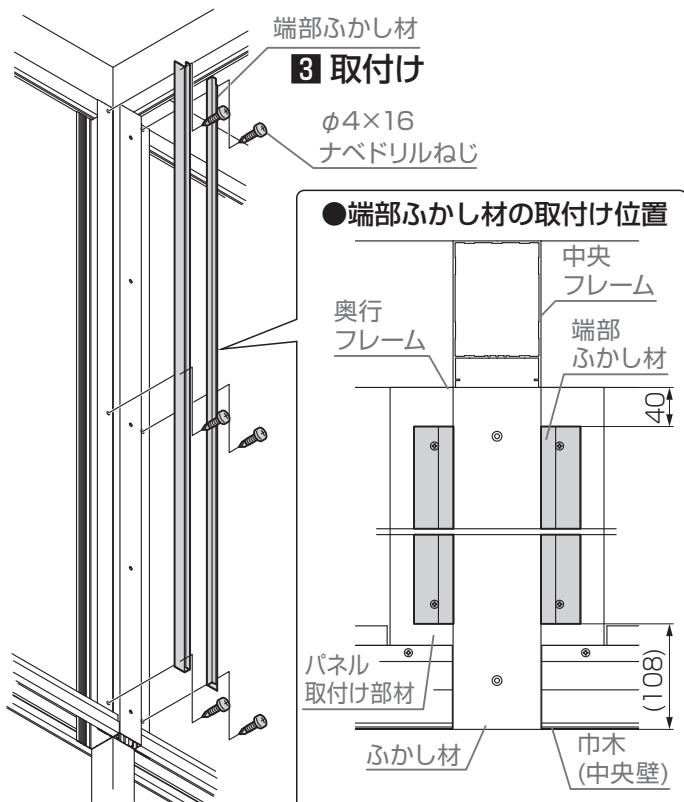
14-2-4 端部ふかし材の取付け

①:端部ふかし材を下記寸法で切断

②:端部ふかし材にφ5の穴加工

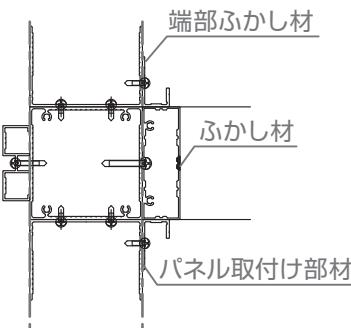


③:端部ふかし材をパネル取付け部材にφ4×16ナベドリルねじで取付け



施工上のお願い

- 端部ふかし材の向きに注意し、端部ふかし材とふかし材との間に隙間が生じないように取付けてください。
- 端部ふかし材はフレーム下から40mmの位置に取付けてください。

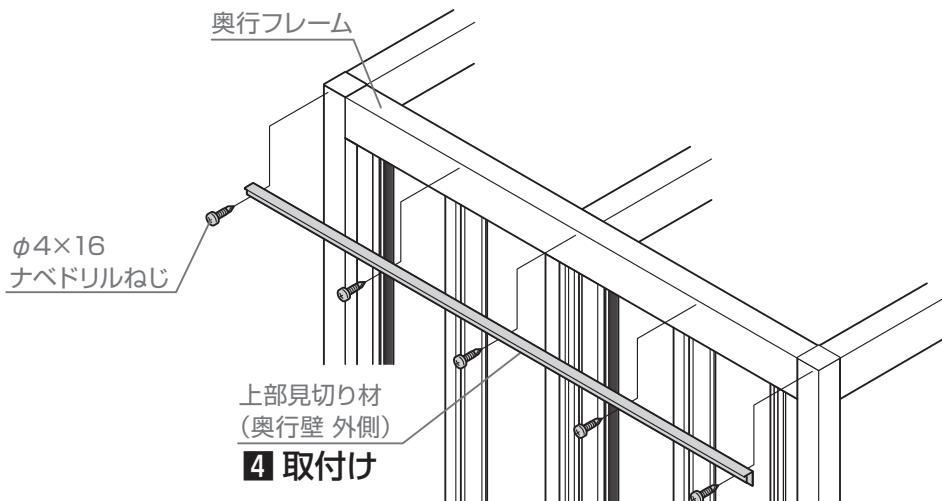


14 Gウォールの取付け

14-2 Gウォール下地部材の取付け

14-2-5 上部見切り材の取付け

④:上部見切り材(奥行壁 外側)を奥行フレームに $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで取付け

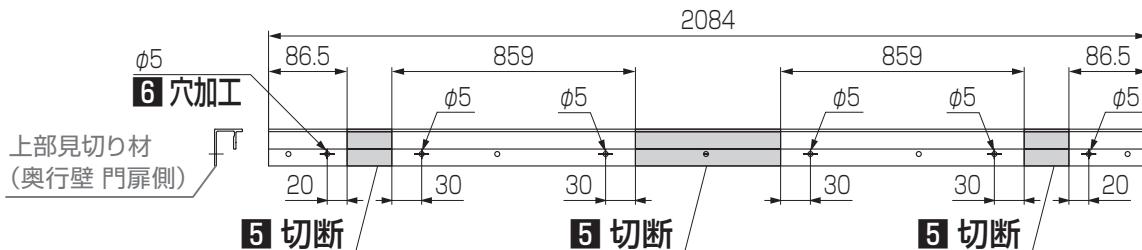


施工上のお願い

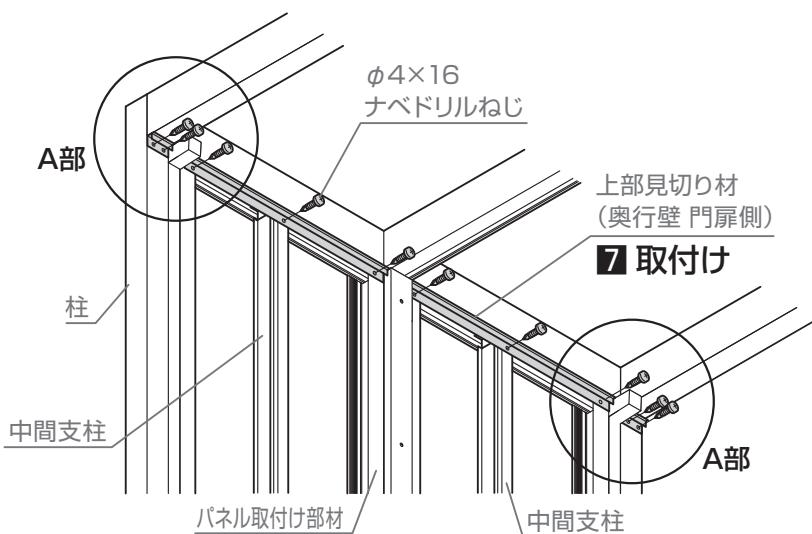
- 上部見切り材(奥行壁 外側)は、柱・フレームの上面合せで、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

⑤:上部見切り材(奥行壁 門扉側)を下記寸法で切断

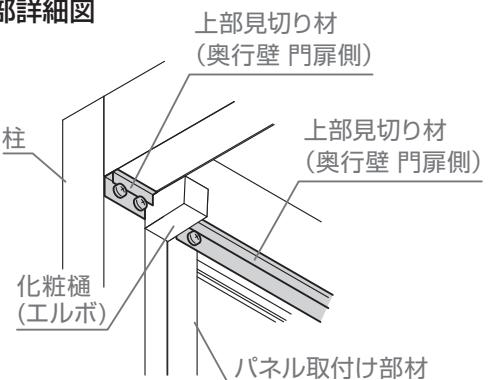
⑥:上部見切り材(奥行壁 門扉側)に $\phi 5$ の穴加工



⑦:上部見切り材(奥行壁 門扉側)を柱とパネル取付け部材、中間支柱に $\phi 4 \times 16$ ナベドリルねじで取付け



A部詳細図



施工上のお願い

- 上部見切り材(奥行壁 門扉側)は、フレームの下端と面一になるように取付けてください。
- 詳細図Aを参照し、化粧樋のエルボを挟んで取付けてください。
- 上部見切り材(奥行壁 門扉側)は、柱から3mm内側に合わせて取付けてください。

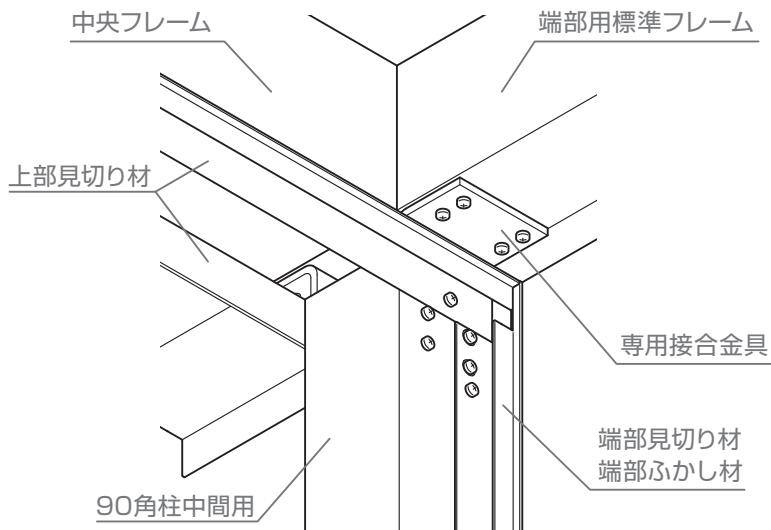
14 Gウォールの取付け

14-2 Gウォール下地部材の取付け

14-2-6 中央壁側端部の部材の加工

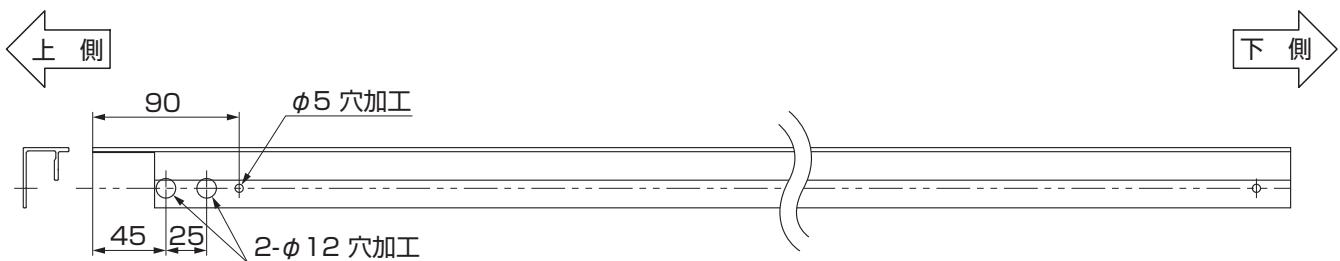
施工上のお願い

- 中央壁端部にGウォール下地部材を取付ける際に、部材が専用接合金具の固定ねじに干渉しないように以下の加工を行ってください。
- 端部見切り材、または端部ふかし材は上側に加工してください。
- 上部見切り材の切断寸法は現場の納まりに合わせて決定してください。

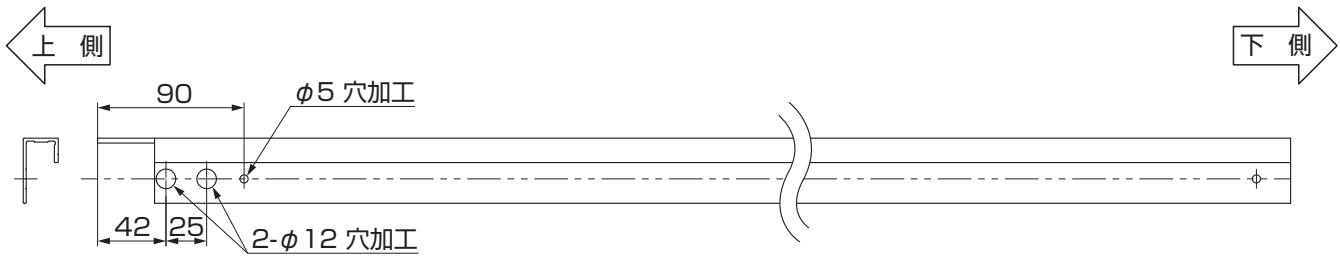


1:端部見切り材、または端部ふかし材の上側に $\phi 12$ と $\phi 5$ の穴加工

■端部見切り材

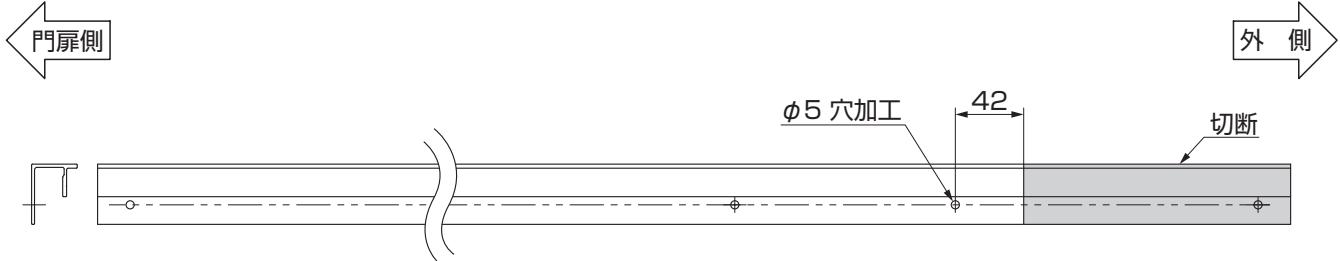


■端部ふかし材



2:上部見切り材の外側に $\phi 5$ の穴加工

■上部見切り材



15 門扉の取付け

施工上のお願い

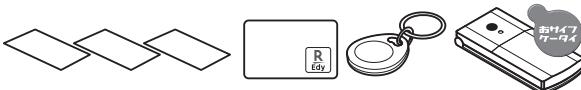
- 「プラスG エントランス シンメトリーイタイプ 取付説明書 (EXM-219)」を参照して取付けてください。

15-1 電気錠の登録および設定

15-1-1 カードキーの登録方法

■登録の前に

- 登録したいカードキー・タグキー（以下、「タグキー」は省略）をすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）
- 新たに登録するとすでに登録済みのカードキーのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書（EXM-178）をご参照ください。
- カードキーの登録だけでは、リモコンやスマートフォンの登録データは消去されません。



施工上のお願い

●【おサイフケータイの場合】

楽天Edyアプリをインストールしてください。アプリがインストールされていないと登録できません。
楽天Edyについての詳細は楽天Edyオフィシャルサイトをご確認ください。
<https://edy.rakuten.co.jp/>
※おサイフケータイ®及びおサイフケータイ®ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
※「楽天Edy(ラクテンエディ)」は楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

■カードキーの登録方法

1:制御ユニットのフタのねじをゆるめる

施工上のお願い

●手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

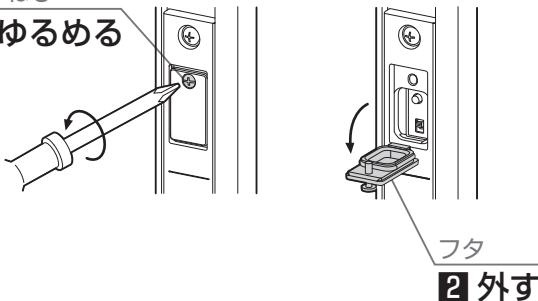
2:フタを外す

3:登録ボタンを1秒以上押す

※離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

フタねじ

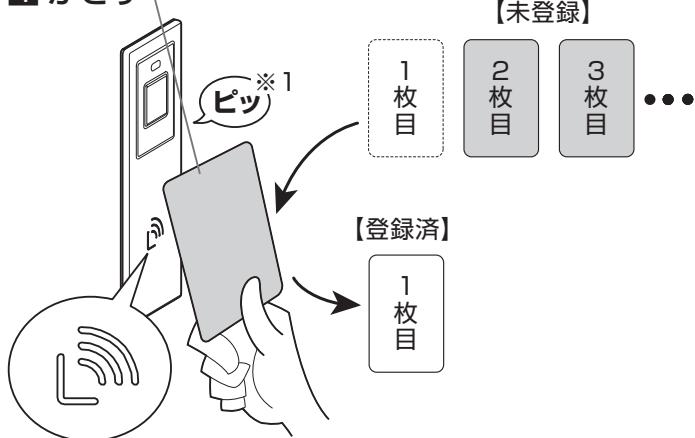
1 ゆるめる



4:1枚ずつカードキー「」マークにかざす

カードキー

4 かざす



補足

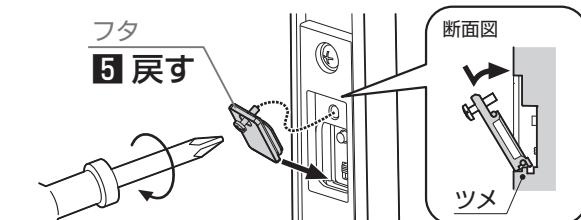
- 登録の都度、登録済み枚数分だけ「ピッ音」が鳴ります。（例：1枚目「ピッ」、2枚目「ピッ、ピッ」）（※1）
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録枚数は10枚です。
- 続けてリモコンキーの登録もできます。詳しくは「リモコンキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのカードキーを複数の門扉（無制限）に登録できます。
- 約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録枚数分「ピッ音」が鳴ります。



5:フタを元に戻す

施工上のお願い

●下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



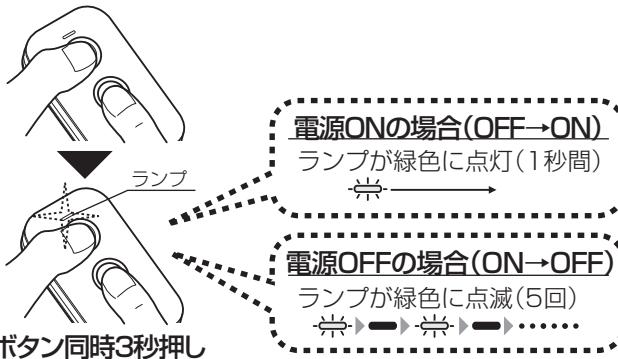
15 門扉の取付け

15-1 電気錠の登録および設定（つづき）

15-1-2 リモコンキーの登録方法

■リモコンの電源ON/OFFについて

- 2つのボタン同時長押しでリモコンの電源をON/OFFできます。



施工上のお願い

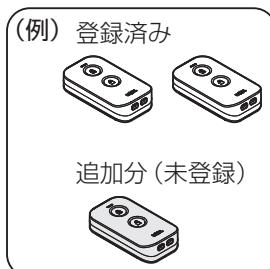
- 電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときは電源をOFFにしてください。
- 電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。

■登録の前に

- 登録したいリモコンをすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）

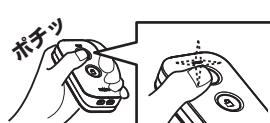
*新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されます、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書(EXM-178)をご参照ください。

*リモコンの登録だけでは、カードキー・スマートフォンの登録データは消去されません。



- リモコンのボタンを押してランプが点灯する（電源がONになっている）事を確認します。

*OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



■リモコンキーの登録方法

- 1:制御ユニットのフタのねじをゆるめる

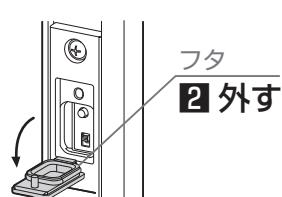
施工上のお願い

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

- 2:フタを外す

フタねじ

- 1 ゆるめる

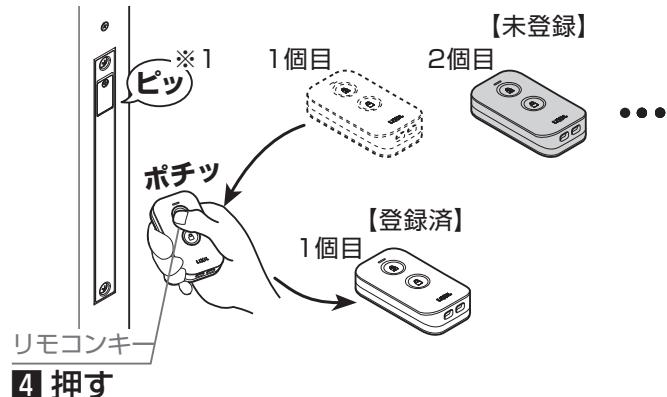


- 3:登録ボタンを1秒以上押す

*離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。



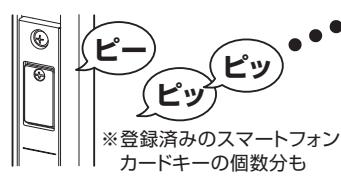
- 4:1個ずつリモコンキーのボタンを押す



- 4 押す

補足

- 登録の都度、登録済み個数分だけ「ピッ音」が鳴ります。（例：1個目「ピッ」、2個目「ピッ、ピッ」）（※1）
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
- 続けてカードキーの登録もできます。詳しくは「カードキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのリモコンに最大10台の門扉を登録できます。11台目の門扉を登録すると、リモコンから1台目の門扉登録情報が自動的に削除されます。
- 約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録個数分「ピッ音」が鳴ります。

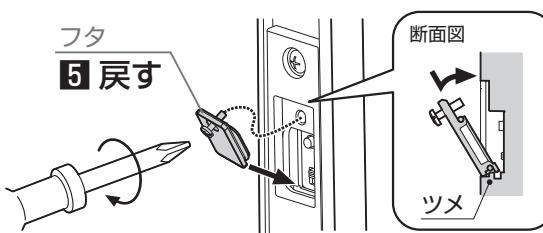


*登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

- 5:フタを元に戻す

施工上のお願い

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



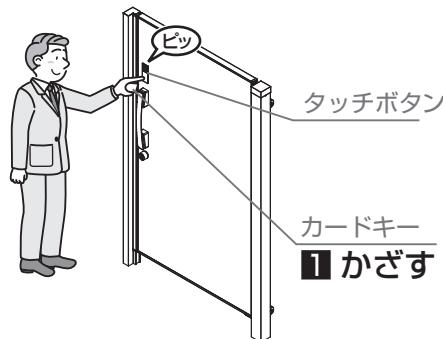
15 門扉の取付け

15-1 電気錠の登録および設定（つづき）

15-1-3 施解錠の確認

■カードキーの場合

1:タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざす

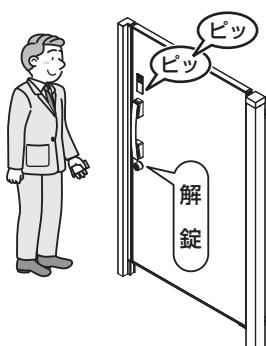


■リモコンキーの場合

1:リモコンキーを所持した状態で、タッチボタンを押す



2:カギが施解錠することを確認

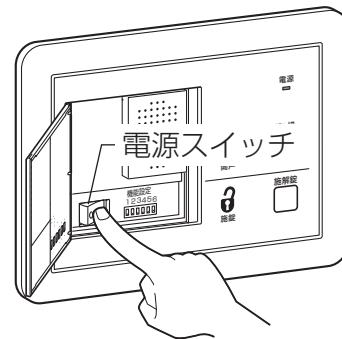


施工上のお願い

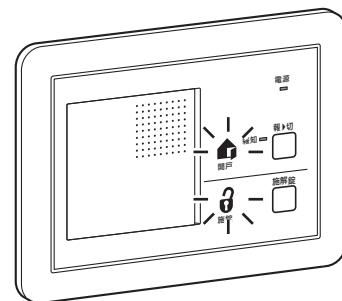
- エラー音、エラー表示が点く場合は、「15-2 門扉のブザー音と表示について」を参考に対処してください。

15-1-4 コントローラーユニットの動作確認

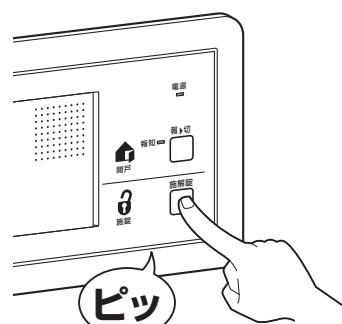
1:コントローラーユニットの電源を入れる



2:開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認



3:門扉を閉め施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認



施工上のお願い

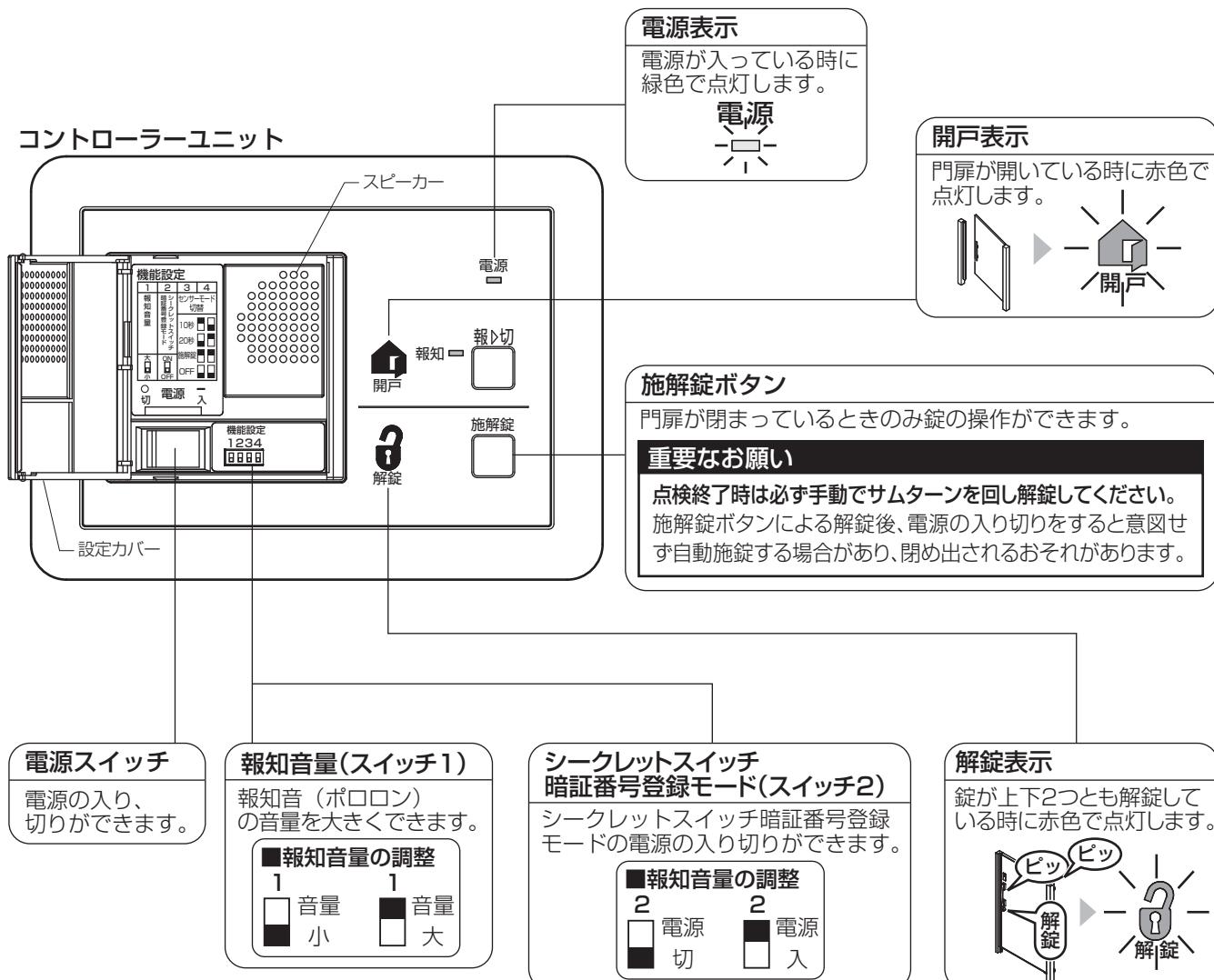
- 入荷時のコントローラーは未登録状態となっており施解錠操作できません。登録するには解錠状態で5分放置、または施解錠ボタンを押してください。

施工上のお願い

- エラー音、エラー表示が点く場合は、「15-3 コントローラーユニットのブザー音とLED表示について」を参考に対処してください。

15-1 電気錠の登録および設定（つづき）

15-1-4 コントローラーユニットの動作確認（つづき）



15 門扉の取付け

15-1 電気錠の登録および設定（つづき）

15-1-5 自動施錠ON/OFFの切替方法

1:制御ユニットのフタのねじを緩める

施工上のお願い

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

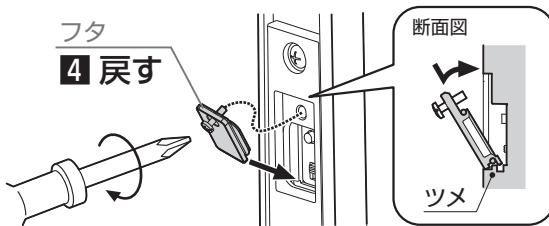
2:フタを外す



4:フタを元に戻す

施工上のお願い

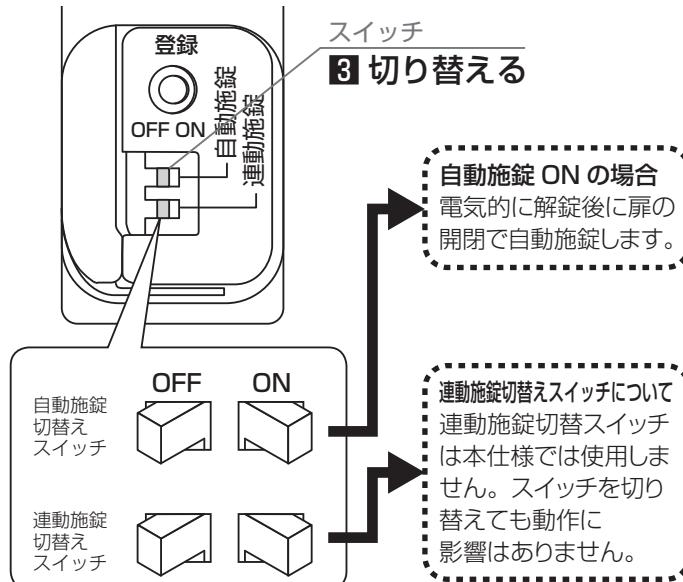
- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



3:スイッチを切り替える

施工上のお願い

- スイッチを操作しにくい場合は、爪楊枝などを利用して優しく操作してください。
- キーを一度も登録したことがない場合、下記機能はすべて作動しません。

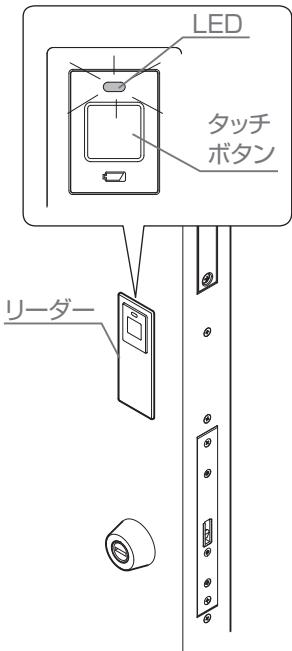


15 門扉の取付け

15-2 門扉のブザー音と表示について

15-2-1 正常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅（5秒間） 	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅（5秒間） 	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅一消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯（1秒間） 	施錠できました。
ピッピッ ●●	赤色で点灯（1秒間） 	解錠できました。
ピー ●	緑→赤色で交互に点灯繰り返し 	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯一消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅（アップデート終了まで） 	ファームウェアアップデート状態へ入りました。



15-2-2 異常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ●●●●	橙色で点滅（1.5秒間） 	門扉が開いた状態で施錠操作が行われました。	門扉を閉めてください。
		施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
		電動サムターン作動途中で門扉が開けられました	手動でサムターンを回し解錠にしてから門扉を閉めてください。
ピピ × 8 ●● ●● ●● ●●.....	橙色点滅（2.5秒間） 	錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	門扉が確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のブザー音が鳴る場合は、建付け調整を行ってください。 →（お施主さま用保存版 取扱い説明書）
ピーピ × 4 ●● ●● ピーピピ × 4 ●● ●● ●● ピーピピピ × 4 ●● ●● ●● ●● ピーピピ、ピーピピピ × 2 ●● ●● ●● ●● ●● ピー × 4 ●● ピー × 8 ●●	橙色で点灯（5分間） 	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にブザー音を伝えご相談ください。
—	橙色で点滅（5秒間） 	キーが登録されていません。（出荷時）	キーの登録を行ってください。 カードキー→（P.59） リモコンキー→（P.60）
ピッ ●	緑色で点灯（1秒間） 	キーが登録されていません。（全末梢後／施錠時）	
	赤色で点灯（1秒間） 	キーが登録されていません。（全末梢後／解錠時）	

15-3 コントローラーユニットのブザー音とLED表示について

表示内容	お知らせ内容	コントローラーユニット
電源表示が緑色で点灯 	電源が入ってます。	電源
報知表示が緑色で点灯 	報知設定になっています。	報知
開戸表示が赤色で点灯 	ドアが開いています。	開戸
解錠表示が赤色で点灯 	カギが上下2つとも解錠しています。	解錠

ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン … ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に開戸表示が赤色の点灯 	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が交互に点灯する 電源□ ← → 報知□	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にご相談ください。
—	開戸表示と解錠表示、報知表示が同時に点滅する。		

15-4 リモコンキーのランプ表示について

ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法	リモコン
緑色で点灯(0.1秒間) 	ボタンが押されました。		ランプ
緑色で点灯(1秒間) 	電源がONになりました。		施錠ボタン
緑色で5回点滅 	電源がOFFになりました。		解錠ボタン
緑色で3回点滅 	登録が成功しました。		
上記のランプ表示が赤色で点灯・点滅	電池容量が残りわずかになりました。	電池(CR2032) × 2個を新品に交換してください。	
橙色で5分点灯 	リモコンに異常があります。	お客様相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。	

梱包明細表

【1】柱セット

名 称	略 図	員 数
		90角柱
柱		1
アンカー棒		1

【2】柱キャップセット

名 称	略 図	員 数
柱キャップ		1

【3】柱 中間用セット

名 称	略 図	員 数
		90角柱
柱 中間用		1
中間柱取付金具		1
アンカー棒		1
【3a】 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルねじ		4
【3b】 $\phi 5 \times 30$ ナベタッピン ねじ2種 D=9 G=5		4

【4】柱補強部品 中間柱用セット

名 称	略 図	員 数
柱補強材_90×90		1
【4a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルねじ		4

【5】柱補強部品 標準柱用セット

名 称	略 図	員 数
柱補強裏板		1

【6】施工キット エントランスB

名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
ルーフ取付穴位置治具		1
スリーブ固定金具		2
専用接合金具		2
【6a】 M5×16ナベ小ねじ(座金付)		8
【6b】 $\phi 5 \times 19$ ナベドリルねじ		8
取付説明書 (EXM-219)	—	1
取付説明書 (EXM-224)	—	1
取扱説明書 (UE067)	—	1
取扱説明書 (UE071)	—	1

【7】フレームセット

名 称	略 図	員 数
		標準 W20-30-40-50
フレーム		1
フレームカバー		1
スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【7a】 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルねじ		12
【7b】 $\phi 5 \times 70$ ナベドリルねじ		10
【7c】 $\phi 6 \times 120$ 六角コーチスクリュー		2

【8】端部用標準フレームセット

名 称	略 図	員 数
端部用標準フレーム W20		1
スリーブ		2
フレーム取付金具		2
【8a】 $\phi 5 \times 16$ ナベドリルねじ		12
【8b】 $\phi 5 \times 70$ ナベドリルねじ		10
【8c】 $\phi 6 \times 120$ 六角コーチスクリュー		2

梱包明細表

【9】フレーム補強材セット

名 称	略 図	員 数
フレーム補強材		1
【9a】φ5×16ナベドリルねじ		9

【10】ふかし材セット

名 称	略 図	員 数
ふかし材		1
【10a】φ5×35ナベドリルねじ		5

【11】デザイン格子セット

名 称	略 図	員 数
		H24
デザイン格子		1
デザイン格子カバー		1
デザイン格子取付部材上用		1
デザイン格子取付部材下用		1
アンカー		2
【11a】φ4×16ナベドリルねじ		4
【11b】φ5×70ナベドリルねじ		2
【11c】φ4×50トラスタッピンねじ1種		2

【12】デザイン格子 埋込み施工補助部材セット

名 称	略 図	員 数
埋込み施工補助部材		1
取付金具		2
【12a】φ4×13ナベドリルねじ		4
【12b】M4×12ナベ小ねじ		3
【12c】M4六角ナット		1

【13】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		W10 1枚入	2枚入
屋根材		1	2

【14】ルーフ取付枠セット

名 称	略 図	員 数	
		W10 1スパン	延長
屋根固定材 中間		—	1
屋根固定材 端部		2	—
屋根固定材カバー 端部		2	—
屋根固定材カバー 中間		—	1
屋根材受け1列用		1	1
屋根固定材1列用		1	1
屋根材受け1列用カバー		1	1
固定材キャップ 端部L		1	—
固定材キャップ 端部R		1	—
固定材キャップ 中間		—	1
パネル止水ビート材 W10・W20用		1	1
屋根固定材(端部) キャップ 右		1	—
屋根固定材(端部) キャップ 左		1	—

梱包明細表

【14】ルーフ取付枠セット (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		W10	
		1スパン	延長
屋根固定材 (中間) キャップ		—	1
屋根固定材 (端部) キャップ 止水パッキン A		2	—
屋根固定材 (中間) キャップ 止水パッキン A		—	1
シングル端部用防水テープ LR		各1	—
シングル中間用防水テープ		—	1
屋根固定材 (棟木・1列用) 止水材		1	1
パネル側面止水材		4	4
屋根固定端部止水材 中間用		2	—
屋根固定端部止水材 端部用		—	1
【14a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルねじ		8	5
【14b】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルねじ		11	7
【14c】 $\phi 4 \times 40$ ナベドリルねじ		3	3
【14d】 $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンねじ2種 G=5		4	2
【14e】 $\phi 4 \times 30$ ナベドリルねじ		3	3
【14f】 $\phi 5 \times 10$ サラタッピンねじ2種		2	—
【14g】 防水座金M4		11	7
【14h】 防水座金M5		20	—

【15】 中間フレームセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	
中間フレーム		1	—
中間フレーム取付金具		1	—
中間フレーム用スリーブ		1	—

【15】 中間フレームセット (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		W10	
中間フレーム接続パッキン		1	—
中間フレーム水切りパッキン		1	—
【15a】 $\phi 5 \times 70$ ナベドリルねじ		4	—
【15b】 $\phi 5 \times 19$ ナベドリルねじ		6	—
【15c】 $\phi 5 \times 20$ ナベタッピンねじ2種 G=5		2	—
【15d】 $\phi 5 \times 16$ サラドリルねじ		2	—

【16】 雨樋セット

名 称	略 図	員 数		
		4スパン	5スパン	6スパン
横樋		1	1	1
横樋カバー		1	1	1
横樋端部カバー 右用		1	1	1
横樋端部カバー 左用		1	1	1
樋端部取付材		2	2	2
パネル端部水切り止水材 端部用		2	2	2
パネル端部水切り止水材 中間用		3	4	5
雪下ろし指示シール		1	1	1
【16a】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルねじ		6	8	10
【16b】 $\phi 4 \times 16$ サラタッピンねじ2種		4	4	4
【16c】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルねじ		4	4	4

梱包明細表

【17】化粧樋（エルボ仕様）セット

名 称	略 図	員 数 H24
堅樋カバー受け		1
フレームカバー		1
堅樋		1
雨樋アタッチメント		1
雨樋アタッチA		1
雨樋アタッチB		1
エルボ本体		1
エルボスライド		1
堅樋受けキャップ		1
雨樋ジョイナー		—
アタッチメントパッキン		1
【17a】 φ4×10トラスタッピンねじ2種		12
【17b】 φ4×20トラスタッピンねじ2種G=5		4

【18】化粧樋(外側排水用)セット

名 称	略 図	員 数 H24
化粧樋（ベース部）		1
化粧樋（意匠部）		1
化粧樋（カバー材）		1
堅樋		1
【18a】 φ4×13ナベドリルねじ		15

【19】エルボセット

名 称	略 図	員 数 H24
エルボ		1
エルボアタッチメント		1
エルボキャップ (L/R)		L:1/R:1
エルボアタッチパッキン		1
エルボキャップパッキン (Oリング)		2
エルボパッキン		2
92° エルボ		1
排水部アタッチメント		1
【19a】 φ4×10トラスタッピンねじ3種(D=8)		2
【19b】 φ4×16 トラスタッピンねじ3種(D=8)		6
【19c】 φ4×20ナベタッピンねじ2種(G=5)		3

梱包明細表

【20】板張り天井材A・B・Cセット

名 称	略 図	員 数	
		W10 4スパン	5スパン
天井材A		5	5
天井材B		1	1
天井材C		1	1
調整天井材A		1	1
調整天井材B		1	1
天井横枠A		2	2
天井横枠B		1	1
天井縦枠W10 右用		1	1
天井縦枠W10 左用		1	1
天井吊部材 W10		3	4
天井材パッキン		18	18
天井材共通スペーサー		9	12
【20a】Φ4×16ナベドリルねじ		9	12
【20b】Φ4×8ナベタッピンねじ 2種		14	16
【20c】Φ4×13ナベドリルねじ		60	71
【20d】Φ4×35ナベドリルねじ		18	24

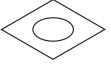
【21】板張り天井材Aセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	6スパン
天井材A		5	
天井横枠A			2
天井横枠B			2

【22】板張り天井材B・Cセット

名 称	略 図	員 数	
		W10	6スパン
天井材B		1	
天井材C			1
調整天井材A		1	
調整天井材B			1
天井縦枠W10 右用			1
天井縦枠W10 左用			1
天井吊部材 W10		5	
天井材パッキン			18
天井材共通スペーサー			15
【22a】Φ4×16ナベドリルねじ		15	
【22b】Φ4×8ナベタッピンねじ 2種		20	
【22c】Φ4×13ナベドリルねじ		82	
【22d】Φ4×35ナベドリルねじ		30	

梱包明細表

【23】フレームサイドカバー端部キャップセット		
名 称	略 図	員 数
キャップ		2
穴隠しシール		4
【23a】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピン ねじ3種		4
【23b】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルねじ		6
取付説明書 Gフレームサイドカバー (E293)	-	1

取説コード
EXM-223

JZZ641793A
202504_1049
202508A_1049